

荒川区 指定管理者
平成27年度分 実績評価結果

平成28年9月

目 次

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●実績評価の目的及び評価方法について … 3 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 日暮里サニーホール … 5 荒川区ムーブ町屋 … 9 ●ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> 石浜ふれあい館 … 13 南千住ふれあい館 … 17 南千住駅前ふれあい館 … 21 汐入ふれあい館 … 25 峡田ふれあい館 … 29 荒川山吹ふれあい館 … 33 町屋ふれあい館 … 37 荒木田ふれあい館 … 41 尾久ふれあい館 … 45 西尾久ふれあい館 … 49 東日暮里ふれあい館 … 53 夕やけこやけふれあい館 … 57 西日暮里ふれあい館 … 61 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 65 生涯学習センター … 69 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 73 ●社会体育施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 77 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 81 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 85 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 89 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 93 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 97 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 101 西日暮里在宅高齢者通所SC … 105 町屋在宅高齢者通所SC … 109 南千住中部在宅高齢者通所SC … 113 | <ul style="list-style-type: none"> 東日暮里在宅高齢者通所SC … 117 荒川東部在宅高齢者通所SC … 121 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 125 荒川老人福祉センター … 129 授産場 … 133 ●障がい者施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川福祉作業所 … 137 荒川生活実習所 … 141 尾久生活実習所本所／分場 … 145 障害者福祉会館 … 149 精神障害者地域生活支援センター … 153 障害者グループホーム … 157 ●保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 161 上尾久保育園 … 165 南千住さくら保育園 … 169 汐入とちのき保育園 … 173 はなみずき保育園 … 177 南千住保育園 … 181 南千住七丁目保育園 … 185 夕やけこやけ保育園 … 189 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 193 センターまちや自転車駐車場 … 197 日暮里駅前自転車駐車場 … 201 三河島駅前自転車駐車場 … 205 ●住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目、南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） … 209 荒川区民住宅（西日暮里三丁目、東日暮里六丁目町屋八丁目、町屋五丁目） … 213 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅） … 217 |
|---|---|

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

| 施設種別 | 施設特性 | 対象施設 |
|------|---|---|
| A施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等による施設運営基準の定めがある ・ 人的サービスの比重が大きい | 高齢者福祉施設、 障がい者福祉施設、 保育施設 |
| B施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい | 文化施設、ふれあい館、 生涯学習施設、社会体育施設、 自転車等駐車場、住宅 |

(2) A施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・ 「法令基準等への適合状況」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- ・ 「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- ・ 施設特性に応じて「その他の評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・ 「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- ・ 「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点（100点満点）を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- ・ 「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点（10点以内）を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- ・ 「基本評価項目（100点）」と「その他の評価項目（10点）」の総合得点（110点満点）を算出し、下表の基準によりS～Dの総合評価を行う。

| 評価 | | 基準 |
|----|-------------|------------------|
| S | 特に優れている | 総合得点が100点以上 |
| A | 優れている | 総合得点が80点以上100点未満 |
| B | 適正である | 総合得点が60点以上80点未満 |
| C | 努力が必要である | 総合得点が40点以上60点未満 |
| D | 運営に大きな問題がある | 総合得点が40点未満 |

(4) 財務・労務面に関する評価項目と評点（A施設・B施設共通）

- ・ A施設・B施設ともに、財務・労務の状況について、「収支状況・縮減努力」「法人決算」「労務」の状況を確認し、次の基準によりS～Dの評価を行う。

<収支状況・縮減努力>

- S：会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- A：会計手続及び予算管理が適正に行われていた。
- B：会計手続及び予算管理等が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である
- D：会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

<法人決算>

- S：極めて良好な財務力を有している。
- A：安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
- B：安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。
- C：安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である。
- D：安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

<労務>

- S：労働環境が良好である。
- A：労働環境が適正である。
- B：労働環境に一部改善の必要が見受けられたが、改善された又は改善の計画がある。
- C：労働環境に改善すべき点が複数見られ、努力が必要である。
- D：労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 日暮里サニーホール |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4・5階 |
| 指定管理者 | 名称 | 日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク) |
| | 所在地 | 千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地) |
| 施設開設年月日 | | 平成元年2月9日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | <ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)／面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)／面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2, 3会議室は通し使用可能 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修等、施設運営に必要な研修 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 59,291,200円 3 稼働率 ホール70.9% コンサートサロン90.8% 会議室77.9% 4 利用者数 ホール70,939人 コンサートサロン33,795人 会議室49,540人 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|-------------|-------------|------------|
| 収入 | 予算 | 94,248,000 | 97,418,000 | 97,818,000 | 97,926,000 |
| | 決算 | 95,862,662 | 102,169,185 | 106,076,561 | |
| 支出 | 予算 | 94,248,000 | 97,418,000 | 97,818,000 | 97,926,000 |
| | 決算 | 95,353,584 | 97,418,000 | 97,613,068 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 509,078 | 4,751,185 | 8,463,493 | |

（備考）

基本評価項目

| 評価項目 | | 配点 | 評価 | | 得点 |
|---------|-------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | | 60 | | | 48 |
| ① | 快適に利用できるための施設管理がなされている | 30 | 4 | 80% | 24 |
| ② | 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 15 | 4 | 80% | 12 |
| ③ | 研修計画に基づいた職員の受講がなされてる | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 区民サービス | | 40 | | | 30 |
| ④ | 利用者に対し、満足のあるサービスを提供している | 15 | 4 | 80% | 12 |
| ⑤ | 利用者の意見を取入れ、改善につなげている | 10 | 3 | 60% | 6 |
| ⑥ | 事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。 | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 合 計 (A) | | 100 | - | - | 78 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|-----------------|--|-----|-----|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| ⑦ 区内事業者を活用している。 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| ⑧ 周知活動に努めている。 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 合計 (A) | 10 | - | - | 8 |
| 評価内容<区民サービス> | | | | |
| ⑦区内事業者を活用している。 | 消耗品購入では、39件中16件で区内業者を利用している。(41.0%) 修繕工事では、21件中13件を区内業者に発注している。(61.9%) | | | |
| ⑧周知活動に努めている。 | ムーブ町屋と一体化した情報誌の発行を継続し、荒川区の文化やイベントの情報を区民に提供するために工夫している。区内情報のコラムを掲載することで区民が手に取りやすい情報誌になるよう努めている。 | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| ・施設の老朽化 | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 86 |
| 総合評価 | | | | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | A | B |
| | 予算管理が適正である | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | A | |
| 法人決算 | 事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、いずれも良好であり、収益性および安全性で特に優れた財務体質を備えている。 | S | |
| 労務 | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。 ・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。 |
| 財務・労務面 | <p>会計手続きは総じて適切に行われており、予算精度の向上が求められる。財務面は全体として優れており、とりわけコングレならびに共立の収益性と安定性が優れている。スペースネットワークの収益性が改善されるとなお良い。労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足のいくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、引き続き適切な会計手続きや予算管理、法令を遵守した労務管理が出来ており、良好である。</p> <p>以上、全体として日暮里サニーホールの指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 区民課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区ムーブ町屋 |
| | 所在地 | 荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階 |
| 指定管理者 | 名称 | ムーブ町屋さくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク) |
| | 所在地 | 千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地) |
| 施設開設年月日 | | 平成8年6月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」とい う。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○多目的ホール 収容人員296席/面積343㎡ ○会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59㎡ ○会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡) |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修等、施設運営に必要な研修 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 34,648,600円 3 稼働率 ムーブホール70.0% 会議室A68.8% 会議室B71.8% スタジオ62.2% 企画展示コーナー(ギャラリー)52.9% 4 利用者数 ムーブホール56,375人 会議室AB16,993人 スタジオ・ギャラリー51,536人 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 62,137,000 | 63,913,000 | 64,913,000 | 64,887,000 |
| | 決算 | 62,082,079 | 63,269,898 | 67,919,179 | |
| 支出 | 予算 | 62,137,000 | 63,913,000 | 64,913,000 | 64,887,000 |
| | 決算 | 65,454,200 | 63,913,000 | 64,913,000 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | -3,372,121 | -643,102 | 3,006,179 | |

（備考）

基本評価項目

| 評価項目 | | 配点 | 評価 | | 得点 |
|---------|-------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | | 60 | | | 48 |
| ① | 快適に利用できるための施設管理がなされている | 30 | 4 | 80% | 24 |
| ② | 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 15 | 4 | 80% | 12 |
| ③ | 研修計画に基づいた職員の受講がなされてる | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 区民サービス | | 40 | | | 30 |
| ④ | 利用者に対し、満足のいくサービスを提供している | 15 | 4 | 80% | 12 |
| ⑤ | 利用者の意見を取入れ、改善につなげている | 10 | 3 | 60% | 6 |
| ⑥ | 事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。 | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 合 計 (A) | | 100 | - | - | 78 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|-----------------|----|-----|-----|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| ⑦ 区内事業者を活用している。 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| ⑧ 周知活動に努めている。 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 合計 (A) | 10 | - | - | 8 |

評価内容<区民サービス>

| | |
|----------------|--|
| ⑦区内事業者を活用している。 | 消耗品購入では、41件中19件で区内業者を利用している。(46.3%) 修繕工事では、16件中7件を区内業者に発注している。(43.8%) |
| ⑧周知活動に努めている。 | 日暮里サニーホールと一体化した情報誌の発行を継続し、荒川区の文化やイベントの情報を区民に提供するために工夫している。区内情報のコラムを掲載することで区民が手に取りやすい情報誌になるよう努めている。 |

改善すべき点等

・ 施設の老朽化

| | |
|----------|----|
| 合計 (A+B) | 86 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | 評価内容 | 評価 |
|-----------|--|----|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | A |
| | 予算管理が適正である | B |
| | 経費縮減の努力が行われている | A |
| 法人決算 | 事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、いずれも良好であり、収益性および安全性で特に優れた財務体質を備えている。 | S |
| 労務 | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。 | A |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <p>・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p> |
| 財務・労務面 | <p>会計手続きは総じて適切に行われており、予算精度の向上が求められる。財務面は全体として優れており、とりわけコングレならびに共立の収益性と安定性が優れている。スペースネットワークの収益性が改善されるとなお良い。労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足のいくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、引き続き適切な会計手続きや予算管理、法令を遵守した労務管理が出来ており、良好である。</p> <p>以上、全体として荒川区ムーブ町屋の指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 区民課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|--------|----------|-----|---------|----------|-----|--------|----------|-----|------|--------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 石浜ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区南千住三丁目28番2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社日本デイケアセンター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 千代田区猿楽町二丁目2番3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成25年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成25年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成28年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【世代別入館者数】 () 内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>4,154名</td> <td>(4,352名)</td> <td>成人</td> <td>5,442名</td> <td>(5,921名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>12,784名</td> <td>(7,622名)</td> <td>高齢者</td> <td>6,252名</td> <td>(6,635名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>661名</td> <td>(777名)</td> <td>合計</td> <td>29,784名</td> <td>(25,647名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>491名</td> <td>(340名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">16.1%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 4,154名 | (4,352名) | 成人 | 5,442名 | (5,921名) | 小学生 | 12,784名 | (7,622名) | 高齢者 | 6,252名 | (6,635名) | 中学生 | 661名 | (777名) | 合計 | 29,784名 | (25,647名) | 高校生 | 491名 | (340名) | 前年度比 | 16.1%増 | |
| 幼児 | 4,154名 | (4,352名) | 成人 | 5,442名 | (5,921名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 12,784名 | (7,622名) | 高齢者 | 6,252名 | (6,635名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 661名 | (777名) | 合計 | 29,784名 | (25,647名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 491名 | (340名) | 前年度比 | 16.1%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行う等、親子ひろばを活用して安全に過ごす事ができる環境を整備していく。また事業や講座を行うことで利用者が子育て相談を受けやすくするよう努める。
- 【小学生】 多くの小学生が参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図れるよう努める。
- 【中学生】 中学生が利用しやすい環境整備、健全な育成及び交流の拠点を目指す。
- 【成人・高齢者】 成人・高齢者事業の実施を通じて、生きがい、健康増進を図るとともに交流の場を推進していく。
- 【その他】 町会等の地域活動の支援を積極的に行うほか、区民相互の交流と自主的活動の援助を行うよう努める。文化向上や余暇の充実が図れるようにボランティアによる講座も支援していく。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 人気のある「ママ'Sボディメイキング」におもちゃと衣類の交換ができる「かたすみちゃん」と子育て相談の「井戸端相談」を合わせた事業を月1回始めたところ、人気の企画に成長した。
- 【小学生】 定例サークルとして「ダンス」「スポーツ」「卓球」「ドッジボール」などのスポーツから「音楽」「ガーデナー」「木工」「料理」などの趣味を楽しむものまで、多種多様なサークルを充実させることができた。
- 【中学生】 心を落ち着かせケガをしない対策のため「ドッジボール」の前に、中学生が推薦図書を5分間朗読する「ポエントリア」を始めたところ、同時時間帯に来館している大人の利用者からも好評であった。
- 【成人・高齢者】 次期高齢者事業として「囲碁」「ボードゲーム」「ジム」「浜工房」「創作折紙講座」等の定例事業が人気を得たほか、合奏とアカペラコーラスとして活動を始めた「グリー倶楽部」も好評を得た。また、高齢者の新事業として始めた「脳トレパソコン」もマンツーマン指導で好評を得た。
- 【その他】 地域活動の一環として子どもサークルが近隣の清掃を行うほか、地域の町会と合同の防災避難訓練も行った。また、地域ボランティアの活用とし「街なか花壇」を開始したところ、重い土を運ぶ等の作業を小学生ボランティアが積極的に参加するなど、ふれあい館を活用した世代間交流を行うことができた。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 43,802,275 | 44,564,444 | 45,043,805 | 45,593,833 |
| | 決算 | 43,802,275 | 44,564,444 | 45,043,805 | |
| 支出 | 予算 | 43,802,275 | 44,564,444 | 45,043,805 | 45,593,833 |
| | 決算 | 40,374,092 | 44,217,840 | 43,272,582 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 3,428,183 | 346,604 | 1,771,223 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 80 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 100 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 2 | 40% | 0.8 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 8.4 |

評価内容

小学生の心を落ち着かせるために中高生による本の朗読を全館放送で流す「ポエンティア」や地域ボランティアと一緒に小学生ボランティアが活動する「街なか花壇」など、ボランティア意識を育み、かつ、互いを思いやる心を大切にする世代間交流が積極的に行われている。

改善すべき点等

| | |
|----------|-------|
| 合計 (A+B) | 108.4 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 人件費、光熱水費等について経費縮減の努力が行われている一方、本部経費が増加している。 | B | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、乳幼児事業の「ママ'Sボディメイキング」や高齢者事業の「脳トレパソコン」など世代ごとに興味を惹くような多種多様な事業が充実している。地域との繋がり、世代間の交流を大切にし、ふれあい館を核として地域コミュニティ活動を推進していく館の積極的な姿勢が入館者数前年度比伸び率が16.1%増と高い伸び率に繋がっていることを評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、労務面についても良好である。財務面については経費縮減に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|------------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|--------|--------|------|-------|--|
| 施設名 | 名称 | 南千住ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区南千住六丁目36番13号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 渋谷区代々木二丁目1番1号新宿マインズタワー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、屋上広場</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>13,661名</td> <td>(11,787名)</td> <td>成人</td> <td>16,834名</td> <td>(15,488名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>14,460名</td> <td>(13,198名)</td> <td>高齢者</td> <td>16,478名</td> <td>(14,495名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>2,710名</td> <td>(6,364名)</td> <td>合計</td> <td>65,362名</td> <td>(61,502名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1,219名</td> <td>(170名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">6.3%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 13,661名 | (11,787名) | 成人 | 16,834名 | (15,488名) | 小学生 | 14,460名 | (13,198名) | 高齢者 | 16,478名 | (14,495名) | 中学生 | 2,710名 | (6,364名) | 合計 | 65,362名 | (61,502名) | 高校生 | 1,219名 | (170名) | 前年度比 | 6.3%増 | |
| 幼児 | 13,661名 | (11,787名) | 成人 | 16,834名 | (15,488名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 14,460名 | (13,198名) | 高齢者 | 16,478名 | (14,495名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 2,710名 | (6,364名) | 合計 | 65,362名 | (61,502名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 1,219名 | (170名) | 前年度比 | 6.3%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 乳幼児の健全育成とその子育てをする親の孤立化防止、仲間作りのため、乳幼児タイムの他乳幼児親子を対象とした各種事業を行い親子同士の交流が図れるよう支援していく。
- 【小学生】 児童が遊びや創作活動、スポーツ等の活動を通して、好奇心や創造力、探究心、主体性、社会性、協調性が育ち、健康な体と豊かな心を創りあげることができるよう事業を行う。
- 【中学生】 中学生が気軽に集まり仲間と落ち着ける「中学生タイム」の時間を設け、多目的室を中心に居場所の提供を行うとともに職員と気軽に話せる環境を作ることにより非行や孤立を防止できるよう支援していく。
- 【成人】 スポーツ的な講座、文化的な講座、遠足等の事業を通して参加者の仲間作りと交流を促し、参加者の新たな活動に発展できるよう支援していく。
- 【高齢者】 すべての高齢者の安心と尊厳が守られ、経験と能力が活かされることを基本理念とした事業を行い、高齢者が一生生きがいを持ち、自立した生活が営め、かつ積極的な社会参加ができるよう支援していく。

平成27年度の実績

- 【乳幼児】 定例の5つの「乳幼児タイム」や「ママリフレッシュ講座」等で積極的に乳幼児親子同士の交流支援を行ったことにより、乳幼児親子の入館者数が前年度比16%増となるなど充実した乳幼児事業を行った。
- 【小学生】 ダンスサークル「竹キッズ」「ラッキークローバー」の児童が隣接する特別養護老人ホームグリーンハイム荒川への訪問事業を実施した。入所者のベッド周りの拭き掃除をしながら高齢者と交流するボランティア活動をした後に「竹ダンス」「ヒップホップダンス」を披露するなど地域交流を行った。
- 【中学生】 ティーンズタイムでは、友人同士で卓球やバトミントンを楽しむほか、バスケットボール練習の中学生に高校生が混じり、中学生同士の交流も見られた。また、今年度は高校生の利用者が増えたほか、「わくわくまつり」にボランティアとして参加する人数が増えたため、ボランティア意識を高めることができた。
- 【成人】 今年度より利用者の声からあがった「コーラスクラブ」（多世代）を新たな事業として立ち上げ、クリスマス会、ふれあい館3館合同で実施したコーラス交流会で練習成果を発表した。
- 【高齢者】 利用者の提案から高齢者がボランティア講師になった「着付け教室」やママリフレッシュ講座での「手作りお守り」の作成指導、小中学生が講師になって高齢者に教える「アートクッキング」「交流輪投げ大会」などの多世代交流を行った。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 45,637,640 | 46,494,347 | 46,842,010 | 47,259,254 |
| | 決算 | 45,813,635 | 46,635,390 | 46,927,660 | |
| 支出 | 予算 | 45,637,640 | 46,494,347 | 46,842,010 | 47,259,254 |
| | 決算 | 48,024,501 | 47,883,001 | 46,927,660 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | -2,210,866 | -1,247,611 | 0 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 80 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 100 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 8.6 |

評価内容

乳幼児親子と高齢者が一緒になって様々な歌に挑戦する「コーラスクラブ」や高齢者がボランティア講師となった「着付け教室」やママリフレッシュ講座での「手作りお守り作り」など、利用者の声を活かした多世代交流事業に取り組んでいる。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-------|
| 合計 (A+B) | 108.6 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 職員旅費、消耗品費等に経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者の提案から「わくわくまつり」に「盆踊り」を取り入れたことをきっかけとして、高齢者をボランティア講師に迎えて実施した「着付け教室」に発展するなど、利用者の声を積極的に取り入れ、常に利用者目線に立った運営を行う館の姿勢や幼児、小中高生、成人、高齢者の入館者構成比が20%代とバランスのよい入館者比率を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。特に法人決算については大変良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|---------------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|--------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|-------|--|
| 施設名 | 名称 | 南千住駅前ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区南千住七丁目18番1号アクレスティ南千住2F | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社日本デイケアセンター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 千代田区猿楽町二丁目2番3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成22年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成22年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成28年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【世代別入館者数】 ()内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>12,024名</td> <td>(10,163名)</td> <td>成人</td> <td>15,393名</td> <td>(14,486名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>12,579名</td> <td>(13,909名)</td> <td>高齢者</td> <td>12,227名</td> <td>(12,587名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,456名</td> <td>(777名)</td> <td>合計</td> <td>53,897名</td> <td>(52,569名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>218名</td> <td>(647名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">2.5%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 12,024名 | (10,163名) | 成人 | 15,393名 | (14,486名) | 小学生 | 12,579名 | (13,909名) | 高齢者 | 12,227名 | (12,587名) | 中学生 | 1,456名 | (777名) | 合計 | 53,897名 | (52,569名) | 高校生 | 218名 | (647名) | 前年度比 | 2.5%増 | |
| 幼児 | 12,024名 | (10,163名) | 成人 | 15,393名 | (14,486名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 12,579名 | (13,909名) | 高齢者 | 12,227名 | (12,587名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,456名 | (777名) | 合計 | 53,897名 | (52,569名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 218名 | (647名) | 前年度比 | 2.5%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行う。親子ふれあいひろばを活用し幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作る。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受ける。
- 【小学生】 多くの子どもたちが参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図る。
- 【中学生】 中学生が利用しやすい環境の整備に努め、健全な育成と交流の拠点となるように努める。中学生職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。
- 【成人】 区民相互の交流と自主的活動促進の援助を行う。また、ボランティアによる各種講座を開設し文化的生活の向上や余暇の充実が図れるように支援していく。
- 【高齢者】 健康生活の支援と文化的生活の向上に寄与し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。高齢者の孤食防止を含め、高齢者が集い昼食を楽しめるように「シルバーランチ」を開催し、交流の場を提供していく。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 子育て支援事業として子育て中の母親自らが楽しむ「mama工房」や「ママのリフレッシュ」、地域の子育てを応援する「ママフェスタ」などを実施し好評を得た。また、幼児タイム参加者有志のボランティアサークル「手芸部ママの会」の活動を館が支援したことにより、幼児用の手作りおもちゃの作成に協力いただいた。
- 【小学生】 ダンスサークル「イフオットイス」、パフォーマンスサークル「南千雑技団」、スポーツサークル「サウザーズ」等、サークル活動の内容が充実したほか、夏休みなどの長期休暇期間の保護者不在時にふれあい館で昼食をとれるよう「小学生ランチ」を開催したところ、保護者や小学生に好評であった。
- 【中学生】 「どうすれば多くの中高生が利用するのか」等をテーマに「中学生会議」で話し合った結果、学校にポスターを掲示したほか「クッキングサークル」に参加した中高生が活動内容を紹介する新聞を作成し館内に掲示した。
- 【成人】 基礎から学ぶデッサン講座「大人のアトリエ」や「世界の味めぐりワールドクッキング」、合唱サークル「ミルフィーユハーモニー」など趣味を楽しむ講座を充実させ好評を得た。また、人気の高い「フラダンス」や「脳トレ麻雀雀っ子クラブ」の定員を増やし多くの人を楽しめるように努めた。
- 【高齢者】 通年で「合唱」「カラオケ」「踊り」等の高齢者事業を行い好評を得たほか、お昼の時間帯に洋室を開放し実施した「シルバーランチ」は、午前・午後と継続して事業に参加する高齢者に好評であった。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 40,053,678 | 41,249,497 | 41,601,676 | 42,086,355 |
| | 決算 | 40,053,678 | 41,249,497 | 41,601,676 | |
| 支出 | 予算 | 40,053,678 | 41,249,497 | 41,601,676 | 42,086,355 |
| | 決算 | 38,148,864 | 38,213,075 | 40,729,010 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 1,904,814 | 3,036,422 | 872,666 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 64 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 3 | 60% | 15 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 4 | 80% | 20 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 82 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 2 | 40% | 0.8 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 7.4 |

評価内容

小学生スポーツサークル「サウザース」や子育て中の母親向けの「mama工房」、成人向けの「脳トレ麻雀」や「囲碁教室」など世代を問わず趣味を楽しむ事業が充実しており、余暇の充実を図り地域住民が気軽に集える事業展開を積極的に行っている。

改善すべき点等

| | |
|----------|------|
| 合計 (A+B) | 89.4 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 役務費、運営費等について経費縮減の努力が行われている一方、本部経費が増加している。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、夏休みなどの保護者不在時にふれあい館で昼食をとれるようにした「小学生ランチ」や高齢者の孤食防止を含め、高齢者が集い昼食を楽しめるようにした「シルバーランチ」など、子どもたちや高齢者などが地域の中で孤立することなく、ふれあい館が居場所となり地域交流の拠点となる事業展開を行う館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われているが経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、労務面はともに良好である。財務面については経費縮減に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| 担当所管部 | |
|-------|-------|
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|-------|--|
| 施設名 | 名称 | 汐入ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区南千住八丁目2番2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人雲柱社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 世田谷区上北沢三丁目8番19号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成17年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成17年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ、(学童クラブ室併設)</p> <p>【特徴ある施設】 図書室</p> <p>【世代別入館者数】 ()内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>11,459名</td> <td>(12,182名)</td> <td>成人</td> <td>16,250名</td> <td>(17,698名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>32,838名</td> <td>(28,668名)</td> <td>高齢者</td> <td>8,355名</td> <td>(8,007名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,888名</td> <td>(2,000名)</td> <td>合計</td> <td>71,018名</td> <td>(69,229名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>228名</td> <td>(674名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">2.6%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 11,459名 | (12,182名) | 成人 | 16,250名 | (17,698名) | 小学生 | 32,838名 | (28,668名) | 高齢者 | 8,355名 | (8,007名) | 中学生 | 1,888名 | (2,000名) | 合計 | 71,018名 | (69,229名) | 高校生 | 228名 | (674名) | 前年度比 | 2.6%増 | |
| 幼児 | 11,459名 | (12,182名) | 成人 | 16,250名 | (17,698名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 32,838名 | (28,668名) | 高齢者 | 8,355名 | (8,007名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,888名 | (2,000名) | 合計 | 71,018名 | (69,229名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 228名 | (674名) | 前年度比 | 2.6%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 保育園・幼稚園の待機児対策の一助として、要望の多い乳幼児年齢別の活動を、できるかぎり定員を設けずに実施する。また、利用者の要望に応じた活動(例：父親参加型の活動等)も企画する。
- 【小学生】 小学生組織活動(小学生クラブ)を実施し、おでかけ等の自然体験野外活動を企画実施する。これらの活動を通して、自立性・協調性等を養い、野外活動の楽しさを知ることを支援する。
- 【中高生】 学校や家庭とは異なった居場所として、他者、友人との関係を広げながら、その関わりの中で自立への力を積み重ねられるように支援していく。
- 【成人・高齢者】 高齢者の方々の居場所、活動の拠点としてのプログラムを企画、展開することで、事業を通し趣味等の生きがいづくり、仲間作りを支援していく。

平成27年度の実績

- 【乳幼児】 年齢別に7クラスに分かれている「幼児タイム」は定員を設けず希望者を全員受け入れたほか、多目的室を開放し広いスペースで自由に遊べる「プレイパーク」の実施など、乳幼児が多いという汐入地域の特性に沿った取り組みをしている。また、「あらかわ家族の日」である毎月第三土曜日に「パパとあそぼう」や「汐入クイズ大会」などの親子や家族で楽しめる行事を積極的に行っている。
- 【小学生】 小学生の組織活動「ソルティークラブ」ではボランティア活動や各種スポーツ、地域の清掃、手作り工作などを低学年、高学年に分けて実施し好評を得た。また、小学生の提案から登山の実施や、自然に親しみ自立性、協調性、社会性等を養うため、低学年、高学年に分けたキャンプ体験なども行った。
- 【中高生】 中高生タイムではバスケットボールが人気があり、中高生の希望によりバスケットボール大会を実施した。また、サロンには中高生向けのスポーツ雑誌や音楽雑誌等を置いたほか、ボードゲームやオセロ等を用意し時間を決めて使えるようにするなど、中高生の居場所づくりに努めた。
- 【成人・高齢者】 成人事業の「ピラティス」や「エアロピクス」は、毎回満員となる人気の事業となったほか、高齢者事業として健康増進のための「健康体操」や利用者の希望を取り入れて実施する「スポーツタイム」、季節に合わせた画材やお手本の字を用意した「絵手紙」「書道タイム」など実施した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 41,309,573 | 41,249,497 | 42,533,703 | 43,085,721 |
| | 決算 | 41,309,573 | 41,249,497 | 42,533,703 | |
| 支出 | 予算 | 41,309,573 | 41,249,497 | 42,533,703 | 43,085,721 |
| | 決算 | 40,569,771 | 38,213,075 | 40,425,755 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 739,802 | 3,036,422 | 2,107,948 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 71 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 4 | 80% | 20 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 89 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|-----|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 7.2 |

評価内容

定員を設けず希望者全員を受け入れている「幼児タイム」や、多目的室の利用を「低学年タイム」と「高学年タイム」に分けることにより、安全に遊べるように配慮するなど、乳幼児及び小学生が多い汐入地域の特性にあった事業展開を丁寧に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|------|
| 合計 (A+B) | 96.2 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 運営費等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、乳児と幼児が互いに安心して遊べるようにプレイルームに乳児コーナーを設けたほか、組織活動の「ソルティークラブ」や「キャンプ」では体力差や遊びが異なることから低学年と高学年に分けるなど、利用者が安全かつ安心して利用できるように配慮した事業展開を行っている館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------|--|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|--------|----------|------|-------|--|
| 施設名 | 名称 | 峡田ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区荒川三丁目3番10号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 特定非営利活動法人ワーカーズコープ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成23年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成23年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、調理・会議室</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>8,540名</td> <td>(10,288名)</td> <td>成人</td> <td>18,246名</td> <td>(18,199名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>21,224名</td> <td>(20,220名)</td> <td>高齢者</td> <td>32,721名</td> <td>(26,193名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,769名</td> <td>(3,236名)</td> <td>合計</td> <td>83,703名</td> <td>(80,163名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1,203名</td> <td>(2,027名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">4.4%増</td> </tr> </table> | 幼児 | 8,540名 | (10,288名) | 成人 | 18,246名 | (18,199名) | 小学生 | 21,224名 | (20,220名) | 高齢者 | 32,721名 | (26,193名) | 中学生 | 1,769名 | (3,236名) | 合計 | 83,703名 | (80,163名) | 高校生 | 1,203名 | (2,027名) | 前年度比 | 4.4%増 | |
| 幼児 | 8,540名 | (10,288名) | 成人 | 18,246名 | (18,199名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 21,224名 | (20,220名) | 高齢者 | 32,721名 | (26,193名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,769名 | (3,236名) | 合計 | 83,703名 | (80,163名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 1,203名 | (2,027名) | 前年度比 | 4.4%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 子ども連れで参加できる母親向けの事業を充実させていく。
- 【児童】 子どもを取り巻く環境にに応じて、遊び、学び、体験、創作活動を通して子どもたちの生きる意欲を育み成長できる取り組みを実施する。
- 【中高生】 地域社会への参画を重視し、大人との対話や交流、子どもの立場からの意見の反映、協働による事業実施等を、中高生の自主性を尊重しながら「人と交わる力」「自分を表現する力」「生きる力」を高められる活動を中高生自身が目的意識をもってできるよう、職員がサポートする。
- 【高年者】 介護予防事業に重点を置き、更なる充実を図っていく。
- 【世代間交流】 乳幼児から高齢者までの多世代の交流を通じて、利用者自身が気づき、視野を広くして地域の支え合いを広げる事業を目指す。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 子ども連れで参加できる「ママピラティス」に加え、今年度から「ママフラダンス」を実施し好評を得た。また、サロンに電子レンジを配置し、ランチタイムに使えるようにしたため、幼児の母親に喜ばれた。
- 【児童】 「キンボールサークル」では、日頃の練習の成果を発揮し「チャレンジ大会」で低学年の部で優勝、高学年の部で準優勝するなど好成績を修めた。また、館内に宿泊する「バジャマパーティー」や他区の児童館との合同の「わくわくふれあいキャンプ」を実施し、子どもたちの自立を促すきっかけづくりとなった。
- 【中高生】 峡田小の「キッズフェスティバル」や三峡小の「納涼大会」、荒川三丁目中央会の「子ども祭」、荒川地区委員会の「ドンとやろう大会」にボランティアとして職員とともに参加した。その活動をきっかけに高校生が進んで中学生の学習支援を行い、受験期には毎日行うことができた。
- 【高年者】 「ハーモニー体操」「健康ストレッチ」「グラウンドゴルフ」などの運動系から「唱歌ふるさと」「囲碁教室」などの文化系まで幅広く事業を展開したことにより、高齢者の利用者が館利用者の4割近くを占めた。なかでも介護予防事業である「歩く健康体操教室」は利用者が毎回60名を超えるなど人気の事業となった。
- 【世代間交流】 年末の大掃除では館を利用している小学生や高齢者が協力して館内の清掃を行った。また、小学生と高齢者の「あらかわの心」カルタを使ったカルタ大会を実施した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 46,162,153 | 48,531,692 | 49,168,624 | 50,200,523 |
| | 決算 | 46,162,153 | 48,531,692 | 49,168,624 | |
| 支出 | 予算 | 46,162,153 | 48,531,692 | 49,168,624 | 50,200,523 |
| | 決算 | 42,235,681 | 46,287,736 | 48,066,534 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 3,926,472 | 2,243,956 | 1,102,090 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 73 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 4 | 80% | 20 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 93 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 1 | 20% | 0.4 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 7.8 |

評価内容

「キンボールサークル」や「ママピラティス」、高齢者向けの「歩く健康体操教室」や「健康ストレッチ」など体を動かす事業が充実しており、利用者の健康増進に寄与し、より豊かで生き生きとした生活ができる事業を意欲的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-------|
| 合計 (A+B) | 100.8 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 人件費、光熱水費について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、館で組織した中高生ボランティアを地域行事へ参加させたほか、高齢者の健康増進を図るため、運動系の事業を充実したことにより、高齢者の来館を増やすことができたことなど、館の事業を通して異世代が知り合い、ともに地域活動をすることで地域の一員として活躍できる場を積極的に提供する館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|-----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|--------|----------|-----|---------|-----------|-----|------|--------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川山吹ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区荒川七丁目6番8号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区荒川一丁目34番6号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成18年2月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年2月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 茶室、調理・会議室、屋上庭園</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>10,982名</td> <td>(11,909名)</td> <td>成人</td> <td>12,654名</td> <td>(13,307名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>5,243名</td> <td>(5,751名)</td> <td>高齢者</td> <td>14,203名</td> <td>(15,206名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>468名</td> <td>(854名)</td> <td>合計</td> <td>43,825名</td> <td>(47,529名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>275名</td> <td>(502名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">-7.8%減</td> </tr> </table> | | 幼児 | 10,982名 | (11,909名) | 成人 | 12,654名 | (13,307名) | 小学生 | 5,243名 | (5,751名) | 高齢者 | 14,203名 | (15,206名) | 中学生 | 468名 | (854名) | 合計 | 43,825名 | (47,529名) | 高校生 | 275名 | (502名) | 前年度比 | -7.8%減 | |
| 幼児 | 10,982名 | (11,909名) | 成人 | 12,654名 | (13,307名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 5,243名 | (5,751名) | 高齢者 | 14,203名 | (15,206名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 468名 | (854名) | 合計 | 43,825名 | (47,529名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 275名 | (502名) | 前年度比 | -7.8%減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 乳幼児と保護者を対象に「幼児タイム」「親子ふれあいひろば」のほか、子育てを支援するさまざまな事業を開催する。
- 【小学生】 健全な遊びを提供し、安全に過ごせる場として、教室やサークル活動等の充実を図るとともに月ごとに楽しめるあそびを提供する。
- 【中学生】 中学生が興味を持つ事業の実施やサークル活動の支援の場を提供する。
- 【成人】 子育て世代、在宅の女性や勤労者が興味を持って参加する事業、教室等を開催する。
- 【高齢者】 レクリエーションの場の提供、健康を促進する事業の開催を通して、一層の健康増進を図る。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 利用者の要望が多かった「親子ヨガ」「ベビーマッサージ」等を年齢別に実施し好評を得た。また「子どもの事故防止講習会」や水への関心を深める「水道キャラバン」など、安全意識を高める事業を実施した。
- 【小学生】 「ドッジビー」は日頃の練習の成果を発揮し、区の大会で優勝するなど人気のスポーツとして定着したほか、「一輪車教室」「クッキングクラブ」「木工クラブ」も好評であった。またサロンの一角を図書コーナーに変更したところ、小学生から本が見やすくなったと好評であり、読書をする子どもたちが増えた。
- 【中学生】 「秋まつり」などの館行事にボランティアとして積極的に参加した。また、多目的室のスポーツ利用では、大学生や社会人向けの活動の場を提供することで、中学生時代からの継続利用に繋げることができた。
- 【成人】 子育て世代が対象の「アクセサリとリース」は午前、勤労者や在宅の女性が対象の「ヨガ教室」は週末と利用者が参加しやすい曜日、時間帯に開催したところ、参加希望者が多く、募集人数を増やすほど好評だった。また「おとなの散歩」では日本銀行見学や街歩きを楽しみ、継続を望む声が多かった。
- 【高齢者】 今年度から曜日、時間帯を変えて「ストレッチ」「ミニテニス」等の健康促進を図る事業を実施したところ参加者が増加し好評を得た。また一人で昼食をとることが多い高齢者を対象にした「ふれあいランチ」は、食事をしながら参加者同士の交流ができる場となった。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 44,726,018 | 46,167,166 | 46,785,957 | 47,106,962 |
| | 決算 | 45,175,600 | 46,488,376 | 47,122,115 | |
| 支出 | 予算 | 44,726,018 | 46,167,166 | 46,785,957 | 47,106,962 |
| | 決算 | 44,989,321 | 43,404,648 | 40,155,597 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 186,279 | 3,083,728 | 6,966,518 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 55 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 3 | 60% | 15 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 3 | 60% | 15 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 73 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 8 |

評価内容

小学生から安定した人気のある「ドッチビー」、週末開催が好評の「ヨガ教室」、曜日・時間帯を変更したことで利用者が増えた「ストレッチ」や「ミニテニス」など、健全なレクリエーションの場を提供するほか、より一層の健康増進を図るための事業を積極的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|----|
| 合計 (A+B) | 81 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|---|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 光熱水費、役員費等について経費縮減の努力が行われている一方、運営費が増加している。 | B | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性は良好であるが、自己資本比率がマイナスであり改善の必要性が見受けられる。 | B | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、利用者アンケートで要望が多かった「親子ヨガ」や「ベビーマッサージ」を年齢別に実施したほか、週末に開催したことで参加希望者が多かった「ヨガ教室」を会場の変更や時間帯の工夫で定員を増員するなど、利用者との信頼関係をより深めるため、利用者の要望等に対して真摯に取り組む館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われているが経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等について良好であるが一部改善の必要が見受けられる。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、労務面はともに良好である。財務面については経費縮減及び法人決算に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| 担当所管部 | |
|-------|-------|
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 町屋ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区町屋一丁目35番8号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人雲柱社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 世田谷区上北沢三丁目8番19号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、窯室</p> <p>【世代別入館者数】 () 内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>14,071名</td> <td>(10,863名)</td> <td>成人</td> <td>12,269名</td> <td>(9,676名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>13,533名</td> <td>(14,290名)</td> <td>高齢者</td> <td>14,594名</td> <td>(13,117名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>5,622名</td> <td>(5,406名)</td> <td>合計</td> <td>60,615名</td> <td>(53,667名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>526名</td> <td>(315名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">12.9%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 14,071名 | (10,863名) | 成人 | 12,269名 | (9,676名) | 小学生 | 13,533名 | (14,290名) | 高齢者 | 14,594名 | (13,117名) | 中学生 | 5,622名 | (5,406名) | 合計 | 60,615名 | (53,667名) | 高校生 | 526名 | (315名) | 前年度比 | 12.9%増 | |
| 幼児 | 14,071名 | (10,863名) | 成人 | 12,269名 | (9,676名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 13,533名 | (14,290名) | 高齢者 | 14,594名 | (13,117名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 5,622名 | (5,406名) | 合計 | 60,615名 | (53,667名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 526名 | (315名) | 前年度比 | 12.9%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 親子ふれあいひろば事業の強化をし、一般来館の充実を図る。
- 【小学生】 小学生の来館者を増やすために、各事業の充実を図る。特に低学年の来館者を増やすために、低学年組織活動を行い、家庭とも繋がれるようにしていく。
- 【中高生】 夕方の時間は中学生専用にも多目的室を使用できることとし、職員が共に汗を流せるスポーツ活動等を行う。また、サロン利用の際も職員がしっかりと関わり、中高生との関係を築いていく。
- 【成人】 地域の方々のニーズを探り、関心のある活動がふれあい館でできるよう館として検討していく。また、1Fのサロンを自由に利用できる雰囲気を作り、成人のサークル活動のサポートができるようにする。
- 【高齢者】 1Fのサロンを自由に利用できる雰囲気作りを行い、趣味などの活動の拠点となるようサポートしていく。

平成27年度の実績

- 【乳幼児】 「親子ふれあいひろばスポットタイム」は土曜日を中心に職員が手遊びや絵本の読み聞かせなどを実施し、親との会話の機会を意識した結果、親子ふれあいひろばの雰囲気がよくなり、毎日のように来館する親子が多くなった。またダンスサークル「マカロン」や親子ふれあいひろばの利用者が増えたことから幼児の入館者数が前年度比29.5%増となった。
- 【小学生】 1・2年生の組織活動「まちふれんず」では、スポーツや工作、キャンプ等を実施し、家庭とは子どもの送迎時や課外事業の説明会などを通してコミュニケーションをとり信頼関係を築くことができた。また、ダンスサークル「Jダンス」「タップテップス」では、発表する場を適宜設けたことで参加希望者が増えた。
- 【中高生】 多目的室を使用したスポーツを目的に来館する中高生が多いことから、職員がしっかりと中高生と向き合い一緒にスポーツをすることにより、片づけや多目的室のルールを図ることができた。
- 【成人・高齢者】 自由に利用できる雰囲気を作るためサロンに新聞や大人向けの雑誌を置くなどの工夫をしたところ、新聞・雑誌を読む場、座談会する場、乳幼児や小学生のサークルを待っている親同士の憩いの場など様々な用途で利用する人が増えた。このため、サロンににぎやかになり、いつも多世代が自然に交流する場となった。また、高齢者事業は「50歳からのヨガ」「健康ストレッチ」「青竹体操」などの人気が高く参加者が増加した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 46,461,005 | 48,032,570 | 48,064,375 | 48,112,954 |
| | 決算 | 46,461,005 | 48,032,570 | 48,064,375 | |
| 支出 | 予算 | 46,461,005 | 48,032,570 | 48,064,375 | 48,112,954 |
| | 決算 | 44,316,297 | 44,443,161 | 46,956,954 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 2,144,708 | 3,589,409 | 1,107,421 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 70 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 3 | 60% | 12 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 90 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 10 |

評価内容

自由に利用できる雰囲気を作るため、サロンに新聞や大人向けの雑誌を置くなどの工夫をしたところ、様々な用途で利用する人が増えるなど、ふれあい館が新たな出会いやコミュニケーションの場となり、気軽に多世代交流ができる環境作りを積極的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-----|
| 合計 (A+B) | 100 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 役務費、委託料等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、組織活動「まちふれんず」では子どもの送迎時や課外事業の説明会などを通して保護者とコミュニケーションを取るなど、職員が利用者としっかりと向き合うことで信頼関係を育み、地域の人々の交流を広げ、地域に根ざした事業展開を行う館の積極的な姿勢が入館者数前年度比伸び率12.9%増と高い伸び率に繋がっていることを評価する。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われているが経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 荒木田ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区町屋六丁目13番2号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社大起エンゼルヘルプ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区町屋五丁目10番9号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成16年10月26日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成16年10月26日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成28年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室、調理・会議室</p> <p>【世代別入館者数】 () 内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>9,243名</td> <td>(9,806名)</td> <td>成人</td> <td>16,624名</td> <td>(17,951名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>17,126名</td> <td>(17,880名)</td> <td>高齢者</td> <td>10,981名</td> <td>(10,338名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>5,590名</td> <td>(6,515名)</td> <td>合計</td> <td>60,473名</td> <td>(62,878名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>909名</td> <td>(388名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">-3.8%減</td> </tr> </tbody> </table> | | 幼児 | 9,243名 | (9,806名) | 成人 | 16,624名 | (17,951名) | 小学生 | 17,126名 | (17,880名) | 高齢者 | 10,981名 | (10,338名) | 中学生 | 5,590名 | (6,515名) | 合計 | 60,473名 | (62,878名) | 高校生 | 909名 | (388名) | 前年度比 | -3.8%減 | |
| 幼児 | 9,243名 | (9,806名) | 成人 | 16,624名 | (17,951名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 17,126名 | (17,880名) | 高齢者 | 10,981名 | (10,338名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 5,590名 | (6,515名) | 合計 | 60,473名 | (62,878名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 909名 | (388名) | 前年度比 | -3.8%減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 新たな友達づくり、他園の友達との交流の場、親同士の情報交換の場として、ふれあい館での時間を過ごす。子どもの知育・体力向上に繋がる活動を取り入れ、楽しみながらルールやマナーを学び活動する。
- 【小学生】 小学生に健全な遊び場を提供し、健康増進と情操を豊かにすることを目的として、ルールを守って遊ぶ楽しさを知ってもらい学年を超えた仲間作りが計れる活動を実施する。
- 【成人・高齢者】 文化、スポーツ、健康づくりその他の教養娯楽活動を通じて、地域コミュニティの形成を図るための事業を行う。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 年少組対象のダンスサークル「M☆Jキッズ」、年中・年長組対象のダンスサークル「Asplash」、年中・年長組対象のサッカーサークル「あらきっずFC」などのサークル活動が充実しており、子どもたちが楽しみながら体力向上を図ることができることから、保護者にも人気のある事業となった。
- 【小学生】 ヒップホップダンスサークル「ポップキャンディ」「ブラックサンダー」や「一輪車教室」などのサークル活動が盛んであり、日頃の練習の成果を「町屋子どもまつり」や「町屋ふれあい文化祭」などの地域のイベントで発表するほか都内の児童館の交流の場である「交歓フェア」でも演技を披露し好評を得た。また、手芸教室「チクチク」では、フェルトを使ったマスコットやスカート作り等を行い、完成した作品は館内に展示したり、保護者にプレゼントをするなど好評であった。
- 【成人】 「幼児タイム」の保護者がダンスサークル「マミーココ」を立ち上げ、荒木田クリスマス会で発表し好評を得た。また夜間に「快眠ヨガ教室」「ピラティス教室」を実施し、利用者から参加しやすいと好評だった。
- 【高齢者】 「浜離宮庭園」への遠足や「ボリング大会」、館の屋上から見る「足立の花火を見る会」など、初めての方が参加しやすいプログラムを実施したことが利用者から好評を得た。
- 【その他】 鉄道模型の展示と体験運転ができる「トレインフェスティバル」は区内外から757名の参加があり好評を得た。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 45,178,988 | 46,653,735 | 47,301,126 | 47,787,623 |
| | 決算 | 45,178,988 | 46,653,735 | 47,301,126 | |
| 支出 | 予算 | 45,178,988 | 46,653,735 | 47,301,126 | 47,787,623 |
| | 決算 | 45,000,656 | 47,832,927 | 44,881,366 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 178,332 | -1,179,192 | 2,419,760 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 65 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 4 | 80% | 20 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 4 | 80% | 20 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 83 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 8.8 |

評価内容

「幼児タイム」の保護者がダンスサークル「マミーココ」を立ち上げ、荒木田クリスマス会でダンスを披露し好評を得るなど、子育ての孤立化を防止し仲間作りを促進するため、子育て中の親子がいつでも気軽にふれあい交流できる場の提供を意欲的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|------|
| 合計 (A+B) | 91.8 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 光熱水費、委託料等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性について良好であるが、自己資本比率について一部改善の必要性が見受けられる。 | B | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについてはダンス、サッカー、一輪車などの幼児・小学生向けのサークル活動が人気のほか、成人向けの「ピラティス教室」や高齢者向けの「ボーリング大会」など多種多様な事業が充実している。ふれあい館が出会いの場となり、共に楽しみ共に交流する場を提供することで、地域住民の生き甲斐をサポートする事業展開を行っている館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等について良好であるが一部改善の必要が見受けられる。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、労務面はともに良好である。財務面については法人決算に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---------|---|------|----------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|----------|-----------|-----|------|----------|------|-------|--|
| 施設名 | 名称 | 尾久ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西尾久二丁目25番13号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 特定非営利活動法人ワーカーズコープ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【特徴ある施設】レクホール、調理実習室</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>12,334名</td> <td>(11,490名)</td> <td>成人</td> <td>27,930名</td> <td>(29,304名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>16,203名</td> <td>(16,919名)</td> <td>高齢者</td> <td>39,429名</td> <td>(31,579名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>3,605名</td> <td>(4,358名)</td> <td>合計</td> <td>100,059名</td> <td>(95,229名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>558名</td> <td>(1,579名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">5.1%増</td> </tr> </table> | 幼児 | 12,334名 | (11,490名) | 成人 | 27,930名 | (29,304名) | 小学生 | 16,203名 | (16,919名) | 高齢者 | 39,429名 | (31,579名) | 中学生 | 3,605名 | (4,358名) | 合計 | 100,059名 | (95,229名) | 高校生 | 558名 | (1,579名) | 前年度比 | 5.1%増 | |
| 幼児 | 12,334名 | (11,490名) | 成人 | 27,930名 | (29,304名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 16,203名 | (16,919名) | 高齢者 | 39,429名 | (31,579名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 3,605名 | (4,358名) | 合計 | 100,059名 | (95,229名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 558名 | (1,579名) | 前年度比 | 5.1%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 子育て世代の仲間作りの場の拠点となるよう地域のニーズに合った事業を展開する。
- 【小学生】 運動や創作活動などバランス良く事業を行い、健全育成の場を目指す。
- 【中学生】 中学生に利用しやすい環境を整えるとともに、目的意識を持って来館する中高生のためのサークル活動の支援を行う。
- 【成人】 グランドゴルフ、キンボールなどスポーツ、クッキング・講座などを行い、ママやパパたちの興味を持てる事業を行う。
- 【高齢者】 踊りや書道、手芸など多様な事業を継続して取り組んでいく。これから65歳を迎える方のために新たに脳トレ教室やスポーツ、料理教室などを様々なイベントを行っていく。

平成27年度の実績

- 【乳幼児】 0歳児対象の「よちよちタイム」の参加希望者が定員以上だったため、年度途中から2クラス制にし、希望者全員が参加できるようにした。幼児タイムで知り合った母親同士が仲良くなり、孤立しがちな子育て中の母親同士が交流を深める場となった。
- 【小学生】 「交流ドッジボール大会」の練習で小学生同士の縦の繋がりが強まり、チームが大会で優勝したことで今まで館を利用していなかった小学生も遊びに来るようになるなど、広く館を知ってもらいきっかけとなった。
- 【中学生】 中学生向けに部屋を貸し出し、中学生のサークル活動を支援する「中学生レンタルスペース」が好評であり、夏休みには学生やボランティア、職員などが小中学生に勉強や宿題のサポートをする「寺子屋」として発展するなど、事業に広がりができた。
- 【成人】 父親の育児支援やコミュニティの確立を目的として、今年から「パパサークル」を立ち上げたところ、回を重ねるごとに参加者が増えた。また、子育て中の母親向けの「ママリフレッシュ講座」は利用者が講師となってアイシングクッキーづくりやアクセサリー作りなどを行った。
- 【高齢者】 「合唱」や「民謡」は利用者が増えたため大きな部屋に変更したほか、「書道」や「フラダンス」などは満員で人気の事業となった。また、「舞踏演芸会」や「音楽祭」などの行事が定着したことが日頃の活動の励みとなった。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 47,842,628 | 49,098,280 | 49,971,041 | 50,624,729 |
| | 決算 | 47,842,628 | 49,098,280 | 49,971,041 | |
| 支出 | 予算 | 47,842,628 | 49,098,280 | 49,971,041 | 50,624,729 |
| | 決算 | 47,806,361 | 49,037,974 | 49,908,033 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 36,267 | 60,306 | 63,008 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 71 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 4 | 80% | 20 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 91 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 9.4 |

評価内容

お父さんの育児支援を目的とする「パパサークル」、小中学生の勉強や宿題のサポートをする「寺子屋」、中高生のサークル活動を支援する「中高生レンタルスペース」など子育てや人間関係で孤立したり不安にならないよう積極的なサポート体制作りを行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-------|
| 合計 (A+B) | 100.4 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 光熱水費、運営費等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、0歳児タイムの「よちよちタイム」や成人事業の「はじめての書道教室」など参加希望者が定員以上のためクラスを分けるほどの人気のある事業が世代ごとに数多くあり充実している。一つ一つの事業から交流の輪が広がり、館の事業がきっかけとなって地域交流や世代間交流へと繋がるような事業展開を目指す館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 西尾久ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西尾久八丁目33番31号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社日本デイケアセンター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 千代田区猿楽町二丁目2番3号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成16年10月12日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成16年10月12日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成28年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>13,349名</td> <td>(15,161名)</td> <td>成人</td> <td>14,297名</td> <td>(15,442名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>10,989名</td> <td>(11,112名)</td> <td>高齢者</td> <td>10,931名</td> <td>(10,463名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,950名</td> <td>(2,502名)</td> <td>合計</td> <td>51,848名</td> <td>(55,184名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>332名</td> <td>(504名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">-6.0%減</td> </tr> </table> | | 幼児 | 13,349名 | (15,161名) | 成人 | 14,297名 | (15,442名) | 小学生 | 10,989名 | (11,112名) | 高齢者 | 10,931名 | (10,463名) | 中学生 | 1,950名 | (2,502名) | 合計 | 51,848名 | (55,184名) | 高校生 | 332名 | (504名) | 前年度比 | -6.0%減 | |
| 幼児 | 13,349名 | (15,161名) | 成人 | 14,297名 | (15,442名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 10,989名 | (11,112名) | 高齢者 | 10,931名 | (10,463名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,950名 | (2,502名) | 合計 | 51,848名 | (55,184名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 332名 | (504名) | 前年度比 | -6.0%減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 子育て支援事業を実施する。通常の子育て支援事業、ママのリフレッシュ・ママカフェリーナ等の事業を通し、子育ての孤立化を防ぐ。
- 【小学生】 安心して安全に遊べる場となるよう、環境を整える。児童サークルを充実させる。子どもたちのニーズに合わせた事業を設定する。
- 【中高生】 中高生が参加したいと思う活動を企画する。中学生職業体験を積極的に受け入れる。
- 【成人】 成人対象講座を夜間・土日に用意し、文化的生活の充実のための支援をする。成人がふれあい館に来る機会を増やす。
- 【高齢者】 健康で楽しい毎日を過ごせるよう、事業を充実させる。世代間交流の機会を様々な事業の中で設定する。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 「ママカフェリーナ」ではお話し会や年齢別の手作りおやつとレシピなどを提供し、乳幼児や保護者同士の交流の場となった。また幼児タイム利用者が講師となり「栄養教室」を実施したところ、保護者の立場の視点に立っていて参加者にもわかりやすいと好評であった。
- 【小学生】 ミニコミ誌作成サークル「ミニコミキッズ」では小台橋保育園や地域のもんじゃ焼き屋を取材したほか、地域イベント「あらかわハロウィン」の取材をきっかけにイベント当日にブースを担当し参加者から好評を得た。また「妖怪と化石のミステリーキューブ」や「クリスマス会」では、小学生実行委員が計画を立て準備を行い、当日は司会進行やキャストとして盛り上げるなど、大きな行事の準備から実施までを経験することができた。
- 【中高生】 中高生の希望から「中高生スポーツ大会」や「中高生工房」を実施したほか、中高生の企画による「中高生サークル」では、クレープやたこ焼き、餃子作りなどを楽しみ好評を得た。
- 【成人】 平日の夜間に「フラダンス教室」、土曜日に「コーラス」「男性コーラス」を実施したところ好評であった。今年から「男性コーラス」やセカンドライフを考える「シニア講座」を始めるなど、男性利用者など新たな利用者の開拓に取り組んだ。また、「男性コーラス」の利用者が「シニア講座」の講師を務めたことで横の繋がりが広がった。
- 【高齢者】 好評な手話歌を「ふれあいカフェ」「合唱」「カラオケ」で1年を通して練習し、館まつり等で発表した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 40,053,678 | 47,175,817 | 47,762,796 | 48,272,588 |
| | 決算 | 40,053,678 | 47,175,817 | 47,762,796 | |
| 支出 | 予算 | 40,053,678 | 47,175,817 | 47,762,796 | 48,272,588 |
| | 決算 | 38,148,864 | 42,416,977 | 42,910,416 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 1,904,814 | 4,758,840 | 4,852,380 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 70 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 3 | 60% | 15 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 88 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 2 | 40% | 0.8 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 8.4 |

評価内容

小学生自ら取材しミニコミ誌を作成する「ミニコミキッズ」や小学生実行委員が計画を立て準備をし、当日は司会進行やキャストとして参加する「クリスマス会」など、自主性を尊重し、参加者が共に協力し成功に導くことで達成感が得られる事業を意欲的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|------|
| 合計 (A+B) | 96.4 |
| 総合評価 | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 光熱水費、委託料等について経費縮減の努力が行われている一方、本部経費が増加している。 | B | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、新たな利用者の開拓を図るため、「男性コーラス」や「シニア講座」を新たに実施するなど、積極的な事業展開を図ったほか、ふれあい館の特性を生かし、どの世代も気軽に安心して利用できる施設を目指した館運営を行っている姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われているが経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、労務面はともに良好である。財務面については経費縮減に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------|--|------|---------|-----------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|-----|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 東日暮里ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里一丁目17番13号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 学校法人道灌山学園 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里四丁目7番15号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成17年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成17年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ（学童クラブ室併設）</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>15,305名</td> <td>(15,524名)</td> <td>成人</td> <td>18,467名</td> <td>(18,597名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>18,324名</td> <td>(19,670名)</td> <td>高齢者</td> <td>7,058名</td> <td>(7,257名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1,829名</td> <td>(1,270名)</td> <td>合計</td> <td>61,027名</td> <td>(62,423名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>44名</td> <td>(105名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">-2.2%減</td> </tr> </table> | | 幼児 | 15,305名 | (15,524名) | 成人 | 18,467名 | (18,597名) | 小学生 | 18,324名 | (19,670名) | 高齢者 | 7,058名 | (7,257名) | 中学生 | 1,829名 | (1,270名) | 合計 | 61,027名 | (62,423名) | 高校生 | 44名 | (105名) | 前年度比 | -2.2%減 | |
| 幼児 | 15,305名 | (15,524名) | 成人 | 18,467名 | (18,597名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 18,324名 | (19,670名) | 高齢者 | 7,058名 | (7,257名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1,829名 | (1,270名) | 合計 | 61,027名 | (62,423名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 44名 | (105名) | 前年度比 | -2.2%減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 多様化する子育てのニーズに対応すべく、利用者が利用しやすい事業運営を心がける。
- 【小学生】 児童一人ひとりが様々な館行事において中心として活動し、遊びを通して心身の成長を促すとともに、児童が安心してのびのびと利用できる環境の整備を図りながら、事業を実施する。
- 【中学生】 館の特性を活かした事業を展開し、中学生が利用しやすい環境整備（生活スタイルや心情に沿った対応）を心がける。
- 【成人】 利用者からの意見を取り入れ、来館の機会を増やす魅力的な事業を展開する。
- 【高齢者】 地域の中の身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を目指し、各種事業を通して、「仲間作り」や「生き甲斐」創出を支援する。（高齢者が必要とする情報を提供できるように配慮する）

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 2歳児クラスの「ゴーゴータイム」では保護者も順番に絵本や紙芝居を行う時間を設けて実施した。また「親子ふれあいひろば」では日曜日・祝日の利用者が増加したため、利用時間を拡大したところ好評を得たほか、サロンに読書スペースを設置し、おすすめ絵本の紹介などの充実を図ったところ、幼児タイム利用者の本に触れる機会が増え、本の貸出し数も大きく伸びるなどの効果があった。
- 【小学生】 「スペースアドベンチャー in ふれあい館」「スプリングフェスタ」などの大型行事では、小学生実行委員が意見を出し合いながら企画・準備を行うことにより、中心的な役割を持って意欲的に取り組むことができた。
- 【中学生】 中高生活動支援として音楽室を開放することにより、バンド練習やピアノ練習、ダンス等の練習等に利用するほか、サロンに卓球コーナーを常設していることもあり、音楽室や卓球などの利用を中心に中高生の利用者が増加した。また小学生高学年～中学生が利用でき、お茶やお菓子を食べながらお話ができるカフェスペース「C a f f e S J S」を新たに始めたところ、利用者から好評を得た。
- 【成人・高齢者】 成人対象事業では「ヨガ☆ストレッチ」「手作りアクセサリー講習会」、高齢者事業では「カラオケ」「健康ストレッチ教室」等が人気があり好評を得た。また、近隣の東日暮里保育園児と交流が盛んであり、歌・ダンスの発表や輪投げ対決、保育園の行事に参加したなど、多世代交流も積極的に行った。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 44,832,264 | 46,291,078 | 46,476,404 | 47,469,955 |
| | 決算 | 44,832,264 | 46,291,078 | 46,476,404 | |
| 支出 | 予算 | 44,832,264 | 46,291,078 | 46,476,404 | 47,469,955 |
| | 決算 | 43,987,397 | 45,794,654 | 46,337,798 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 844,867 | 496,424 | 138,606 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 18 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 74 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 4 | 80% | 20 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 92 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 9 |

評価内容

日曜日・祝日の利用者が増加したため「親子ふれあいひろば」の利用時間の拡大や、小学生高学年～中高生を対象にしたカフェスペース「C a f f e S J S」を新たに始めるなど、利用者の声を取り入れ身近で利用しやすい施設を目指し、積極的な事業運営を行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-----|
| 合計 (A+B) | 101 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 役務費、委託料等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、読書推進活動の一環としてサロンに読書スペースの設置やおすすめ絵本の紹介などの充実を図ることで、利用者の本に触れる機会を増やしたほか、中高生活動支援として音楽室の開放や卓球コーナーを常設することで、中高生の利用者が増加するなど、利用者の声を取り入れ、事業を企画し実施していく館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----|--------|----------|----|---------|-----------|-----|------|--------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 夕やけこやけふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里三丁目11番19号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人教信精舎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西尾久六丁目9番7号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成25年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成25年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成30年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 レクリエーションホール</p> <p>【世代別入館者数】 () 内は昨年度の入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>15,649名</td> <td>(14,399名)</td> <td>成人</td> <td>20,466名</td> <td>(17,210名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>17,308名</td> <td>(16,172名)</td> <td>高齢者</td> <td>20,026名</td> <td>(15,729名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>3,185名</td> <td>(2,356名)</td> <td>合計</td> <td>77,303名</td> <td>(66,163名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>669名</td> <td>(297名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">16.8%増</td> </tr> </table> | | 幼児 | 15,649名 | (14,399名) | 成人 | 20,466名 | (17,210名) | 小学生 | 17,308名 | (16,172名) | 高齢者 | 20,026名 | (15,729名) | 中学生 | 3,185名 | (2,356名) | 合計 | 77,303名 | (66,163名) | 高校生 | 669名 | (297名) | 前年度比 | 16.8%増 | |
| 幼児 | 15,649名 | (14,399名) | 成人 | 20,466名 | (17,210名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 17,308名 | (16,172名) | 高齢者 | 20,026名 | (15,729名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 3,185名 | (2,356名) | 合計 | 77,303名 | (66,163名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 669名 | (297名) | 前年度比 | 16.8%増 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 在宅の育児家庭に対して乳幼児向けのサービスを提供するとともに親同士のふれあいや助け合いの場ときっかけづくりを行う。保育園併設館の機能を活かし、乳児・幼児対象事業や子育て相談事業を親同士の相互交流と親子で気軽に遊べる場の提供を行う。
- 【小学生・中学生】 小学生、中高生の健全育成を地域の運動と連携しながら実施する。あわせて中高生の居場所づくりを推進する。法人のネットワークを活用し、保育経験と体育指導の専門資格を有するスタッフによる魅力のある事業を提供する。
- 【全世代】 地域特性に着目し、日暮里地区の伝統工芸技術者及びマイスターの技と作品に触れ、体験する機会を設けるなど、地域資源を取り入れた教室・講座を開設する。受講生の主体的な活動につなげ、自主活動サークル化を目指す。

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 乳幼児の母親向けの「ママフレ」はクッキングやフラワーアレンジメントなどを楽しみ「ママピラティス」は同じ多目的室で託児をするので安心して参加できると、どちらもママのリフレッシュタイムとして好評だった。また、4つの「幼児タイム」のほか「親子ワクワク体操」も人気の事業として定着した。
- 【小学生・中学生】 「おぼけ大会」「クリスマス会」「はるまつり」は小学生の実行委員が企画運営し、当日もスタッフとして活躍し好評を得た。また、お正月を楽しむイベントとして「しめ縄づくり」や「羽子板づくり」「こま検定」なども人気があった。そのほか「あらかわの心」推進運動の「あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り」の実践を通して倫理観や正義感、奉仕助け合いの心を醸成するため、館内に標語を掲示するとともに「あらかわの心」かるたを購入し普及・啓発に努めた。
- 【全世代】 夕やけこやけ保育園の園庭で「おすもうさんといっしょにおもちつき」を実施したところ、荒川区民チャンネルで紹介され、参加者、利用者から好意的な反響が多数寄せられた。また「バスで行く小さな旅」では、ビール工場見学やいちご狩りなど、子どもから大人まで楽しめる日帰り旅行として好評を得た。さらに荒川区観光ボランティアガイドと巡る「にっぽり・やなか散策2」や日暮里在住の指物師を講師に迎えた「箸作り」講座なども人気があった。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 46,060,288 | 48,751,220 | 48,445,724 | 48,368,833 |
| | 決算 | 46,096,580 | 48,762,969 | 48,565,699 | |
| 支出 | 予算 | 46,060,288 | 48,751,220 | 48,445,724 | 48,368,833 |
| | 決算 | 46,096,580 | 48,762,969 | 48,565,699 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 20 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 70 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 4 | 80% | 20 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 利用者数が増加している | 25 | 5 | 100% | 25 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 90 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 10 |

評価内容

荒川区観光ボランティアガイドと巡る「にっぽり・やなか散策2」や日暮里在住の指物師を講師に迎えた「箸作り」講座など、日暮里の歴史や史跡、伝統技術への興味と理解を深め、荒川区への愛着と誇りを感じることができ、事業を意欲的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-----|
| 合計 (A+B) | 100 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 役務費、委託料等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては「おすもうさんといっしょにおもちつき」や「バスで行く小さな旅」など、子どもから大人まで一緒に楽しめる事業が充実している。日頃から「あいさつの励行」や「きまりを守る」など、丁寧な指導のほか、利用者と地域のニーズにあった事業展開を積極的に行う館の姿勢が、入館者数前年度比伸び率が16.8%増と高い伸び率に繋がっていることを評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------------------|------|---------|-----------|----|---------|-----------|-----|--------|----------|-----|--------|----------|-----|------|----------|----|---------|-----------|-----|------|-------|------|--------|--|
| 施設名 | 名称 | 西日暮里ふれあい館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里六丁目24番4号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定管理者 | 名称 | 学校法人道灌山学園 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里四丁目7番15号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設開設年月日 | | 平成20年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成20年4月1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務内容 | <p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】 サロン、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 音楽室</p> <p>【世代別入館者数】（ ）内は昨年度の入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>15,743名</td> <td>(17,215名)</td> <td>成人</td> <td>20,819名</td> <td>(21,126名)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>7,126名</td> <td>(6,139名)</td> <td>高齢者</td> <td>8,165名</td> <td>(8,338名)</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>667名</td> <td>(2,178名)</td> <td>合計</td> <td>53,387名</td> <td>(55,094名)</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>867名</td> <td>(98名)</td> <td>前年度比</td> <td colspan="2">-3.1%減</td> </tr> </table> | | 幼児 | 15,743名 | (17,215名) | 成人 | 20,819名 | (21,126名) | 小学生 | 7,126名 | (6,139名) | 高齢者 | 8,165名 | (8,338名) | 中学生 | 667名 | (2,178名) | 合計 | 53,387名 | (55,094名) | 高校生 | 867名 | (98名) | 前年度比 | -3.1%減 | |
| 幼児 | 15,743名 | (17,215名) | 成人 | 20,819名 | (21,126名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 7,126名 | (6,139名) | 高齢者 | 8,165名 | (8,338名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 667名 | (2,178名) | 合計 | 53,387名 | (55,094名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高校生 | 867名 | (98名) | 前年度比 | -3.1%減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成27年度の事業計画

- 【乳幼児】 多様化する子育てのニーズに対応すべく、利用者が利用しやすい事業運営を心がける。
- 【小学生】 児童一人ひとりが様々な館行事において中心として活動し、遊びを通して心身の成長を促すとともに、児童が安心してのびのびと利用できる環境の整備を図りながら、事業を実施する。
- 【中高生】 館の特性を活かした事業を展開し、中高生が利用しやすい環境整備（生活スタイルや心情に沿った対応）を心がける。
- 【成人】 利用者からの意見を取り入れ、来館の機会を増やす魅力的な事業を展開する。
- 【高齢者】 地域の中の身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を目指し、各種事業を通して、「仲間作り」や「生き甲斐」創出を支援する。（高齢者が必要とする情報を提供できるように配慮する）

平成27年度の事業実績

- 【乳幼児】 親子参加型の行事（運動会、遠足、パパと遊ぼう等）や季節を意識した行事（こいのぼり製作、七夕製作、ハロウィン等）を充実させたことにより、親と子の関わりを深めることができた。通常の幼児タイムが休みの期間は異年齢合同の幼児タイム「アイアイタイム」を実施したところ、多数の利用者があり好評を得た。
- 【小学生】 ダンスサークル「JUMP」は曜日を増やしたことで登録人数が増え、より活発な活動となった。子どもたちの意識も高く「夕やけ文化祭」等で大人数の迫力あるダンスが披露できた。また「ハッピーハロウィン」は参加者が400名を超え、地域の行事として根付くことができた。
- 【中高生】 卓球コーナーを常設し放課後の利用に繋げるほか、中高生向けに多目的室を開放しバスケットボールなどのスポーツができる場を提供した。また、小学生事業の「ディキャンプ」に中学生がボランティアとして参加し職員の手伝いをする事で、中学生の自覚を育み、小学生のよい手本となった。
- 【成人】 「ベビーマッサージ」や「アネラルーム」など乳幼児親子向けの講座のほか、気軽に体を動かすことができる「エアロビクス」や「フラレッスン」「ヨーガ」などの人気講座のさらなる充実に努めた。
- 【高齢者】 一年を通じて「カラオケ」「詩吟」「踊り」「太極拳」等の事業が活発に行われた。また「ふれあい敬老会」に隣接する西日暮里保育園児が参加するなどの地域交流も積極的にを行い好評を得た。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 44,706,721 | 46,724,021 | 46,948,581 | 47,427,097 |
| | 決算 | 44,706,721 | 46,724,021 | 46,948,581 | |
| 支出 | 予算 | 44,706,721 | 46,724,021 | 46,948,581 | 47,427,097 |
| | 決算 | 44,316,152 | 45,975,329 | 46,931,517 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 390,569 | 748,692 | 17,064 | 0 |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|-------------------------|-----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 20 | | | 19 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 安全・安心に過ごすための施設管理がなされている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 区民サービス | 80 | | | 73 |
| 事業に対する満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 職員の接遇がきちんとなされている | 25 | 5 | 100% | 25 |
| ポスターや館だより等の広報方法を工夫している | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 幅広い事業展開を行っている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 利用者数が増加している | 25 | 4 | 80% | 20 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 92 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 地域と連携した事業展開を行っている | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 施設全体における評価が高い | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 安全に対する積極的な取り組みを行っている (上級救命講習の受講等) | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 9.6 |

評価内容

通常の幼児タイムが休みの期間に実施する異年齢合同の「アイアイタイム」や乳幼児親子向けの講座「アネラルーム」など、不安になりがちな子育て中の保護者の声を取り入れ、親子の関係が深まり利用者同士の交流の場となる事業を積極的に行っている。

改善すべき点等

| |
|--|
| |
|--|

| | |
|----------|-------|
| 合計 (A+B) | 101.6 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査を行った結果、会計処理は適正に行われている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 光熱水費、運営費等について経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業者の3期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、館行事の「ふれあい敬老会」に隣接する西日暮里保育園児の参加や「ハッピーハロウィン」の参加者が400名を超え、地域の行事として根付くなど、ふれあい館が世代間交流のきっかけの場となり、日頃からの事業展開を通じて、地域住民が気軽に集える場を目指す館の姿勢を評価する。 |
| 財務・労務面 | 財務面では、施設の会計手続きや予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 区民生活部 |
| 課 | 地域振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立町屋文化センター |
| | 所在地 | 荒川区荒川7-20-1 |
| 指定管理者 | 名称 | 公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団 |
| | 所在地 | 荒川区荒川7-20-1 |
| 施設開設年月日 | | 昭和63年11月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | 生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場 |

平成27年度の事業計画

区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。カルチャー講座では、絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。

27年度も昨年度と同様に年2回のアンケートのほか、意見箱・懇談会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。

貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。

平成27年度の事業実績

カルチャー講座は671講座を実施し、受講者は4,684人と、前年度より100人の減少となった。

「なないろひろば事業」は開催4年目で延1,000人を超える参加者となり、地域事業として根付いてきた。また、「一日文化体験フェア」は、体験講座に加えて、特別講演会やスタンプラリー、被災地支援物産展など、工夫を凝らして事業を展開した。

施設管理については、老朽化した設備や備品等の修繕を管理者として実施した他、区予算での展示パネルや防犯カメラの更新を行い、安全で快適な施設管理につなげた。

施設のホームページをリニューアルし、充実した情報発信を行った。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 36,207,000 | 36,906,000 | 37,892,000 | 37,957,000 |
| | 決算 | 37,164,284 | 37,710,828 | 38,510,448 | |
| 支出 | 予算 | 36,207,000 | 36,906,000 | 37,892,000 | 37,957,000 |
| | 決算 | 36,869,599 | 36,892,068 | 36,068,301 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 294,685 | 818,760 | 2,442,147 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 30 | | | 24 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 業務遂行に必要な職員が配置されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 区民サービス | 70 | | | 56 |
| 施設利用等の満足度が高い | 30 | 4 | 80% | 24 |
| 防災計画に明示されている訓練等を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 80 |

| その他の評価項目 | | | | |
|--|----|-----|-----|----------|
| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 地域との協働内容 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区内事業者の活用 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 合計 (A) | 10 | - | - | 8 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>「一日文化体験フェア」や「なないろひろば」等、地域住民が気軽に参加できる事業を実施し、プレイコーナーを「街なか避暑地」や「ほっとサロン」に開放し地域交流の場としても活用している。</p> <p>27年度、12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託。また、消耗品購入や、電気、ドア、トイレ修繕等で区内業者を活用している。</p> | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| | | | | 合計 (A+B) |
| | | | | 88 |
| 総合評価 | | | | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上が図られている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 一部経費に予算と実績の間に乖離が見られるが、主に経費節減努力による。自主事業の予算管理の適正化に向けた意向が示された。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 主に外部要因により利用料収入が増加し、収支差額の黒字が伸長した。経費節減努力が見られた。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <p>利用者アンケートに加え、講座利用者、講座講師、一般利用者等による「利用者懇談会」を実施し、利用者ニーズの把握に努めている。また、防犯カメラ及び展示用パネルを更新するとともに、老朽化した設備や備品の修繕を行い、安全で快適な施設管理を進めたことは、評価できる。</p> <p>区民が気軽に参加できる「1日文化体験フェア」や、コンサートや落語、講演会などに無料で参加できる「なないろひろば」等の自主事業により、広く地域の方々の来所を促すなど、利用者層の拡大を図っている。</p> <p>利用者アンケートでは、施設利用について、「利用しやすい」と「やや利用しやすい」の合計は前年度より上昇したが、職員の対応について、「とても良い」と「良い」の合計は前年度より減少した。利用者意見をよりの確に把握するため、アンケート回収数の増加を図る必要がある。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正である。また指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興財団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p> |

| | |
|-------|-----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 地域文化スポーツ部 |
| 課 | 生涯学習課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立生涯学習センター |
| | 所在地 | 荒川区荒川3-49-1 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社 読売・日本テレビ文化センター |
| | 所在地 | 江東区清澄1-2-1 |
| 施設開設年月日 | | 平成9年7月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | <p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p> |

平成27年度の事業計画

「区民カレッジ」は、より多くの受講者の要望に応えられるよう、新講座の開設とともに、過去の講座についてより内容を深めたり、異なった視点で楽しめるような講座を検討する。また、著名な講師を招いて実施する特別講演会については、より多くの方々が参加できるよう、会場をムーブ町屋や日暮里サニーホールに移して実施する。

「IT講習会」は、初歩的な講座より実践的な内容の講座を求める傾向が強くなっているため、「エクセル表計算」や「パワーポイント」、「年賀状作成」や「ワードでの写真加工」などの実用講座を増やし、区民のパソコンスキルの向上を支援していく。

施設管理については、利用者が安全で快適に過ごせる施設を目指して、経年劣化の見られる設備に対して修繕等の対応を行う。受付業務については、利用者に挨拶・声掛けを積極的に行うなど、親しみのもてる雰囲気づくりに努める。

平成27年度の事業実績

「区民カレッジ」は、年間受講者3,853人と前年度より68人減少したが、安定した参加実績が続いている。C.W.ニコル氏の特別講演会は、C.W.ニコル自然体験大賞表彰式と同時開催し、区と連携した共同事業の実施により、あらかじめMBA表彰を受賞することができた。

「IT講習会」は、一人ひとりの受講者ニーズに対応するため、引き続き段階的な講座構成により実施し、またパワーポイントや写真加工等の実践的講座を増やした。

施設管理としては、保守点検の結果等に基づき、受水槽や女子トイレの排水管等、緊急性の高い箇所を優先して修繕を実施した。

受付業務については、利用者に積極的に挨拶を行い、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 64,764,000 | 64,188,000 | 63,222,000 | 63,155,400 |
| | 決算 | 65,038,644 | 64,490,072 | 63,353,233 | |
| 支出 | 予算 | 64,764,000 | 64,188,000 | 63,222,000 | 63,155,400 |
| | 決算 | 64,531,467 | 63,623,355 | 61,149,259 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 507,177 | 866,717 | 2,203,974 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 30 | | | 24 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 業務遂行に必要な職員が配置されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 区民サービス | 70 | | | 56 |
| 施設利用等の満足度が高い | 30 | 4 | 80% | 24 |
| 防災計画に明示されている訓練等を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 80 |

| その他の評価項目 | | | | |
|--|----|-----|------|-------|
| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 地域との協働内容 | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 区内事業者の活用 | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 合計(A) | 10 | - | - | 9 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>シルバー人材センターを活用するとともに、パート職員は区民を積極的に雇用している。27年度4月期のパート職員11人のうち8人が区民であった。</p> <p>多目的広場について、近隣保育園の遊び場、運動会、町会行事の活動場所として提供しているほか、地元町会と一緒に防災訓練を行うなど、地域と連携しながら運営している。</p> <p>27年度は、13の再委託業務のうち8業務について区内の業者に再委託。修繕工事では、内装、電気、トイレ修繕で積極的に区内業者を活用している。</p> | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| | | | | |
| 合計(A+B) | | | | 89 |
| 総合評価 | | | | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 一部計画外の支出が見られたが、綿密な原因分析を行うとともに改善の見込みが示された。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 節水・節電努力を利用者に呼びかけ高い効果を上げた。外壁工事により利用料収入が減少したが、回復が見込まれる。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <p>区民カレッジは、毎回定員を超える応募があり、好評を得ている。人気の講座は2年連続して実施するなど、実施方法についても工夫している。</p> <p>接遇については、利用者に積極的に挨拶や声掛けを行っているほか、事務所窓口のガラス戸を外して、気軽に職員に声を掛けられる雰囲気をつくるなど、継続的に利用者満足度の向上に努めている。</p> <p>人員体制については、休日及び夜間の人員を増やして、サービスの向上と危機管理体制の強化を進めているほか、C.W.ニコル氏特別講演会で十分な体制を確保し、円滑な事業実施に尽力したことは、評価できる。</p> <p>利用者アンケートの結果、受付対応と電話対応において、「非常に良い」と「良い」の合計が前年度より若干減少したが、継続して一定の評価を受けている。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、経費節減の働きかけによる収支改善努力がなされている。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p> |

| | |
|-------|-----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 地域文化スポーツ部 |
| 課 | 生涯学習課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--|--|----------------------------|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家 |
| | 所在地 | 山梨県北杜市高根町清里3545-5 |
| 指定管理者 | 名称 | ニッコトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト |
| | 所在地 | 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 新堀留ビル9階 |
| 施設開設年月日 | | 昭和58年4月15日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | <p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳（ベッド）1室 研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室 リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間（平成27年度）：4月29日（水）～11月4日（水） | |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <p>管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 自動販売機の設置による飲料水の提供や、朝・夕食時のサラダバーの設置、浴衣や歯磨きセット等のアメニティの提供等により、利用者サービスの向上を図る。 区報及びホームページへの施設情報の掲載により、施設の魅力をPRする。 自主事業として、区やレクリエーション協会と共催により、バスツアー（区民ハイキング）を実施する。</p> | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <p>管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務について、計画どおり適切に実施することができた。 利用者実績は、一般利用は111人増加したが、清里高原学園の実施校が減少した影響を受け、学校利用は1,610人減少した。 地産野菜のサラダバーや朝食時の牛乳等のサービスなど、地域資源を活かしたおもてなしを引き続き実施し、好評であった。 定期的に区報及びホームページへ施設情報を掲載し施設の魅力を発信するとともに、施設の案内パンフレットを新しく作成し区内施設等に配布することで、施設のPRを図った。 区及びレクリエーション協会との共催により、1泊2日のバスツアー（区民ハイキング）を50人規模で実施することができた。</p> | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度(予算) |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 77,328,000 | 77,760,000 | 77,220,000 | 75,448,000 |
| | 決算 | 75,986,918 | 77,346,032 | 72,497,095 | |
| 支出 | 予算 | 77,328,000 | 77,760,000 | 77,220,000 | 75,448,000 |
| | 決算 | 75,877,938 | 77,006,914 | 71,074,003 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 108,980 | 339,118 | 1,423,092 | |

(備考)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|------------------------|-----|-----|-----|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 30 | | | 24 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 業務遂行に必要な職員が配置されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 区民サービス | 70 | | | 56 |
| 施設利用等の満足度が高い | 30 | 4 | 80% | 24 |
| 防災計画に明示されている訓練等を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている | 20 | 4 | 80% | 16 |
| 合計(A) | 100 | - | - | 80 |

| その他の評価項目 | | | | | |
|--|-------------------------|--|-----|-----|-------|
| 評価項目 | | 配点 | 評価 | | 得点 |
| | | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 地域との協働内容 | | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 自主事業への取組 | | 5 | 5 | 80% | 5 |
| 合 計 (A) | | 10 | - | - | 9 |
| 評価内容 | | | | | |
| <p>地産野菜や地元工場生産の牛乳を利用者に提供し、好評を得ている。また、地元シルバー人材センター活用による敷地内の雑木林整備や、清里観光振興会のホームページに施設情報の掲載を依頼するなど、地域と連携を図り、PRに努めている。</p> <p>区及びレクリエーション協会との共催で、バスツアー（区民ハイキング）を開催し、成功裏に実施できた。自主事業の継続的な実施に向けて積極的な姿勢があり、評価できる。</p> | | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | | 89 |
| 総合評価 | | | | | A |
| 財務・労務評価表 | | | | | |
| 評価項目 | | 評価内容 | | | 評価 |
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、会計手続きは適切である。 | | | A |
| | 予算管理が適正である | 一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。 | | | A |
| | 経費縮減の努力が行われている | 学校カリキュラム等の変更により利用料収入は低迷した。すでに開始している利用促進に向けた取組の継続・強化が求められる。 | | | B |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | | | A |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。 | | | A |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>開設から33年が経過して施設設備の劣化が進むなか、機械設備の保守点検等や修繕を適切に実施し、安全かつ快適な施設づくりに努めている。また、開設前清掃や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供など、継続的に、良好なサービスの提供を行っている。</p> <p>施設の利用者増加と区民サービスの向上に向けて、区及びレクリエーション協会と共催でバスツアー（区民ハイキング）を実施し、多くの参加者を集めることができたことは評価できる。</p> <p>食物アレルギーへの対応については、マニュアルに沿った料理提供の徹底を図るとともに、再委託先の弁当業者に対しても区と協力して注意喚起を行い、事故防止に努めた。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、指定管理者である株式会社ニッコクトラストは経営改善に向けた取り組みが進んでおり、また東京パワーテクノロジー株式会社は業績が一層伸長していることから、全体として安定的な財務体質の確立に到達しつつある。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、自主事業において工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p> |

| | |
|-------|-----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 地域文化スポーツ部 |
| 課 | 生涯学習課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川総合スポーツセンター |
| | 所在地 | 荒川区南千住6-45-5 |
| 指定管理者 | 名称 | T M共同事業体 |
| | 所在地 | 代表企業：株式会社東京アスレティッククラブ 中野区中野2-14-6 |
| 施設開設年月日 | | 昭和60年6月2日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成19年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成28年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・施設等の変更の承認に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区が必要と認める業務 |

平成27年度の事業計画

- ・ライフステージに適應したスポーツ機会を提供し、区民の健康づくりを支援する。
- ・スポーツ実施率向上のための普及・広報活動を充実する。
- ・安全・安心・快適な施設の管理運営に努め、利用率を向上する。
- ・利用者意見の収集と対応、事故や苦情の適切な対応を図る。
- ・スタッフの指導力・技術力・コミュニケーション力の向上、個人情報管理を徹底し、適切な管理を行う。
- ・事故や苦情に関する連絡体制を整え、区との円滑な連絡体制を整備する。
- ・適切な水質管理を維持し、水道使用量の抑制を図る。

平成27年度の事業実績

【利用者数】

| | |
|---------|---------------------------|
| ・団体利用者数 | 262, 281人(前年度比 +23, 263人) |
| ・個人利用者数 | 138, 182人(前年度比 Δ11, 393人) |
| ・利用料免除者 | 54, 095人(前年度比 Δ5, 099人) |
| ・教室受講者数 | 135, 243人(前年度比 Δ14, 781人) |
| 合計 | 589, 801人(前年度比 Δ8, 010人) |

【教室・講習会】

- ①固定会員制教室 (スポーツ教室/17種類・1,120回(+32)) (水泳教室/10種類・1,848回(Δ444))
- ②自由会員制教室 (スポーツ教室/13種類・632回(+86)) (水泳教室/2種類・231回(Δ69))
- ③キッズルーム教室 (14種類・1,172回(+84))
- ④自主事業教室 (26種類・1,543回(+123))

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 275,229,692 | 276,912,794 | 283,221,551 | 285,742,474 |
| | 決算 | 288,141,277 | 296,364,456 | 291,606,430 | |
| 支出 | 予算 | 275,229,692 | 276,912,794 | 283,221,551 | 285,742,474 |
| | 決算 | 278,461,340 | 288,753,545 | 280,342,200 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 9,679,937 | 7,610,911 | 11,264,230 | 0 |

（備考）

- ・ プール休業に伴い入場料・教室事業収入が減したが、自主事業・イベントの歳入増により、収支は予算額を上回る黒字である。
- ・ 自主事業では、女性利用者から要望の高いヨガ教室について、広い会場に変更し、より多くの受講希望者の受け入れ態勢を整えるなどし、運動から遠ざかりがちな区民の利用促進を図り、利用者及び収入の増加を図っている。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|--------------------------|-----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 40 | — | — | 34 |
| 建物・設備・備品等が適切に管理されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 利用者が快適に利用できるよう清掃されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| プール施設の衛生管理が適切に実施されている | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 区民サービス | 60 | — | — | 48 |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 利用者の意見を取入れた事業展開を行っている | 15 | 4 | 80% | 12 |
| 利用者の意見や苦情への対応体制が構築されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 個人情報の保護に対する体制が構築されている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 合計（A） | 100 | - | - | 82 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|--------------------|----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 区民雇用を積極的に行っている | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区内業者への発注を積極的に行っている | 5 | 5 | 100% | 5 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 9 |

評価内容

- ・職員（非常勤職員含む）のうち11%が区民である。前年度（22.8%）と比較し、区民の雇用率が下がっているが、上半期に限った状況で、下半期以降は、前年度に近い雇用率を保っている、引き続き、指導の経験や技能を必要とする職以外は、区民の積極的な雇用促進を図ることとしている。
- ・施設管理に関する委託業務について、高度な技術・緊急性等を要する業務以外は区内事業者が発注している（47%）。また修繕についても、メーカーによる修繕や緊急の修繕を除き、区内事業者が発注している。修繕費の約42%が区内発注となっており、製造元の指定以外は積極的に区内事業者を活用している。

改善すべき点等

区や地域団体等と連携し、年齢・性別・障がいの有無等を問わず、幅広い方々に利用いただける施設となるよう、ユニバーサルスポーツの推進など、利用の促進に期待したい。

合計 (A+B)

91

総合評価

A

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書等は概ね適正に作成されているが、一部経費の計上漏れがあったので、改善を要する。 | B | A |
| | 予算管理が適正である | 一部予算と実績の間に乖離が見られたが、合理的な理由が示された。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | プール休業に伴い利用料収入が減少する一方本部経費が減少した。印刷製本費の節減努力が見られた。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>施設の老朽化が進行しているなか、利用者の安全、利便性を優先した修繕、管理を継続的に適切に実施しており、適切な施設管理を行っている。</p> <p>運営においては、4月～6月までプール休業により教室等を中止した際には、利用者への迅速・適切な連絡や説明により、プール再開まで大きな混乱もなく運営を行った。こうしたなか、利用者ニーズに応じた事業展開を行い、スポーツ教室では昨年度比118回、キッズルーム教室数では84回、自主事業教室数では123回増しており、区民へのスポーツ機会の提供、利用者増加への努力を評価することができる。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面では、施設の会計手続や予算管理について、上記のとおり一部経費の計上漏れがあり、改善を要する点が見受けられた。一方で、平成26年度決算での指摘事項については、平成27年度決算では改善されている。</p> <p>指定管理者であるTM共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面では、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面及び労務・財務面ともに良好であり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。</p> |

| | |
|-------|-----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 地域文化スポーツ部 |
| 課 | スポーツ振興課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 |
| | 所在地 | 荒川区南千住6-36-5 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 聖風会 |
| | 所在地 | 足立区花畑4-39-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成元年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成元年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。 （定員）特養100名 ショートステイ10名 |

平成27年度の事業計画

- 1 特養：法人が設定した目標利用率94.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率104.0%
- 2 日常生活において感染症予防の徹底を図り、特養で94%以上、ショートステイ事業と合わせて96.4%以上の利用率を確保し、安定した施設運営を目指す。
- 3 空床利用型ショートステイの有効活用に努め、ショートステイ120%以上の利用率を目指す。
- 4 大きな課題である人材確保と育成については、法人において新たに人事管理部門を設置し、職員の確保と安定を目指し、ケアの質を向上させるとともに、利用者が安心した生活を送れるようにしていく。
- 5 職場内研修を行うことで、職員の質の向上と職員体制の安定を目指す。

平成27年度の事業実績

- 1 特養：利用率92.0% 平均介護度3.9、ショートステイ：利用率95.5% 平均介護度3.1
- 2 特養の利用率は26年度比3.6%のアップではあったが、法人目標までには届かなかった。利用者の変化に気づく意識づけをくり返すことで、ケアの質の向上に努めたが、もう一歩踏み込んだ努力が必要であった。
- 3 ショートステイにおいても、法人目標利用率の達成には至らなかった。特養の入院日数が短くなったことで空床利用の希望へ応じることが難しい状況もあり、ショートステイの利用率は95.5%であった。
- 4 職員体制については、職員の確保に向けて、事業所単体ではなく、法人としても職員募集へ取り組んできたが、思うように確保ができなかった。一方で、派遣会社を通して、直接雇用につながるケースが増えている。
- 5 新入職員に対しては、トレーナーを配置し面談を行うことで、入職時の疑問や不安を軽減でき、職員の定着にも、徐々に結びついてきている。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 460,554,000 | 464,610,000 | 453,136,000 | 450,300,000 |
| | 決算 | 448,184,057 | 440,785,166 | 438,513,373 | |
| 支出 | 予算 | 457,594,000 | 459,150,000 | 444,972,000 | 443,417,000 |
| | 決算 | 448,852,043 | 442,823,643 | 449,677,822 | |
| 収支 | 予算 | 2,960,000 | 5,460,000 | 8,164,000 | 6,883,000 |
| | 決算 | -667,986 | -2,038,477 | -11,164,449 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、92.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が92.0%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、介護予防事業として、「お元気ランチ卒業者」に対して「みなこいランチ」を実施していること、また、地域交流として、町会の方やふれあい館利用者との交流会の開催、発表会や合同防災訓練など、施設を有効活用するとともに、「みなこい祭り」を通して、施設のPRにも努めていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 概ね会計基準に基づいて手続きがなされている。 | B | B |
| | 予算管理が適正である | 予算管理が適正に行われている。しかし3年連続で事業活動収支差額は赤字となっているため、改善の必要がある。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われているが、さらなる改善が必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。利用者に対するケアやリスクへの理解を深めるなど、事故防止対策に取り組んでいる。 ・職員の確保が困難を極める中で、ケアの質の向上を図るには、職員の意識や質を高めていく必要があり、リーダー向けの研修・新入職者研修など、職員のスキルアップや体制整備などに取り組まれている。一方で職員の採用・育成方法等について更なる見直しを行い、安定的な職員の確保が望まれる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っているが、3年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>サービス面、労務面は良好であった。一方で財務面は、3年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。</p> <p>【特記事項】 利用者へのサービス提供は行われていたが、一部の利用者について個別の通所介護計画書が未作成であり、介護報酬の返還が生じた。具体的には、身体等の状態に変化がない利用者について、当初計画のみで、新たな計画を作成せずにサービスの提供を行っていたものである。 このことは、厚生労働省が定める指定居宅サービス基準等の規定に反する行為であり、法人として計画書が未作成の状況を把握できなかったことは問題である。 しかし、架空請求のような悪質な事象ではなく、東京都に照会したところでも、介護サービス事業所の指定取消にあたるものではないとの回答を得ている。 本件については、すでに未作成分への対応を終了しており、法人として再発防止策を含めたチェック体制を整備し、法人が責任を持って実行していくとの報告を受けている。区としては、その実施状況について継続的な報告を求めていく。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川 |
| | 所在地 | 荒川区南千住3-14-7 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上宮会 |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里2-29-8 |
| 施設開設年月日 | | 平成7年2月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成7年2月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員） 特養56名 ショートステイ12名</p> |

平成27年度の事業計画

- 1 特養：法人が設定した目標利用率95.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率100.0%
- 2 26年度の利用率を保つとともに、短期入所については利用率100%を目標とする。
- 3 地域福祉の拠点として、高齢者福祉施設の専門施設としての機能を活かしていく。利用者や家族からの相談等サービス提供の体制強化を図り、地域コミュニティに積極的に参画し、交流を深める。
- 4 施設介護サービスにおいて、ケース会議等での協議や意見交換により作成されたケアプランに基づき生活支援を行う。また関連職員には、ケアプランの周知徹底を図るとともに、職員はケアプランに基づいたケアの提供に努める。
- 5 事故・感染症予防等のリスクマネジメントについて、平常時からの意識付けや衛生管理対策などを講じるとともに、個々の啓発に努めるため、講習などを実施する。

平成27年度の事業実績

- 1 特養：利用率94.0% 平均介護度3.8、ショートステイ：利用率112.7% 平均介護度2.9
- 2 特養の利用率は、法人目標に僅かに届かなかったが、ショートステイの利用率は112%となり、法人目標を達成できた。
- 3 地元町内会、高校、保育園等と積極的な交流を行い、行事への参加の中で、地域に根差した特養として、利用者の生きがい支援を行うとともに、地域福祉の輪を広げることができた。
- 4 定期的なモニタリングを行い、ケアの状態の推移を評価するとともに、プランの適切な見直しを行った。また、入浴や排泄部分においても、講習会や意見交換を重視して、ケア方法等の徹底を図った。
- 5 事故防止については、ヒヤリハット分析と要因分析により事故の発生を抑えた。感染症については、感染予防の徹底を図り、院内感染発生がゼロになった。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 294,997,000 | 306,940,200 | 293,279,000 | 302,733,000 |
| | 決算 | 297,413,661 | 288,867,387 | 297,884,437 | |
| 支出 | 予算 | 286,885,000 | 302,987,000 | 288,980,200 | 292,767,000 |
| | 決算 | 296,281,498 | 277,216,910 | 281,001,716 | |
| 収支 | 予算 | 8,112,000 | 3,953,200 | 4,298,800 | 9,966,000 |
| | 決算 | 1,132,163 | 11,650,477 | 16,882,721 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、94.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が87%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、地域に開かれた施設として、家族介護者教室、お元気ランチ、シネマサロン等を開催し、地元高齢者の介護予防に努めていること、また、地元の中学生を対象とした「勤労留学」を積極的に受け入れるなど、地域との交流を図りながら、連携をしていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、給与明細一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症及び食中毒の予防とまん延予防のため、施設内の衛生保持、うがいの徹底等に努めるとともに、衛生管理の周知を図り、職員の感染症や食中毒に関する意識を高め、施設全体で感染症等の予防に取り組んでいる。 ・新規入所に際しては、利用者・家族の意向調査を十分に行った上で、集中観察やケアプランの作成を行い、介護経過等についても情報共有を図るなど、利用者の生きがい支援に努めるとともに、日常生活の中で、総合的かつ、きめ細やかな介護サービスを提供できる体制が図られている。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> <p>一方、過去4年間に運営の中枢を担う施設長が5人も交代している。この間、利用者からの苦情等は寄せられていないが、管理監督する施設長と施設職員との信頼関係は、質の高いサービス提供にとって不可欠と考える。</p> <p>法人に対しては改めて、より安定した施設運営となるよう、組織をあげて取り組むことを求める。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 |
| | 所在地 | 荒川区荒川5-47-2 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上智社会事業団 |
| | 所在地 | 荒川区町屋4-9-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成11年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成11年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。 （定員）特養50名 ショートステイ6名 |

平成27年度の事業計画

- 1 特養：法人が設定した目標利用率98.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 疾病等により困難な事例が増えているが、増加する看取り介護希望者に対し、極力希望に添えるよう職員の意識統一を図り、利用者や家族の意向に沿った看取り介護が行えるよう取り組む。
- 3 施設生活の継続のため、口腔摂取にこだわり、嚥下状態の把握、個々に適した形態食の提供により、安全で尊厳を大切に食事を提供する。
- 4 感染症の発生は、利用者の生命に係わるため、感染源を持ち込まないことを基本とし、万が一の発生時には、拡大を最小限に留めるための対策を行う。
- 5 介護拠点として、地域住民に専門性を還元し、開かれた施設として活動していく。

平成27年度の事業実績

- 1 特養：利用率98.0% 平均介護度4.0、ショートステイ：利用率79.0% 平均介護度2.7
- 2 「施設での看取り介護とは何か」を研修を通して再確認するとともに、各職種が意思統一を図り、連携することで、様々な看取りに対応することができた。また、家族との話し合いの時間を設けることで、共通の理解が図れ、困難な事例にも対応できた。
- 3 毎食の摂取量・摂取状況や嚥下の状態を記録し、必要に応じて嚥下テストや食形態の変更を行った。また、口腔内の状態にも気を配り、衛生面に力を入れた結果、嚥下性による肺炎発生の低下にも効果を上げている。
- 4 発熱者の早期発見、手指消毒の徹底、面会家族への注意呼びかけ等により、27年度も感染症の発生はゼロであった。感染源を持ち込まないために、職員の早期予防接種や体調管理、面会家族のマスク使用や手指消毒は、引き続き、継続していく。
- 5 地域町会との定期的な会合を行い、地域のニーズを把握するとともに、地域の見守り力強化のため、見守りマップの作成に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 255,220,000 | 261,018,000 | 257,775,000 | 254,243,000 |
| | 決算 | 253,023,838 | 246,939,537 | 247,524,529 | |
| 支出 | 予算 | 250,560,000 | 250,695,000 | 249,945,000 | 243,846,000 |
| | 決算 | 257,969,319 | 240,181,830 | 231,106,222 | |
| 収支 | 予算 | 4,660,000 | 10,323,000 | 7,830,000 | 10,397,000 |
| | 決算 | -4,945,481 | 6,757,707 | 16,418,307 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、98.0%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が84%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、地域に開かれた施設として、近隣町会と協力し、閉じこもりがちな高齢者を対象としたサロンや定期的に歌を楽しむ会を開催するなど、交流を図りながら、地域との連帯感を深めていること、また、動物専門学校との協力により、動物介在療法や学生との交流を図っていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続がなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用通知書、勤怠支給控除一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・ ニーズが高まる看取り介護や口腔機能の維持・向上等に積極的に取り組むなど、職員の専門性の向上やスキルアップ、体制整備の充実が図られている。 ・ 感染源を持ち込まないこと・体調管理・早期の予防接種を行うなど管理体制の強化を図り、数年ノロウイルスやインフルエンザを発生させず、感染症等予防への取り組みが徹底されている。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区南千住6-36-5 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 聖風会 |
| | 所在地 | 足立区花畑4-39-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成元年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成元年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員) 通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 職員の確保と育成に努め、利用者に安心したサービス提供ができるよう、安定した事業運営を目指す。
- 3 機能訓練指導員と介護職員の協同による、利用者に満足感が得られる訓練を実施する。
- 4 お元気ランチ・みなこいランチ・来食サービス・保育園との交流など、地域との交流を行う。
- 5 地域の活動拠点として、介護福祉士・体験ボランティア・学生の実習の受け入れを行い、介護の担い手を育成する役割を果たしていく。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率は73.9% 平均介護度2.2
- 2 職員の欠員等が重なり、法人内での協力により職員体制については対応できたが、利用者の入院や死去もあり、利用者数の減少への対応まで行き届かず、利用率は73.9%となり法人目標を達成できなかった。
- 3 機能訓練指導員の退職に伴い、それ以後の補充が困難であったため、介護職員が中心となり訓練を実施したが、利用者が十分な満足感を得るには至らなかった。
- 4 お元気ランチ・みなこいランチ・来食サービス・保育園との交流など、地域との交流を計画的に実施した。また、感染症の流行しやすい季節には、感染症予防強化月間を設けることにより、交流実施の際は、毎週、感染症流行状況を把握でき、注視して対応することができた。
- 5 地域の拠点としての役割を担うため、介護福祉士・社会福祉士・体験ボランティア・学生の職場体験など、様々な方を受入れ、介護の役割や楽しさを伝えるように努めた。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 95,072,000 | 96,735,000 | 98,291,000 | 100,415,000 |
| | 決算 | 91,033,478 | 94,467,887 | 88,243,407 | |
| 支出 | 予算 | 90,632,000 | 92,081,000 | 94,299,000 | 97,935,000 |
| | 決算 | 88,279,122 | 92,491,777 | 89,924,225 | |
| 収支 | 予算 | 4,440,000 | 4,654,000 | 3,992,000 | 2,480,000 |
| | 決算 | 2,754,356 | 1,976,110 | -1,680,818 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | | |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
| 利用率 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、73.9%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が95%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、介護予防事業として、「お元気ランチ卒業者」に対して「みなこいランチ」を実施していること、また、地域交流として、町会の方やふれあい館利用者との交流会の開催、発表会や合同防災訓練など、施設を有効活用するとともに、「みなこい祭り」を通して、施設のPRにも努めていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 概ね会計基準に基づいて手続きがなされている。 | B | B |
| | 予算管理が適正である | 予算管理が適正に行われている。事業活動収支差額は赤字であるものの、その赤字額は軽微である。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われているが、さらなる改善の必要がある。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|---------------|---|
| <p>サービス面</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・受付にマスクや手指消毒液が設置されており、職員に対しても通勤時のマスク着用や出勤時の手洗いうがいを徹底するなど、感染症を未然に防ぐ取り組みが行われている。 ・職員の確保が困難を極める中で、ケアの質の向上を図るには、職員の意識や質を高めていく必要があり、リーダー向けの研修・新入職者研修など、職員のスキルアップや体制整備などに取り組まれている。一方で職員の採用・育成方法等について更なる見直しを行い、安定的な職員の確保が望まれる。 |
| <p>財務・労務面</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っているが、事業活動収支差額が軽微な赤字ではあるため、利用率等の改善が必要である。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| <p>総合評価</p> | <p>指定管理者業務は履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であった。</p> <p>【特記事項】 利用者へのサービス提供は行われていたが、一部の利用者について個別の通所介護計画書が未作成であり、介護報酬の返還が生じた。具体的には、身体等の状態に変化がない利用者について、当初計画のみで、新たな計画を作成せずにサービスの提供を行っていたものである。 このことは、厚生労働省が定める指定居宅サービス基準等の規定に反する行為であり、法人として計画書が未作成の状況を把握できなかったことは問題である。 しかし、架空請求のような悪質な事象ではなく、東京都に照会したところでも、介護サービス事業所の指定取消にあたるものではないとの回答を得ている。 本件については、すでに未作成分への対応を終了しており、法人として再発防止策を含めたチェック体制を整備し、法人が責任を持って実行していくとの報告を受けている。区としては、その実施状況について継続的な報告を求めていく。</p> |

| | |
|--------------|--------------|
| <p>担当所管部</p> | |
| <p>部</p> | <p>福祉部</p> |
| <p>課</p> | <p>福祉推進課</p> |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区南千住3-14-7 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上宮会 |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里2-29-8 |
| 施設開設年月日 | | 平成7年2月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成7年2月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員) 通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名【H27年度は休止】 *各々介護予防含む |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 介護保険制度の改正に伴い、基本報酬がマイナス4.5%～5.5%となった結果を踏まえ、常に収支を意識しながら、安定した事業運営を行う。
- 3 利用者の個々に適した食事の形態と健康を重視した栄養バランス、アレルギー等を考慮しながら、四季折々の食事提供を行い、利用者満足度の向上を目指す。
- 4 生活意欲の向上に結び付く支援を行い、かつ訓練を通じて機能向上に努める。
- 5 入浴に対する要望が高いことから、業務の効率化を図り、一人でも多くの利用者に入浴サービス提供ができるよう工夫を図る。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率90.4% 平均介護度2.2、認知デイ：平成27年度は休止
- 2 利用率は90.4%に回復し、利用者数においては26年度比、約420名の増となった。体力的な問題で、「7時間滞在」に耐えられない利用者に対しても、「5時間滞在」の受入れを積極的に行ったことから、法人目標利用率を達成することができた。
- 3 季節にちなんだ献立の行事食やお楽しみ弁当を取り入れることで、食事により季節を体感できるサービス提供が実施できた。また、嗜好を凝らした盛り付けを工夫をすることで、利用者からも食欲が増したなどの声をいただいた。
- 4 機能訓練については、「持久力」「筋力」「歩行能力」の向上を目的に、力を入れて取り組んだ結果、体を動かすことが楽しいと感じられるなど利用者の機能の向上が認められた。
- 5 皮膚疾患のある方や介護者不在等で清潔保持が困難な方については、週3回の入浴を実施した。また、季節感が味わえるしょうぶ湯、リンゴ湯、柚子湯等の入浴サービスを提供した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 98,045,000 | 98,564,000 | 91,240,000 | 92,844,000 |
| | 決算 | 106,839,208 | 92,290,238 | 93,166,199 | |
| 支出 | 予算 | 88,003,000 | 92,264,000 | 81,725,000 | 86,764,000 |
| | 決算 | 85,950,937 | 89,165,163 | 89,204,568 | |
| 収支 | 予算 | 10,042,000 | 6,300,000 | 9,515,000 | 6,080,000 |
| | 決算 | 20,888,271 | 3,125,075 | 3,961,631 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 利用率 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、90.4%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度は79.1%であり、十分であるとは言えなかった。
- ・自主的な取り組みについては、地域に開かれた施設をとして、家族介護教室、お元気ランチ、シネマサロン等を開催し、地元の高齢者の介護予防に努めていること、また、地元の中学生を対象とした「勤労留学」を積極的に受け入れるなど、地域との交流を図りながら、連携を密にしていることは評価できる。

改善すべき点等

- ・マンネリ化しているサービス活動や行事等に新たな特色を出せるような工夫を図るなど、満足度が得られる改善が必要である。

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われているが、さらなる改善が必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、給与明細一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症及び食中毒の予防とまん延予防のため、施設内の衛生保持、うがいの徹底等に努めるとともに、衛生管理の周知を図り、職員の感染症や食中毒に関する意識を高め、施設全体で感染症等の予防に取り組んでいる。 ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携によって、利用者が希望する在宅介護サービスを提供できる体制が図られている。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p> <p>一方、過去4年間に運営の中枢を担う施設長が5人も交代している。この間、利用者からの苦情等は寄せられていないが、管理監督する施設長と施設職員との信頼関係は、質の高いサービス提供にとって不可欠と考える。</p> <p>法人に対しては改めて、より安定した施設運営となるよう、組織をあげて取り組むことを求める。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区荒川5-47-2 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上智社会事業団 |
| | 所在地 | 荒川区町屋4-9-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成11年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成11年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p> |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率80.0%
- 2 個々のニーズにより個別の計画を作成し、在宅生活で自立した日常生活が送れるよう支援する。
- 3 充実した施設設備や職員の経験を活かしたサービス提供に努め、家族の負担軽減の一助となる支援に努める。
- 4 お元気ランチや地域包括支援センターとの連携により、介護予防・日常生活支援総合事業について積極的に取り組んでいく。
- 5 介護拠点として、地域住民に専門性を還元し、開かれた施設として活動していく。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率70.2% 平均介護度2.4
- 2 運動機器訓練加算の算定を標準サービスの内容として、定期的な評価に基づいたサービス提供を行うとともに、日常生活で困っているところなど、細かく状態を把握し少しでも、自立支援に繋がるサービス提供に努めた。
- 3 安全・安心サービスを心掛け、レクリエーション・入浴・個別機能訓練を中心としたサービス提供を行った。重度の認知症の方や介護度の重い利用者、末期がんなどの医療的ケアの必要な利用者も積極的に受入れを行った。
- 4 介護予防運動士や看護師と協力しながら、上下肢筋力向上のための体操や認知症予防のための脳トレなどを活用し介護予防に努めた。また、地域包括支援センターや担当の介護支援専門員とも連携し、お元気ランチ卒業後のフォロー、介護保険給付サービスの説明、普段の生活における相談も実施した。
- 5 地域町会との定期的な会合を行い、地域のニーズを把握するとともに、地域の見守り力強化のため、見守りマップの作成に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 87,362,000 | 78,361,000 | 77,351,000 | 77,901,000 |
| | 決算 | 68,314,030 | 76,017,581 | 75,340,541 | |
| 支出 | 予算 | 86,762,000 | 75,394,000 | 70,798,000 | 66,098,000 |
| | 決算 | 70,386,393 | 74,648,478 | 68,329,169 | |
| 収支 | 予算 | 600,000 | 2,967,000 | 6,553,000 | 11,803,000 |
| | 決算 | -2,072,363 | 1,369,103 | 7,011,372 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | | |
|----------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
| 利用率 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、70.2%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度は78%で、十分であるとは言えなかった。
- ・自主的な取り組みについては、地域に開かれた施設として、近隣町会と協力し、閉じこもりがちな高齢者を対象としたサロンや定期的に歌を楽しむ会を開催するなど、交流を図りながら、地域との連帯感を深めていること、また、動物専門学校との協力により、動物介在療法や学生との交流を図っていることは評価できる。

改善すべき点等

- ・利用者からの多くの要望に応じていくための工夫を図るなど、満足度を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続がなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用通知書、勤怠支給控除一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・特養併施設設であるため、設備が充実していることや地域包括支援センターとの連携ができる強みを生かし、受入れ困難な重介護者や医療依存度の高い利用者等の受入れを積極的に行い、職員の経験を活かしたサービス提供に努め、家族介護の負担軽減の一助となる支援が図られている。 ・業務プロセスの管理手法の一つであるPDCA（plan（計画）-do（実行）-check（点検、評価）-act（処置、改善））サイクルを実践し、多職種間でアセスメントや通所介護計画の作成を行うとともに、定期的な評価に基づき、利用者の自立支援に繋がるサービスの提供が行われている。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里5-36-1 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 聖風会 |
| | 所在地 | 足立区花畑4-39-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成3年2月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成3年2月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員) 通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 新規利用者の獲得や業務改善、経費削減等に努めながら、利用率85.0%を目指す。
- 3 介護保険制度の改正により、報酬や加算に変更があったことを踏まえ、改定により報酬がマイナスとなった基本単価に対して、新たに算定可能な加算を算定し補うことで、安定した事業運営を行う。
- 4 利用者の意欲を引き出し、活動の幅の拡張を目指すとともに、介護者教室での家族支援や自主事業「おげんきランチOB会」と区の委託事業「お元気ランチ」まで総合的に支援を行っていく。また、具体的な目標を持った計画を全職員で作成し、計画達成を目指す。
- 5 保育園との定期的交流・小外出、ボランティアや実習生との関わりを通し、利用者に対して地域社会への参加を促していく。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率75.4% 平均介護度2.3
- 2 中重度の利用者が体調等により他のサービス（ショートステイ等）の利用が増えたことや、一度に複数の終了者が出た後に、同数の新規利用者を獲得することができなかったため、利用率は法人目標を達成できなかった。
- 3 個別機能訓練加算Ⅰと個別機能訓練加算Ⅱの算定要件を整備し、個別機能訓練加算Ⅰは、ほぼ全員で算定した。また、個別機能訓練加算Ⅱについても、居宅サービス計画書で課題が明確な利用者について算定したことで、安定した事業運営に寄与した。
- 4 日常生活動作の中で、利用者の有する機能や能力をセンター内で発揮できるよう、到着時の靴の履き替えや食事の配膳下膳、車椅子から椅子への移乗等、利用者本人が自ら行う場面について、通所介護計画書の中で、援助方法を明確にして支援を行った。
- 5 お元気ランチ卒業生を対象とした「いきいきランチ」の開催や町会防災訓練への参加、ひぐらし保育園との定期交流等、地域との連携を図り、交流を深めることができた。

| 施設決算状況 | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 101,837,000 | 106,784,000 | 112,292,000 | 114,150,000 |
| | 決算 | 102,654,637 | 111,681,038 | 108,013,466 | |
| 支出 | 予算 | 100,123,000 | 101,694,000 | 107,421,000 | 106,869,000 |
| | 決算 | 99,294,344 | 107,234,613 | 107,059,738 | |
| 収支 | 予算 | 1,714,000 | 5,090,000 | 4,871,000 | 7,281,000 |
| | 決算 | 3,360,293 | 4,446,425 | 953,728 | |
| (備考) | | | | | |
| | | | | | |
| 法令基準等への適合状況 | | | | | |
| 確認項目 | | | | | 適合判断 |
| 運営基準を満たしているか | | | | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | | | | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | | | | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | | | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | | | | |
| | 管理者を配置している | | | | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | | | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | | | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | | | | ○ |
| 結果 | | | | | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 利用率については、75.4%と良好である。
- ・ 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が93%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・ 自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業生が「いきいきランチ」へ移行し、引き続き仲間との交流を継続していること、また、保育園の園児とは月に1回交流会を行うとともに、小学生・中学生の職業体験や大学生の福祉体験実習を受け入れていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続がなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 毎月、居宅介護支援事業者の訪問により、利用者の個々の状況や事業所のサービス内容について報告することで、介護支援専門員との信頼関係を構築するなど、安定した事業運営が行われている。 近隣地域の介護保険事業の休止や種別変更に伴い、それらの事業所からの移行者がサービス提供をスムーズに継続できるよう、関係機関で連携が図られている。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>指定管理者業務は履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であった。</p> <p>【特記事項】 利用者へのサービス提供は行われていたが、一部の利用者について個別の通所介護計画書が未作成であり、介護報酬の返還が生じた。具体的には、身体等の状態に変化がない利用者について、当初計画のみで、新たな計画を作成せずにサービスの提供を行っていたものである。 このことは、厚生労働省が定める指定居宅サービス基準等の規定に反する行為であり、法人として計画書が未作成の状況を把握できなかったことは問題である。 しかし、架空請求のような悪質な事象ではなく、東京都に照会したところでも、介護サービス事業所の指定取消にあたるものではないとの回答を得ている。 本件については、すでに未作成分への対応を終了しており、法人として再発防止策を含めたチェック体制を整備し、法人が責任を持って実行していくとの報告を受けている。区としては、その実施状況について継続的な報告を求めていく。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区町屋7-2-15 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 聖風会 |
| | 所在地 | 足立区花畑4-39-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成5年3月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成5年3月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員) 通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 27年度は、利用率85%を目標とし、個別機能訓練Ⅰ・中重度者ケア体制加算等を算定するための要件を満たすよう準備し、安定した事業運営を目指す。
- 3 利用者が安心・安全に楽しく利用できるセンターを目指し、機能訓練事業等、利用者満足していただけるサービス提供に努める。
- 4 指定管理者としての計画に沿った、利用者の「自立支援」に向けて、実現可能なところから実施していく。
- 5 センター開所23年目を迎え、センター内で経年劣化している箇所がみられるようになったため、荒川区や法人内管理課と連携を密にとりながら、計画的に修繕や備品購入を実施していく。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：78.0% 平均介護度2.4
利用率は78.0%、1日平均利用者数31.2名、平均介護度2.4であった。27年度は、他の居宅介護支援事業所を訪問し、センターのPRに努めたが、法人目標を達成できなかった。
- 2 加算については、中重度者ケア体制加算と個別機能訓練加算Ⅰを算定したことで、安定した事業運営に寄与した。
- 3 安心・安全を念頭におき、安定したサービス提供を行った結果、特に大きな事故や苦情はなかった。機能訓練指導員を中心に身体機能維持・向上に向けた訓練を実施し「毎回センターに来ることが楽しみ」等の声を多く聞くことができた。
- 4 利用者の「自立支援」に向けた取り組みは、26年度同様センター内での「靴の履き替え」「上着の着脱」等できるだけ利用者自身が行う運営を心掛けた。
- 5 区の予算において、経年劣化が酷くなった「入浴リフト」の交換を実施した。また、「給排水管」や「消防設備冷却水槽」「スプリンクラーポンプ」等の修繕、入浴シャワーの交換等も実施した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 107,995,000 | 114,205,000 | 114,277,000 | 114,770,000 |
| | 決算 | 97,339,051 | 113,004,235 | 108,924,541 | |
| 支出 | 予算 | 104,789,000 | 110,117,000 | 111,198,000 | 108,833,000 |
| | 決算 | 108,139,079 | 106,697,444 | 107,353,857 | |
| 収支 | 予算 | 3,206,000 | 4,088,000 | 3,079,000 | 5,937,000 |
| | 決算 | -10,800,028 | 6,306,791 | 1,570,684 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 利用率 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、78.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が78%であり、十分であるとは言えなかった。
- ・自主的な取り組みについては、地域交流事業として母子生活支援施設「ハイツ尾竹」「町屋幼稚園」との交流会を開催するとともに、中学生による「勤労留学」、「教員免許の特例による社会福祉施設介護等体験」の大学生を受け入れていることは評価できる。

改善すべき点等

- ・利用者からの多くの要望に応じていくための工夫を図るなど、満足度を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 感染症予防の研修を毎年実施し、感染症予防マニュアルを作成するなど、職員への周知徹底が図られ、感染症予防に対する取り組みが行われている。 利用者のニーズが非常に高い入浴については、できるだけ多くの利用者の受け入れ実施し、利用者から好評を得ていることは評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>指定管理者業務は履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であった。</p> <p>【特記事項】 利用者へのサービス提供は行われていたが、一部の利用者について個別の通所介護計画書が未作成であり、介護報酬の返還が生じた。具体的には、身体等の状態に変化がない利用者について、当初計画のみで、新たな計画を作成せずにサービスの提供を行っていたものである。 このことは、厚生労働省が定める指定居宅サービス基準等の規定に反する行為であり、法人として計画書が未作成の状況を把握できなかったことは問題である。 しかし、架空請求のような悪質な事象ではなく、東京都に照会したところでも、介護サービス事業所の指定取消にあたるものではないとの回答を得ている。 本件については、すでに未作成分への対応を終了しており、法人として再発防止策を含めたチェック体制を整備し、法人が責任を持って実行していくとの報告を受けている。区としては、その実施状況について継続的な報告を求めていく。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区南千住4-9-6 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 聖風会 |
| | 所在地 | 足立区花畑4-39-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成12年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成12年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）30名 *介護予防含む</p> |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0% 2 安定した経営を重点目標として、サービス内容の見直しやサービス提供時間の変更を検討していく。また、業務改善や経費削減にも努め、居宅介護支援事業所や地域の方へのPRを強化する中で、利用率85%を目標とする。 3 利用者の個別ニーズにあったサービスの提供に努め、職員間の連携を密にして、利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できるセンターを目指す。 4 重度化予防と身体機能維持向上を目指した個別機能訓練及び日常生活動作訓練を行い、利用者が末永く住み慣れた地域で生活できるよう支援していく。 5 開設から15年が経過し、経年劣化している箇所が多くみられるため、早期発見に努め、計画的に修繕を行う。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 一般デイ：利用率78.1% 平均介護度2.1 2 新規利用者を獲得しても利用中止者が想定以上に多く、法人目標利用率は達成できなかった。また、経費削減については、無駄をなくすよう職員一丸で取り組んだ結果、一定の成果を得た。 3 職員間の連携を密に行い、利用者一人ひとりの日常生活動作や手段的日常生活動作をしっかりと共有することで、きめ細かいサービスを提供することができた。 4 理学療法士の異動に伴い、集団で行う体操については、看護師を中心に全職員で対応し実施している。また、個別訓練を希望する方には、身体機能の低下防止と維持向上のための訓練を実施し好評を得た。 5 経年劣化している浴室の換気扇交換、2F事務所の蛍光灯基盤交換と2ヶ所の改修工事を行った。 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 73,538,000 | 75,815,000 | 69,385,000 | 69,179,000 |
| | 決算 | 64,845,544 | 73,670,681 | 63,439,843 | |
| 支出 | 予算 | 72,158,000 | 78,032,000 | 70,704,000 | 69,157,000 |
| | 決算 | 72,500,542 | 78,144,820 | 71,168,285 | |
| 収支 | 予算 | 1,380,000 | -2,217,000 | -1,319,000 | 22,000 |
| | 決算 | -7,654,998 | -4,474,139 | -7,728,442 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、78.1%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が96.0%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、介護予防事業として、お元気ランチ卒業生の自主グループに施設の開放を行っていること、また、近隣の保育園児と月1回交流を行うとともに、地域社会体験、勤労学生、福祉専門学校、教員免許取得介護等体験の受け入れを積極的に行っていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 概ね会計基準に基づいて手続きがなされている。 | B | B |
| | 予算管理が適正である | 予算管理が適正に行われている。しかし4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、改善の必要がある。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われているが、さらなる改善が必要である。 | B | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・感染症及び食中毒の予防とまん延予防のため、毎年6月に食中毒や感染症予防の研修を法人の管理栄養士と看護師が行い、職員の感染症や食中毒に関する意識を高めるなど、感染症等予防に取り組んでいる。 ・加算について、個別機能訓練加算・入浴介助加算以外は算定できていないため、サービス提供体制強化加算などを算定していくためには、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等の職員に資格の取得を推奨していくなどの改善が求められる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続は適正であるが、4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。 ・指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>サービス面、労務面は良好であった。一方で財務面は、4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。</p> <p>【特記事項】 利用者へのサービス提供は行われていたが、一部の利用者について個別の通所介護計画書が未作成であり、多額の介護報酬の返還が生じた。具体的には、身体等の状態に変化がない利用者について、当初計画のみで、新たな計画を作成せずにサービスの提供を行っていたものである。 このことは、厚生労働省が定める指定居宅サービス基準等の規定に反する行為であり、法人として計画書が未作成の状況を把握できなかったことは問題である。 しかし、架空請求のような悪質な事象ではなく、東京都に照会したところでも、介護サービス事業所の指定取消にあたるものではないとの回答を得ている。 本件については、すでに未作成分への対応を終了しており、法人として再発防止策を含めたチェック体制を整備し、法人が責任を持って実行していくとの報告を受けている。区としては、その実施状況について継続的な報告を求めていく。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里3-8-16 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 東京都福祉事業協会 |
| | 所在地 | 北区王子2-19-21 |
| 施設開設年月日 | | 平成6年11月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成6年11月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p> |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率75.0%、認知デイ：法人が設定した目標利用率50.0%
- 2 高齢者介護等の関係法令を遵守するとともに、これに基づいた職員の業務遂行体制の確保と施設的环境整備を行い、利用者へ快適なサービスの提供を図る。
- 3 地域に開かれた福祉サービスの拠点としての役割を果たすため、豊かな経験と職務意識の高い職員の育成を図る。
- 4 「運動器の機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」「介護予防体操」等介護予防サービスを重点的に取り組む。また、介護予防日常生活支援総合事業といきいきボランティア事業への協力を行う。
- 5 利用者サービス向上への取り組みとして、福祉サービス第三者評価の内容を精査する。利用者及び利用者家族から忌憚のない意見や要望を聴ける信頼関係の構築と、苦情や要望を速やかに解決する体制を確立する。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率64.9% 平均介護度2.0、認知デイ：利用率25.3% 平均介護度4.6
- 2 毎日全職員による朝礼を実施するとともに、月1回程度の職員会議で、日常業務やマニュアル等について、法令や通達に照らし点検や見直しを行い、良好なサービス提供や事故防止に努めた。
- 3 福祉サービスの拠点としての役割を果たすため、施設内における職員同士の情報共有を図ると共に、職員の育成や接遇の向上、専門知識の修得を目的に、施設内外の研修に参加した。
- 4 介護予防を目的とした、安心して行える体操を実施した。また、介護予防利用者には、毎月体力測定を行い、さらに、看護職員と介護職員が連携してリハビリを実施した。
- 5 意見箱の設置、施設内における苦情等申し出についての案内、満足度アンケートの実施など、サービス向上に向けた更なる取り組みを実施している。また、利用者及び家族が気軽に意見や要望が出せるよう環境を整えるとともに、日頃からの信頼関係を確保できるよう努めた。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|------------|
| 収入 | 予算 | 143,413,000 | 124,666,000 | 127,172,000 | 84,952,000 |
| | 決算 | 108,739,088 | 99,665,513 | 93,847,591 | |
| 支出 | 予算 | 135,774,000 | 122,500,000 | 114,801,000 | 82,680,000 |
| | 決算 | 119,760,843 | 107,928,941 | 108,234,327 | |
| 収支 | 予算 | 7,639,000 | 2,166,000 | 12,371,000 | 2,272,000 |
| | 決算 | -11,021,755 | -8,263,428 | -14,386,736 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 利用率 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、64.9%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、いきいきボランティア、レクリエーション活動のボランティアを積極的に受け入れていること、また、近隣の学校等と積極的に交流を図り、区立中学校生徒の「勤労留学」や「教員免許法の特例による社会福祉施設における介護等体験事業」の大学生の受け入れを行っていることは評価できる。

改善すべき点等

- ・利用率について、64.9%であったことから、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、利用率を向上させるための改善が必要である。

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | B |
| | 予算管理が適正である | 予算管理が適正に行われている。しかし4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、改善の必要がある。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われているが、さらなる改善が必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇入通知書、正規職員・非常勤職員給与台帳、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・ 要介護・要支援状態にある高齢者の心身の特性を踏まえ、利用者が可能な限り居宅において、自立した日常生活を営むことができるように適正な介護サービスを提供し、自立生活へ向けての援助及び心身機能の維持向上に努めてきたことは評価できる。 ・ 利用者状況をみると、通所介護・認知症対応型通所介護ともに利用率が各区立施設の利用率を大きく下回っており、早急な利用率の改善が必要である。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続は適正であるが、4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要である。 ・ 指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>サービス面、労務面は良好であった。一方で財務面は、4年連続で事業活動収支差額が赤字であるため、利用率等の改善が必要であるが、全体として指定管理業務は適正に行われていたと評価できる。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区荒川1-34-6 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 平成6年12月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成6年12月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p> |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%、認知デイ：法人が設定した目標利用率75.0%
- 2 認知症の予防を目的に、脳機能訓練を活用したプログラムを展開していく。
- 3 重度の認知症となった場合にも、豊かに過ごせるように多彩なサービスを提供し、家族の介護負担軽減となるように支援していく。
- 4 祝日開館や入浴サービスの毎日実施を継続し、5時間以上7時間未満・7時間以上9時間未満のサービス提供を行い、個々の状態に合わせたサービス提供に努める。
- 5 荒川区の新総合事業への移行に伴い、介護予防サービスの充実を図る。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：86.4% 平均介護度2.1、認知デイ利用率：36.5% 平均介護度3.5
- 2 脳機能訓練事業を月間プログラムの中心とし、「小集団での取り組み」「集団での取り組み」「個別の学習での取り組み」を実施した。特に、小集団による取り組みにおいては、職員のかかわりにより多くの利用者の発言や笑顔が見られる活動となった。
- 3 認知症対応型の区内事業者に対して、運営状況や特色の聞き取り調査を実施し、区外施設への見学を行った。当事業所における特色の明確化に努め、職員の研修参加を促し知識の向上を図った。個々の状態に合わせたサービス提供の行える環境作りを実施した。
- 4 祝日開館も3年目となり、平日と差異なく利用があるようになった。入浴サービスは利用者のほとんどが希望し実施している。サービス利用時間は、個人の生活に合わせ選択していて、現在は、通所介護利用者の3割、また、認知症対応型の5割の方々が、5時間以上7時間未満のサービス利用となっている。
- 5 自主事業健康茶話会「ころから」の実施も2年目となり、年48回実施をした。また、ミニデイ等の提案も継続的に行った。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 112,302,000 | 114,479,000 | 114,479,000 | 109,651,000 |
| | 決算 | 102,096,542 | 103,572,749 | 109,189,936 | |
| 支出 | 予算 | 112,302,000 | 114,479,000 | 114,479,000 | 110,376,000 |
| | 決算 | 93,546,166 | 94,239,606 | 100,531,544 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | -725,000 |
| | 決算 | 8,550,376 | 9,333,143 | 8,658,392 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、86.4%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が100%で、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、おげんきランチ卒業生に対する取り組みとして、健康茶話会「ころから」の開催や保育園児との地域交流、サマーボランティア、勤労留学生、介護等体験学生、銀行の新人研修の受け入れを実施していること、また、認知症対応型通所介護で行っている屋上園芸の手入れについて、地域団体に協力を得て実施していることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・ より良いサービス提供に努めるとともに、関係事業者との連携にも努めている。また、荒川区による実地指導や第三者評価の結果を受け止め、より良いサービス提供や記録の取り方などに、職員一丸となった取り組みが行われている。 ・ より良いサービス提供に取り組んだ結果、通所介護の利用率は、26年度比10%増加となり、法人の掲げた目標利用率を上回る利用者を得られ、利用率の改善に繋がったことは評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター |
| | 所在地 | 荒川区西尾久6-17-3 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 平成7年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成7年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | <p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p> |

平成27年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率75.0%、認知デイ：法人が設定した目標利用率40.0%
- 2 認知症の予防・改善を目的として、脳機能訓練を活用したプログラムを展開していく。
- 3 区立施設として、重度の認知症の方など、困難なケースを積極的に受け入れる。
- 4 利用者の求めるサービス提供を行うために、祝日開館及び入浴サービスの毎日実施を継続する。
- 5 利用者の活動環境を向上させるため、エレベーター、空調設備の改修工事を実施する。

平成27年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：84.0% 平均介護度1.9、認知デイ利用率：21.0% 平均介護度3.4
- 2 利用者の個々の心と体を合わせた支援を行うとともに、認知機能の状態を確認しながら、個々の状態に適した教材を提供し、生け花や園芸等五感を刺激するプログラムを実施した。
- 3 引きこもりや入浴の拒否がある利用者を積極的に受け入れ、家族や介護支援専門員と連携を図ることにより、一人ひとりの現状に即した介護、支援を行うことができ、継続して通所いただくことができた。
- 4 開始当初は「祝日はデイサービスが休みである」と認識している利用者も多くいたが、現在では、祝日開館が浸透し、平日と変わらない人数の利用がある。また、入浴の回数制限を設けず、利用者個々の身体状況に応じた回数の入浴サービスを提供した。
- 5 エレベーター2機、空調設備の改修工事を実施した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 113,649,000 | 97,380,000 | 95,494,000 | 99,150,000 |
| | 決算 | 85,103,104 | 86,127,332 | 94,604,497 | |
| 支出 | 予算 | 113,649,000 | 97,380,000 | 95,494,000 | 99,965,000 |
| | 決算 | 89,649,070 | 93,207,920 | 93,165,947 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | -815,000 |
| | 決算 | -4,545,966 | -7,080,588 | 1,438,550 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|-----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている | ○ |
| | 食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している | ○ |
| | 看護職員、介護職員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用率 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・利用率については、84.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が85%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業後の活動の場及び介護予防事業として、健康茶話会「ころから」の実施や勤労留学生や企業研修、ボランティアの受け入れを積極的に実施していること、また、施設公開や近隣保育園児、小学生を季節行事に招待するなど、地域と交流を深めていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続がなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 適正な予算執行がされている。事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出は実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|---------------|---|
| <p>サービス面</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。 ・個別、集団での脳機能訓練の実施や活動意欲の向上を得ることを目的とした「外出プログラム」は、利用者にも好評で、プログラム実施後にも外出先のことや食べたものが話題になるなど、記憶に残る活動としての効果をあげている。 ・利用者個々に合わせたサービス提供に取り組んだ結果、通所介護の利用率は、26年度比16.2%増となり、法人の掲げた目標利用率を上回る利用者を得られ、利用率の改善に繋がったことは評価できる。 |
| <p>財務・労務面</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| <p>総合評価</p> | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立荒川老人福祉センター |
| | 所在地 | 荒川区荒川 1-34-6 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住 1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 昭和45年12月1日開設 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成7年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | (1) 事業に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 (2) 本施設の維持管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| 1 【介護予防促進事業】新規事業として「健康息き活き体操」を実施する。トレーニングマシンを活用した「いつでもマシンで楽々元気アップ」を実施する。「プレ介護者講座」では、介護保険制度や介護用具の紹介を実施する。 2 【生活相談事業】要支援、要介護認定を受けている利用者の状況を把握し、地域包括支援センターの職員と連携を図りながら、見守りネットワークを強化する。 3 【文化教養教室事業】新規講座の企画や公開講座の内容の見直しを行う。また、人気の高い講座は継続して実施するとともに、新たな参加者を呼び掛けていく。 4 【地域交流事業等】地域に根差した施設づくりを目指し、世代間交流など出合いやふれあいを通じた施設に対する理解の促進を図る。 | | |
| 平成27年度の実績 | | |
| 1 健康増進を図るため、腹式呼吸を使った「健康息き活き体操」や肩こりの改善、姿勢改善に繋がる「いつでもマシンで楽々元気アップ」を実施したほか、与作体操、いきいき体操、いこい室体操、ころばん・せらばん体操で介護予防促進を図った。 2 利用者の状況の把握に努め、健康保持や予防に関して、健康相談員や看護師による助言指導の機会を設け連携を図った。 3 新企画の「初めてのマージャン講習会」、腹式呼吸を活用した「健康息き活き体操講習会」を実施した。また、好評の講座は、回数を増やして開催した。講習後の受講者には、成果発表会への参加を集い、交流の機会を提供した。 4 地域へのサービス提供として、車いすの貸出、会議室の貸出、職場体験学習の受け入れを行った。また、ボランティアグループによる喫茶コーナーを設置し、地域交流の場として開放した。 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 63,936,000 | 65,422,000 | 64,644,000 | 64,082,350 |
| | 決算 | 55,374,906 | 61,869,883 | 55,498,444 | |
| 支出 | 予算 | 63,936,000 | 65,422,000 | 64,644,000 | 64,082,350 |
| | 決算 | 55,374,906 | 61,869,883 | 55,498,444 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|----------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| 事業について | | |
| | 生活相談、健康相談を行っている | ○ |
| | 教養講座等を行っている | ○ |
| | 老人クラブに対する援助等を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 施設の長を配置している | ○ |
| | 相談・指導を行う職員を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | サービス提供に必要な設備を備えている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 来館者数 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・年間利用者総数47,345人、新規利用登録者622人、1日の平均利用者159人となっており、区唯一の老人福祉センターとして、多くの来館者があることは評価できる。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が81%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みとしては、併設施設と合同で自衛消防訓練を実施し通報、避難、初期消火、応急救護の訓練を行い、利用者の安全を確保していること、また、サマーボランティアスクールの小中学生ボランティアを受け入るなど、開かれた施設として、交流の機会を設けていることは評価できる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 収支等の予算と実績を比較し、差額が14%程度であり、適正に予算管理がなされている。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 過年度の実績と比べても良好であり、経費縮減の努力が行われている。 | A | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務など、確実に履行している。 ・趣味や娯楽を通じた交流・サークル活動の場の提供や地域交流の機会として、イベントや行事の開催、教養講座等の開講、健康に関する相談や体力維持・向上のための機能訓練など、様々なサービス提供が行われている。また、荒川区内・区外を問わず、多くの高齢者を社会参加に促す役割を果たしている。 ・利用者アンケートに基づき、新規講座の開講や定例事業の内容を要望に沿った形で見直しを行い実施するなど、アンケート結果を反映させ改善を行っていることは評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行され、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立授産場 |
| | 所在地 | 荒川区東尾久4-32-7 |
| 指定管理者 | 名称 | 公益社団法人 荒川区シルバー人材センター |
| | 所在地 | 荒川区東尾久4-32-7 |
| 施設開設年月日 | | 昭和55年3月東京都から移管 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） |
| 業務内容 | | 荒川区立授産場条例の規定に基づく業務 (1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること イ：作業の相談及び指導に関すること (2) 本施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務 イ：施設の清掃に関する業務 ウ：備品の管理に関する業務 エ：その他維持管理に関する業務 (3) その他区が必要と認める業務 |

平成27年度の事業計画

- (1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを活かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生き甲斐づくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。
- (2) 利用者の工賃確保のため、不況等で1社あたりの受注量が減少する中、常に新規の企業の開拓に心がけ、毎月の工賃が平準化するよう努める。
- (3) 利用者の健康維持のため医師による健康診断を月に2回実施するとともに、毎日15分間の体操の時間を設け作業の安全と健康増進に努める。
- (4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。

平成27年度の事業実績

- 27年度末利用者は、20名である。
- 受注については10社である。（26年度実績11社から減）
- 月別平均工賃は、41,455円（26年：43,735円）となっており、前年度より2,280円下がった。最高月は12月の52,201円（26年度：12月53,227円）最低月は7月の26,971円（26年度：2月36,242円）となっている。
- 健康管理については、毎月2回（第2・4火曜日）に嘱託医による問診、血圧測定等を実施し、利用者の健康管理に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 16,671,000 | 17,137,000 | 16,847,000 | 17,689,261 |
| | 決算 | 16,017,093 | 16,059,559 | 16,721,091 | |
| 支出 | 予算 | 16,671,000 | 17,137,000 | 16,847,000 | 17,689,261 |
| | 決算 | 16,017,093 | 16,059,559 | 16,721,091 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|---------------------------------|------|
| 事業について | | |
| | 荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている | ○ |
| | 苦情を受け付けるための窓口を設置している | ○ |
| | 非常災害対策を行っている | ○ |
| | 健康管理を行っている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 施設長を配置している | ○ |
| | 作業指導員を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 安定した工賃確保に努めている | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 自主的な取り組み | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・前年度比で受注先数は1社減少、工賃は5%減少したが、過去5年間の中では、2番目に工賃の額が大きいいため、減少傾向であるとは判断しきれない。
- ・利用者アンケートの結果から、授産場での作業を続けたいかの問いに対し、全員が継続したいと回答（7割が是非、3割ができれば）しており、良好な評価を得ている。
- ・授産場長を含めた指導員会議を定期的実施し、作業計画や作業状況等について、情報の共有化を図っている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|---|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 会計基準に基づいて適正な手続がなされている。 | A | B |
| | 予算管理が適正である | 施設単独の支出についてはほぼ予算通りに実施されている。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 法人全体では予算対比減収に対し、一定の経費削減対応がなされている。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 構成は概ねバランスが取れているが2期連続の赤字により自己資本が減少傾向にある。 | B | |
| 労務 | 労働環境が適正である | サンプルチェックにより雇用契約は法令を満たしていると思われる。 最低賃金の従業員の時給が法定水準を上回っていること、賃金台帳により労働保険、社会保険分の源泉徴収を確認した。36協定の締結、対象者の受診を確認した。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・月一人当たりの平均工賃は前年度に比べ、5%下がったが、利用の継続を望む割合が100%（前年度89%）となった。 ・自らが働いて工賃を得るという「生きがい」を付与するという点で評価できる。 ・授産場の会議室について、地域住民の利用に供している。 ・地域社会に向けた貢献事業としてのボランティア活動を推進し、地域社会との交流を深めている。 ・安全な就業環境と健康管理を推進する取り組みをしている。 |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正に行われている。また、指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターは、2期連続で経常赤字が出ているが、平成26年度に中長期計画を立て、会員数および契約金額の増加に取り組んでおり、活動の効果は実績で確認できている。このため、黒字に転じる見込みが認められる。</p> <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>法令基準等については、すべて適合している。</p> <p>サービス面、財務・労務ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p> <p>また、前年度と比較して、工賃が5%下がっているが、過去5年間の推移を見ると、適正な運営が行われていると評価できる。</p> |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 高齢者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立荒川福祉作業所 |
| | 所在地 | 荒川区荒川1-53-9 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 昭和48年6月 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成19年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日 |
| 業務内容 | | ・知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。 |

平成27年度の事業計画

- ・利用者に対し、自立して暮らせることを目的とした支援（就労継続支援B型）と、個々の状況に応じ就労（就労移行支援事業）に向けた支援を行う。
- ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。
- ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。
- ・家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。

平成27年度の事業実績

- ・就労継続支援事業B型41人（定員48人） 就労移行支援事業1人（定員7人）
- ・利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導した。
- ・利用者及び保護者の要望に応え、夏休みと早帰り遅登所をなくし、作業時間を確保した。
- ・50歳以上の利用者を対象に健康に関する講義や体を動かすなどの健康増進プログラムを企画、実施した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 207,419,847 | 211,132,701 | 214,130,423 | 230,516,732 |
| | 決算 | 195,065,639 | 201,966,072 | 205,849,333 | |
| 支出 | 予算 | 207,419,847 | 211,132,701 | 214,130,423 | 230,516,732 |
| | 決算 | 195,065,639 | 201,966,072 | 205,849,333 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

・ 収支予算額・決算額は、荒川生活実習所の人件費、事業費を含んでいる。

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した説明を行い、同意を得ている | ○ |
| | 衛生管理がなされている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者及びサービス管理責任者を配置している | ○ |
| | 看護職員及び生活支援員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している | ○ |
| 結果 | | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|-----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 利用状況調査では、41人中32人（78%）が肯定的な回答をしている。
- ・ ボランティアの受け入れや、地域の清掃活動に参加するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 資金収支計算書、事業活動収支計算書、法人決算書を審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | S |
| | 予算管理が適正である | 全般的に予算と実績の乖離は僅かであり、予算管理は極めて適正であると評価できる。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費削減努力に加えて、支出・収支差額とも予算通りに遂行され、良好な決算状況となっている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、36協定、時間外賃金支給明細、健康診断受診者名簿を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度新たに、福祉避難所設置運営訓練を82名の見学者を得て実施するなど、災害時に備えた訓練を積極的に行っている。 ・企業見学などの就労プログラムの実施や、ばん座位体操・ウォーキングを実施して体を動かす機会を作ったほか、個別面談によるニーズの把握など、サービスの充実に努めている。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面において評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した財務基盤のもと、法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・財務・労務面とも改善が必要な事項は見当たらない。 ・特に経費削減と予算遵守による決算状況の改善が評価される。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立荒川生活実習所 |
| | 所在地 | 荒川区荒川1-53-9 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 昭和48年6月 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成19年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年4月1日～平成29年3月31日 |
| 業務内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。 |

平成27年度の事業計画

- ・生活介護に加え、基本的な生活習慣、生活スキル、社会的スキルなどを身に付けるための支援をし、利用者が社会の一員として自立して暮らすことを目指す。
- ・利用者のニーズや生活・家庭環境を把握し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。
- ・地域の施設として、地域住民との交流を深める活動や、障がい者への理解の促進、福祉のまちづくりのための人材育成を行う。

平成27年度の事業実績

- ・利用者数37人（定員40人）
- ・コミュニケーション方法や協調性・社会性の習得を目的に支援を行った。
- ・日常生活活動として、食事、排泄、清潔保持等の介助を行った。
- ・障がいの多様化や幅広い年齢層に対応するため、医療機関や生活の場との連携、日々のバイタルチェックや嘱託医相談の活用等を行った。
- ・利用者のボランティア活動参加及び、企業の新任研修・小学生ボランティアの積極的な受け入れ、並びに、いきいきサロンに参加し町会や民生委員と関わりを持つなど、地域との連携を強化した。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 207,419,847 | 211,132,701 | 214,130,423 | 230,516,732 |
| | 決算 | 195,065,639 | 201,966,072 | 205,849,333 | |
| 支出 | 予算 | 207,419,847 | 211,132,701 | 214,130,423 | 230,516,732 |
| | 決算 | 195,065,639 | 201,966,072 | 205,849,333 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

・収支予算額・決算額は、荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した説明を行い、同意を得ている | ○ |
| | 衛生管理がなされている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者及びサービス管理責任者を配置している | ○ |
| | 看護職員及び生活支援員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している | ○ |
| 結果 | | 適合 |

加点点評価項目

| 項目 | 評価 | | |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 利用状況調査では、16人中14人（88%）が肯定的な回答をしている。
- ・ ボランティアの受け入れや町会・民生委員等との連携など、地域交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 資金収支計算書、事業活動収支計算書、法人決算書を審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | S |
| | 予算管理が適正である | 全般的に予算と実績の乖離は僅かであり、予算管理は極めて適正であると評価できる。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費削減努力に加えて、支出・収支差額とも予算通りに遂行され、良好な決算状況となっている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、36協定、時間外賃金支給明細、健康診断受診者名簿を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度新たに、福祉避難所設置運営訓練を82名の見学者を得て実施するなど、災害時に備えた訓練を積極的に行っている。 ・親なき後の生活を各家庭が安心して考えていけるよう、利用家庭に対し、地域サービス利用の説明会や保護者面談を行っているほか、職員研修の充実や職員に対し人権チェックシートによる行動の振返りを行い職員育成に努めるなど、サービスの充実に努めている。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面において評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した財務基盤のもと、法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・財務・労務面とも改善が必要な事項は見当たらない。 ・特に経費削減と予算遵守による決算状況の改善が評価される。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場 |
| | 所在地 | 荒川区西尾久6-17-3 / 荒川区西尾久4-6-4 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 平成7年4月1日 / 平成14年4月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。 |

平成27年度の事業計画

- ・利用者の活動状況に合わせた柔軟な対応を行うため、グループ同士が連携した一体的な運営を図る。
- ・利用者や家族の意向に沿った支援の徹底を図るべく、個別支援計画の充実を図る。
- ・きめ細やかなサービスを提供するために、ケース会議による情報共有、専門職同士の連携の充実、職員のスキルアップに努める。
- ・災害対策を推進するため、福祉避難所開設準備訓練を実施する。

平成27年度の事業実績

- ・利用者数38人（定員39人） / 分場18人（定員19人）
- ・リズム体操、陶芸、調理実習などの各種訓練を行う際に職員同士がグループを超えて一体的な支援を行った。
- ・利用者・家族と個別面談を行い、利用者の希望や能力に応じた個別支援計画をサービス管理責任者と支援員とが協働して作成した。
- ・4名の職員が社会福祉士・介護福祉士等の資格を取得した。
- ・情報誌の発行、施設公開、絵画展示などに加え、併設施設、地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施し地域交流に積極的に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 216,063,926 | 232,054,409 | 236,239,967 | 239,900,831 |
| | 決算 | 215,789,833 | 230,386,208 | 226,682,566 | |
| 支出 | 予算 | 216,063,926 | 232,054,409 | 236,239,967 | 239,900,831 |
| | 決算 | 215,789,833 | 230,386,208 | 226,682,566 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した説明を行い、同意を得ている | ○ |
| | 衛生管理がなされている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者及びサービス管理責任者を配置している | ○ |
| | 看護職員及び生活支援員等を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している | ○ |

結果

適合

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|-----------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 利用状況調査では、43人中35人（81％）が肯定的な回答をしている。
- ・ 施設公開の実施だけでなく、併設施設や地元町会と協力し、福祉避難所開設準備訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 資金収支計算書及び内訳表、法人決算書を審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | S |
| | 予算管理が適正である | 予算と実績の乖離は軽微であり、合理的に説明できるものである。予算管理は極めて適正であると判断できる。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 事業支出が改善されている。結果として事業活動収支が大幅に改善され、決算も良好である。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金水準、36協定と割増賃金、健康診断受診者名簿を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のスキルアップを促し、新たに4名の職員が社会福祉士・介護福祉士等の資格を取得するなど、サービスの向上に努めた。 ・ 併設施設や町会と協力し災害時を想定した避難訓練を積極的に行っている。 ・ 今後も、利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、地域の防災意識の向上にも貢献しているため、サービス面において評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した財務基盤のもと、法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・ 財務・労務面とも改善が必要な事項は見当たらない。 ・ 特に事業支出削減による収支状況の改善が評価される。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法令基準等については、すべて適合している。 ・ サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ） |
| | 所在地 | 荒川区荒川2-57-8 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 |
| | 所在地 | 荒川区南千住1-13-20 |
| 施設開設年月日 | | 平成9年8月22日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成26年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある方の社会参加を支援する地域の拠点に加え、福祉教育や特定相談支援の機能を併せ持つことにより、自立と社会参加の促進を進める。 ・ 講座や事業、イベントの事業運営に当たっては、ニーズを的確にキャッチして企画を実施し、障がいのある方や当事者団体と連携・協力していく。 ・ 日々の運営や事業を通して、地元町会や障がい者団体、ボランティアとの地域の支えあいのネットワークを作る。 ・ ノーマライゼーションの理念の実現に向け、長年培ってきた多くの方々や団体との協力・共同の関係を一層深める。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者総数65,945人（26年度65,694人） ・ 貸室利用件数（貸出率）：多目的ホール1,750件（83%）、 第一・第二会議室1,219件（58%）、第三会議室276件（26%） その他、以下の事業を実施した。 ・ 特定相談事業（計画作成及びモニタリング） ・ 文化・教養講座事業（料理教室、リズム体操教室等） ・ IT講習会事業（障がい者向けのほか、介助者向けITサポーター講座） ・ ふれあい交流事業（バリアフリー講座、ボランティア講座等） ・ ばん座位体操、アクロス・連合会まつり等 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 41,775,573 | 50,767,355 | 48,378,273 | 49,882,778 |
| | 決算 | 41,775,573 | 42,002,109 | 44,157,102 | |
| 支出 | 予算 | 41,775,573 | 50,767,355 | 48,378,273 | 49,882,778 |
| | 決算 | 41,775,573 | 42,002,109 | 44,157,102 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

- ・平成26年度は新規に指定特定相談支援事業を行うため予算増となっている。
- ・なお、26年度及び27年度において、返還金の発生にともない収入を払い戻ししている。

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています | ○ |
| | 衛生管理がなされています | ○ |
| | 個人情報などの管理が適正である | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者を配置している（特定相談支援事業） | ○ |
| | 運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 運営に必要な設備及び備品等を備えている | ○ |
| 結果 | | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | | |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 利用状況調査では、70人中58人（83％）が肯定的な回答をしている。
- ・ 施設公開を実施するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 避難所開設訓練等、地域と合同の防災訓練を行うなど防災対策に積極的に取り組んでいる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 資金収支計算書及び内訳表、法人決算書を審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | S |
| | 予算管理が適正である | 予算と実績の乖離は軽微であり、合理的に説明できるものである。予算管理は極めて適正であると判断できる。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 具体的な経費削減目標の設定により、事業活動収支が改善され、良好な決算状況である。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、安定性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、年間賃金台帳、36協定、健康診断受診者名簿を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、施設公開の実施など地域との交流も積極的に行っている。 ・具体的には、喫茶コーナーを活用して、環境課と連携した「街なか避暑地」どの取組を行ったほか、地元町会と合同で、応急救護訓練、福祉避難所開設訓練等を含めた実践的な防災訓練を行った。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度や貸出率の向上が期待でき、サービス面において評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した財務基盤のもと、法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・財務・労務面とも改善が必要な事項は見当たらない。 ・特に経費削減努力による収支状況の良好さが評価される。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|--|---------------------------|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立精神障害者地域生活支援センター（アゼリア） |
| | 所在地 | 荒川区東尾久5-45-11 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 トラムあらかわ |
| | 所在地 | 荒川区東尾久3-20-10 ベルメゾンエス2階 |
| 施設開設年月日 | | 平成15年1月 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成15年1月4日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。 | |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <p>地域活動支援センターとして、精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針に掲げて、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種の講座、利用者のミーティング等を実施。 ・ 地域交流活動として、公開講座のほか、納涼祭等のイベントを開催。 ・ 相談活動として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、サービス等利用計画の作成を実施。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <p>以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援事業 相談件数 25,868件（26年度 16,595件） ・ プログラム参加者数 4,167人（26年度3,994人） <p>※実施内容等 {創作的・レクリエーション的活動プログラム（デイケア・夕食会・しごと講座等） 自主活動的プログラム（家族教室、セルフヘルプミーティング等） 地域交流プログラム(ボランティア講座、園芸ボランティア、スポーツ交流祭、新年のつどい等)}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定相談支援事業 計画作成及びモニタリング 総件数 68件（26年度より開始） ・ 実習生受入 など | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 34,559,000 | 38,989,235 | 40,459,434 | 41,466,448 |
| | 決算 | 34,559,000 | 36,907,038 | 39,892,146 | |
| 支出 | 予算 | 34,559,000 | 38,989,235 | 37,399,234 | 41,466,448 |
| | 決算 | 34,559,000 | 36,907,038 | 36,346,563 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 3,060,200 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 3,545,583 | |

（備考）

平成27年度収支の内訳

- ・ 予算…特定相談支援事業費（3,060,200円）
- ・ 決算…特定相談支援事業費の確定額（2,492,912円）＋事務費の収支（1,052,671円）
＝3,545,583円

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|---|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 衛生管理がなされている | ○ |
| | 個人情報などの管理が適正である | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 施設長を配置している | ○ |
| | 指導員を2名以上配置している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 創作的活動の機会の提供及び社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている | ○ |
| 結果 | | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
|--|----|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況調査では、46人中39人（85%）が肯定的な回答をしている。 ・ 家族会が喫茶コーナーを運営するなど、地域の交流を図っている。 | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、事業別元帳、法人決算書を審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | S |
| | 予算管理が適正である | 予算と実績の乖離は軽微であり、且つ要因分析も行われている。予算管理は極めて適正であると判断できる。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 予算の遵守と経費削減により、事業活動収支が大幅に改善され、良好な決算状況である。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、全ての評価項目が良好である。安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加など地域との交流も積極的に行っている。 ・サービス面としては、土日も含めた電話相談の実施や、ボランティア講座の開催などの取組を実施した。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度の向上等が期待でき、サービス面において評価できる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した財務基盤のもと、法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・財務・労務面とも改善が必要な事項は見当たらない。 ・特に法人決算を含め、収益性が良好であることが評価される。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立障害者グループホーム（ピアホーム西日暮里） |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里2-2-6 |
| 指定管理者 | 名称 | 特定非営利活動法人 東京福祉協議会 |
| | 所在地 | 練馬区桜台1-12-2-416 |
| 施設開設年月日 | | 平成6年4月 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成26年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が、地域において自立した日常生活を送れることを目的として、企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し、日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・また、介護者が病気や冠婚葬祭等及び休養のため、在宅の障がい者を一時的に介護できない時に保護する緊急一時保護事業を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <p>利用者の人権を尊重し、安全で穏やかな日常生活を提供することにより、利用者一人ひとりが幸せな人生を送れるよう、信頼関係の構築を念頭に置き、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの利用者支援として、個別支援計画に沿った支援を行う中で、課題の抽出及び改善を図るとともに、就労先・通所先との連携を図り、社会で生活をするための援助を行う。また、余暇の充実をはかる。 ・緊急一時保護事業として、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供を行う。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：グループホーム 延4人（定員4人） 緊急一時 延49人（定員2人/日）利用率20.0% ・支援を行う中で発生した課題や疑問等については、スタッフミーティング及び利用者との面談を踏まえ、支援方法を変更する等、その解決を図るとともに、必要に応じて管理者・サービス管理責任者も交えた検討を行い、よりよい支援を行え努めた。 ・生活面においては、休日の過ごし方の提案、季節の行事の実施により、変化のある生活を送れるよう努めた。 ・緊急一時保護については、利用者が安心して過ごせるよう特に配慮した。 ・昨年度に引き続き、地域が実施している「日曜カフェ」に場所を提供し、利用者も積極的に参加した。 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 22,785,340 | 21,014,289 | 21,457,425 | 21,575,595 |
| | 決算 | 22,257,971 | 20,828,968 | 20,861,688 | |
| 支出 | 予算 | 22,785,340 | 21,014,289 | 21,457,425 | 21,575,595 |
| | 決算 | 22,235,971 | 20,828,968 | 20,861,688 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

・平成26年度から、現指定管理者が業務を実施している。

法令基準等への適合状況

| 確認項目 | | 適合判断 |
|----------------|----------------------------------|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 運営規定を定めており、適切に守られている | ○ |
| | 重要事項を記した説明を行い、同意を得ている | ○ |
| | 衛生管理がなされている | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 管理者及びサービス管理責任者を配置している | ○ |
| | 常勤職員の他に代替職員を確保している | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 利用者の居室等その他運営上必要な設備を適切に管理し、運営している | ○ |
| 結果 | | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | | |
|--|--------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われていない、または取組が十分でない |
| 利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域交流を積極的に行っている | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 災害時に対応できる取組を行っている | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況調査では、グループホーム利用者全員が肯定的な回答をしている。 ・ 地域が実施するカフェに参加するなど、地域との交流を図っている。 ・ 防災訓練を活用し、利用者を交えての非常用持ち出し袋の点検等を実施している。 | | | |
| 改善すべき点等 | | | |
| | | | |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 予算書、決算書、科目別内訳書、法人決算書にて審査した結果、適正に会計手続が実施されていると判断できる。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算と実績に大きな乖離は無く、差異に関しても支出の削減によるものと判断できる。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 事務支出の削減効果により、昨年度と比較し事業収支が大幅に改善されている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 3期分の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、成長性、収益性は良好である。資本増加に伴い借入金が増加しているが、安定的・継続的な運営に影響するレベルではない。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 労働契約書、賃金台帳、職員健康管理状況表を確認した結果、法令に準じた運用を行っており、労働環境は適正である。 | A | |

総合評価

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加など地域との交流も積極的に行っている。 ・ 個別支援計画に基づく障がい特性に応じた支援が行われ、支援上の課題はミーティング及び面談の実施により解決する取り組みがなされている。 ・ しかしながら、入居者の処遇に関して、入居者の通所先及び区と当該法人の間で認識の相違が生じることがあり、ホーム内での情報共有や、処遇の質の向上を図る研修体制の充実が望まれる。 |
| 財務・労務面 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法令を遵守し、適正に事業運営されている。 ・ 財務・労務面とも特に改善が必要な事項は見当たらない。 |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法令基準等については、すべて適合している。 ・ 財務・労務面では適正であるが、サービス面で課題が見られるため、総合評価としては、おおむね適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 障害者福祉課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立小台橋保育園 |
| | 所在地 | 荒川区西尾久6-9-7 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 教信精舎 |
| | 所在地 | 荒川区西尾久6-9-7 |
| 施設開設年月日 | | 平成16年4月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成16年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <p>・施設の計画的補修、備品器具什器や園庭遊具の安全点検を実施する。保育室内の温度、湿度、換気、採光を適切に管理し、施設内外の設備・用具の衛生管理に努めるほか、施設内の清掃・消毒を実施し、衛生状態の保持に努める。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員同士で情報を共有化できるよう心掛け、職員意識の一体化をとおして保育サービスの向上に努める。施設内外研修を積極的に実施するほか、専門分野を超えた幅広い研修機会を設ける。</p> <p>・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的実施、③体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。</p> <p>・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇談会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。</p> <p>・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。</p> <p>・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて地域交流を図るほか、子育て交流サロンで積極的に在宅支援を行う。</p> | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 | | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 244,317,739 | 243,931,135 | 260,307,843 | 252,300,003 |
| | 決算 | 244,315,739 | 243,942,335 | 260,297,043 | |
| 支出 | 予算 | 224,608,038 | 225,099,955 | 228,632,772 | 243,694,808 |
| | 決算 | 224,491,782 | 223,182,924 | 226,018,745 | |
| 収支 | 予算 | 19,709,701 | 18,831,180 | 31,675,071 | 8,605,195 |
| | 決算 | 19,823,957 | 20,759,411 | 34,278,298 | |

（備考）

法令等基準への適合状況

| 評価項目 | | 適合判断 |
|---|----|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 結果 | 適合 | |

| その他の評価項目 | | | | |
|---|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者の満足度は93.8%となっており、 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・区民雇用率は51.5%で極めて高く、高齢者や小学生との交流等地域活動も積極的に行っている。 ・夏祭りで、障害者施設利用者と販売等のやり取りやゲームを楽しむなど、地域交流に励んでいる。 ・絵本の貸出しを行い、子どもたちの絵本への関心が高まるよう取り組んだ。 ・保護者会で園生活を紹介する映像と日々の生活を見せ、理解を高めてもらえるよう努めた。 | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |

| 財務・労務評価表 | | | | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果会計処理は適正に行われていた。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費の効果的な運用の努力は行われていた。 | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

| 総評 | |
|--------|---|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立上尾久保育園 |
| | 所在地 | 荒川区西尾久8-10-12 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上智社会事業団 |
| | 所在地 | 荒川区町屋4-9-10 |
| 施設開設年月日 | | 昭和57年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。園舎、園庭、遊具等の危険個所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・ 職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題も知識の共有化を図る。 ・ 乳幼児が、初めての集団生活で食事・睡眠・排泄ができ、物事に対する善悪の判断や人に対する優しさ、いのちの尊さを大切にできるよう、また地域の中でいきいきと健やかに育つよう、心豊かな保育を実践し、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・ 事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示する等積極的な対応を図る。 ・ 年間計画をたてて毎月避難訓練を行うほか、年2回尾久消防署の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を図る。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・ 地域に向けた情報の発信、広報を行う。運動会、敬老会等に地域住民を招待するほか、通所サービスセンターの高齢者との交流会を実施する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に施設の維持管理を行った。 ・ 適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。 ・ 保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・ 利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・ 適切に危機管理を行った。 ・ 地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 | | |

| 施設決算状況 | | | | | |
|--------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 202,260,000 | 202,934,000 | 216,267,000 | 195,434,000 |
| | 決算 | 202,251,143 | 202,925,411 | 216,107,790 | |
| 支出 | 予算 | 161,273,600 | 169,531,000 | 166,139,000 | 185,608,000 |
| | 決算 | 161,125,092 | 169,467,121 | 165,809,255 | |
| 収支 | 予算 | 40,986,400 | 33,403,000 | 50,128,000 | 9,826,000 |
| | 決算 | 41,126,051 | 33,458,290 | 50,298,535 | |
| (備考) | | | | | |

| 法令等基準への適合状況 | | |
|---|----|------|
| 評価項目 | | 適合判断 |
| 運営基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 結果 | 適合 |

| その他の評価項目 | | | | | |
|---|-------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 項目 | | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者の満足度は96.9%で、極めて良好である。 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・区民雇用率は54.8%で、極めて良好である。 ・異年齢児の交流やお年寄りとの交流する機会を多く設けている。 ・体育教室や科学あそびを実施し、協力し合う心を育てることに努めた。 ・保護者懇談会、保育参加、保育参観、個人面談を実施し、保護者との信頼関係の構築に努めた。 | | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | | |
| | | | | | |
| 財務・労務評価表 | | | | | |
| 評価項目 | | 評価内容 | | | 評価 |
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | | | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算などから収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | | | A |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費実績は前年度に比べ減少しているが、経費の効果的な運用の努力がやや必要である。 | | | B |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。 | | | S |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、労働環境は適正である。 | | | A |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、経費の効果的運用努力がやや必要である。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れ、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立南千住さくら保育園 |
| | 所在地 | 荒川区南千住4-9-4 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上智社会事業団 |
| | 所在地 | 荒川区町屋4-9-10 |
| 施設開設年月日 | | 平成12年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |

平成27年度の事業計画

- ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。園舎、園庭、遊具等の危険個所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題も知識の共有化を図る。
- ・家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補てんをを行い、子供が健康かつ安全で情緒の安定した生活を送れる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら、豊かな人間性を培えるよう努める。地域に根差した保育運営に心掛けるとともに、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。
- ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示する等積極的な対応を図る。
- ・年間計画をたてて毎月避難訓練を行うほか、年2回荒川消防署（汐入出張所）の来訪指導を受ける。非常用備蓄食品の計画的購入に努める。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を図る。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。
- ・地域に向けた情報の発信、広報を行う。夏祭り、運動会、高齢者との交流会等に地域住民を積極的に招くことで、地域とともに子育てを支援する体制を強化する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。

平成27年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 204,898,000 | 203,504,000 | 232,931,000 | 211,351,000 |
| | 決算 | 204,848,216 | 203,472,382 | 232,854,278 | |
| 支出 | 予算 | 167,794,000 | 158,408,000 | 169,072,000 | 193,932,000 |
| | 決算 | 167,611,602 | 158,322,871 | 168,880,399 | |
| 収支 | 予算 | 37,104,000 | 45,096,000 | 63,859,000 | 17,419,000 |
| | 決算 | 37,236,614 | 45,149,511 | 63,973,879 | |
| （備考） | | | | | |

法令等基準への適合状況

| 評価項目 | | 適合判断 |
|---|----|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 結果 | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
|---|----|----------|-------|---------------------|
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | ☑ | □ | □ | □ |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | ☑ | □ | □ | □ |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | □ | ☑ | □ | □ |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | □ | ☑ | □ | □ |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | ☑ | □ | □ | □ |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | ☑ | □ | □ | □ |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | ☑ | □ | □ | □ |

評価内容

- ・ 事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・ 利用者満足度は91.3%で、高い。
- ・ 適正に施設・設備管理を実施している。
- ・ 区民雇用率は30.0%で高く、極めて良好である。
- ・ 地域主催行事に積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図る等、地域との交流を図った。
- ・ 自主性や自発性を尊重、やり遂げることの喜びを味あわせることができる行事を実施した。
- ・ 保護者に寄り添った最善の内容を提示し、多くの保護者の理解に努めた。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算などから収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費の効果的な運用の努力がやや必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、経費の効果的運用努力がやや必要である。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れ、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立汐入とちのき保育園 |
| | 所在地 | 荒川区南千住8-3-3 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 東京都福祉事業協会 |
| | 所在地 | 北区王子2-19-21 |
| 施設開設年月日 | | 平成12年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成31年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・園庭を整備し、安全で安らぎのある場として整える。保育室や備品類等が使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるような環境を整える。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、それぞれの段階に応じて必要な専門知識、技術を身に付けられるよう工夫するほか、研修成果の報告・共有化を図る。 ・子ども達一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め愛おしい存在として認める環境を用意し、その中で様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち互いに育ちあえる保育の援助を行う。保護者との信頼の絆をしっかりと結ぶことを心掛けるほか、地域に根差した保育園を目指す。 ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、利用者意見をくみ取るよう努める。苦情に対しては、対応マニュアルの整備等により、適切に対応している。 ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施する。事故未然防止策、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、怪我等を未然に防げるよう努めていく。法人全体の個人情報保護規定の会議での読み合わせや個人情報保護研修を実施する。 ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加を始めとして、子育てを社会全体で支援するため、地域の老人会、小中学校との交流、子どもに携わる施設との交流を積極的に行う。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 | | |

| 施設決算状況 | | | | | |
|--------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 218,894,000 | 223,356,000 | 239,354,000 | 234,679,000 |
| | 決算 | 218,674,714 | 227,536,779 | 244,775,296 | |
| 支出 | 予算 | 215,080,000 | 219,343,000 | 218,137,000 | 221,270,000 |
| | 決算 | 215,131,599 | 219,318,921 | 217,803,830 | |
| 収支 | 予算 | 3,814,000 | 4,013,000 | 21,217,000 | 13,409,000 |
| | 決算 | 3,543,115 | 8,217,858 | 26,971,466 | |
| (備考) | | | | | |

| 法令等基準への適合状況 | | 評価項目 | 適合判断 |
|----------------|---|------|------|
| 運営基準を満たしているか | | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| | 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 結果 | 適合 | |

| その他の評価項目 | | | | | |
|--|-------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 項目 | | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者満足度は86.7%で、極めて高い。 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・区民雇用率は47.7%で、極めて良好である。 ・老人会や小・中学校、卒園児や近隣のこども園、幼稚園、保育園等、様々な世代との交流を積極的に行うことで、子どもの心により良い刺激を与えることができている。 ・薄着・裸足や自然との触れ合い等身体を鍛え、けが防止につながる取り組みや、子どもの時間に合わせた生活をする中で、心の安定につながる取り組みを行っている。 ・随時保育参観を受け入れるほか、誕生会への出席の受入れなど、積極的なコミュニケーションをとるよう心がけている。 | | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | | |
| | | | | | |
| 財務・労務評価表 | | | | | |
| 評価項目 | | 評価内容 | | 評価 | |
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果会計処理は適正に行われていた。 | | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算などと比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 効果的運用努力は行われていた。 | | A | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。 | | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。 | | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性が低下しているが、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好で、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立はなみずき保育園 |
| | 所在地 | 荒川区南千住8-5-5 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社 こどもの森 |
| | 所在地 | 国分寺市光町2-5-1 |
| 施設開設年月日 | | 平成18年1月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成28年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成28年4月1日～平成33年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で積極的に環境整備に取り組むことで、事故やけがの予防につながる施設の適正な維持管理に努める。職員の意識向上のため、定期的な専門講師による環境整備についての研修を開催する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。グループ力を活かした他園見学、経験別研修をはじめ充実した研修を開催し、積極的に参加するよう職員に働きかける。スタッフシートを職員育成にも活用する。 ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に生きる力を育て、「輪・和の保育」を創造することを理念として保育を実践する。食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援等を積極的に行う。専門家による英語・音楽・体操指導等を通して、子供が多くの体験を積める機会を設ける。 ・「ご意見箱」やアンケート等により保護者の声を様々な方法で受け付ける。苦情に対しては迅速かつ誠意ある対応を心掛けるとともに、苦情簿の整備、第三者委員の設置等により、より良い運営に役立てる。定期的に保護者アンケートを行い、運営面の改善を継続して図る。 ・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、グループ力を活かして、他園の怪我・ヒヤリハット事例等を事故の未然防止に役立てる。事故・災害発生時には、法人本部や地域の関係機関と連携できるよう、体制強化に努める。避難訓練を毎月実施するほか、保護者への一斉配信メールサービス「らくらく連絡網」や災害時伝言掲示板を引き続き活用する。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な情報管理に努める。 ・開かれた保育所として、保育園行事の開放や共同実施、世代間交流を図るほか、汐入地区の幼稚園等との交流会や自治会行事へ積極的に参加する。子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・情報提供等を実施する。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 | | |

| 施設決算状況 | | | | | |
|--------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 231,505,000 | 235,600,000 | 241,650,000 | 265,750,000 |
| | 決算 | 232,128,929 | 237,406,357 | 264,521,037 | |
| 支出 | 予算 | 200,700,000 | 209,350,000 | 196,750,000 | 210,430,000 |
| | 決算 | 200,827,097 | 189,810,911 | 197,392,244 | |
| 収支 | 予算 | 30,805,000 | 26,250,000 | 44,900,000 | 55,320,000 |
| | 決算 | 31,301,832 | 47,595,446 | 67,128,793 | |
| （備考） | | | | | |

| 法令等基準への適合状況 | | |
|----------------|---|------|
| 評価項目 | | 適合判断 |
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 結果 | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
|---|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は88.3%で、極めて高い。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区内事業者の利用実績があり、地域との関わりづくりに取り組んでいる。
- ・地域間・世代間の交流を深めるための取り組みは、他園と比較して遜色ないが、園児に対する効果・実績が不明瞭であり、更なる検証に努めてもらいたい。
- ・朝マラソンや、英語、音楽、体操の専門講師による指導に取り組んだ。
- ・園長参加型の個人面談の実施を行い、コミュニケーションの場を設けるなど、保護者との信頼関係の構築に努めた。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | A | B |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は大きいので、予算管理はやや改善が必要。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費の効果的な運用な努力がやや必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、経費の効果的運用努力がやや必要である。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断など法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立南千住保育園 |
| | 所在地 | 荒川区南千住6-35-3 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 上智社会事業団 |
| | 所在地 | 荒川区町屋4-9-10 |
| 施設開設年月日 | | 昭和42年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成28年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成28年4月1日～平成33年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |

平成27年度の事業計画

- ・防錆、防腐等をこまめにチェックして補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降設備の点検等の一括発注によるコスト削減、照明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱水費の削減など、効率のよい維持管理に努めるほか、園舎、園庭、遊具等の危険個所の安全点検を確実に実施する。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には、採用前に基本研修を法人本部で実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンをもって様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い、学び合う環境を作る。労務問題に関する知識について職員間での共有を図る。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、隣人愛に基づく保育を行い、笑顔であいさつができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。集団生活や異年齢児交流をとおして、思いやる心や信頼する心を育成する。地域の子育て支援拠点として、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。
- ・様々な配布物や面談、日々のあいさつ等を通じて、よりよい保育と信頼関係作りができるよう保護者とのコミュニケーションを図る。クレーム、苦情、相談、要望については、誠意を持って対応するとともに、プライバシーに配慮しながら結果を公表し、よりよい運営に反映させていく。
- ・施設の危険防止対策として、保育リスクマネジメントマニュアルや安全配慮チェックリストを整備している。避難訓練年間計画や災害発生時の対応マニュアル等に基づき、毎月訓練を実施している。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。
- ・地域に根差した施設を目指し、近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じ、地域一体となって連携の輪を深め、地域に向けた情報発信、広報を行う。

平成27年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。
- ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入 | 予算 | 247,853,000 | 253,870,000 | 278,478,000 | 259,879,000 |
| | 決算 | 247,856,648 | 253,747,773 | 278,351,977 | |
| 支出 | 予算 | 224,530,000 | 211,122,000 | 220,922,000 | 233,701,000 |
| | 決算 | 224,335,352 | 211,079,077 | 220,736,913 | |
| 収支 | 予算 | 23,323,000 | 42,748,000 | 57,556,000 | 26,178,000 |
| | 決算 | 23,521,296 | 42,668,696 | 57,615,064 | |
| （備考） | | | | | |
| | | | | | |

法令等基準への適合状況

| 評価項目 | | 適合判断 |
|---|----|------|
| 運営基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | | ○ |
| | 結果 | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて 良好である | 良好である | 取組が行われて いない、または 十分でない |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・ 事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・ 利用者満足度は82.1%で、極めて高い。
- ・ 適正に施設・設備管理を実施している。
- ・ 区民雇用率は、34.1%と高く、良好である。
- ・ 近隣の高齢者施設や小・中学校、高校生などとの交流で親しみの心を育てている。
- ・ プールの前にどろんこ遊びを取り入れたり、当番活動で協力する心を育む取り組みなどを行っている。
- ・ 懇談会や個人面談のほか、その日の活動だけでなく中長期にわたる取り組みなどを壁新聞で紹介、報告することで積極的な情報提供を行っている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|---|-------------------------|--|----|---|
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | A | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算などから収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | A | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費の効果的な運用の努力がやや必要である。 | B | |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、経費の効果的運用努力がやや必要である。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れ、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|--|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立南千住七丁目保育園 |
| | 所在地 | 荒川区南千住7-20-13 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 東萌会 |
| | 所在地 | 埼玉県越谷市七左町1-347 |
| 施設開設年月日 | | 平成24年7月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成24年7月1日 |
| 指定期間 | | 平成24年7月1日～平成29年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で積極的に環境整備に取り組むことで、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めていく。専門事業者による安全点検を受診し、注意点等についてアドバイスをもらう。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。法人において充実した研修体制を整備し、園において積極的に参加するよう職員へ働きかける。 ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実践する。家庭との信頼関係構築のために、「職員と保護者の連携が深まるよう、情報の提供・交換の仕方を改善する」、「個々の利用者に応じた育児支援を強化する」という目標を掲げ、重点的に取り組む。食育の推進、地域間・世代間交流の実施、在宅育児支援等についても積極的に事業展開を図る。 ・「ご意見箱」設置等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。苦情に対しては、苦情解決体制を整備し適切に対応する。意見・苦情は、対応策を含め原則として公開し、運営改善や問題等の再発防止につなげる。 ・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。防災対策として、毎月の避難訓練や消火訓練の実施等に取り組む。食物アレルギーについて、誤食防止体制を維持する。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な管理を行う。 ・開かれた保育所として、保育園行事の地域開放や世代間交流を図るほか、子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・在宅育児支援・情報提供等内容の充実に努め、地域での信頼感と存在意義向上を目指す。専門機関との連携により、次世代育成支援を行う。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、特に個人情報保護と守秘義務に関する研修を重点的に実施した。 ・利用者満足度調査結果を踏まえ、「子どもが楽しめる戸外遊び」や「災害発生時における地域間の連携強化」について重点的に見直し、工夫改善を図った。近隣高齢者施設を訪問し、世代間交流を行った。 ・利用者からの意見や苦情等に対して適切に対応した。意見を踏まえ、4・5歳のピクニック開催数を増やした。 ・中学校レスキュー部と合同避難訓練を実施し、連携強化を図った。アレルギー児と3か月に1回面談を実施、情報共有に努めた。 ・子育て交流サロンでは多くの方にご利用頂いた。小中学校の職場体験受入れ、家庭福祉員との体操教室、夏祭りへの地域の方々の招待、等を通じて地域での存在意義向上を図った。 | | |

| 施設決算状況 | | | | | |
|--------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 213,436,000 | 218,935,000 | 250,302,000 | 232,307,000 |
| | 決算 | 213,424,208 | 218,903,399 | 250,300,024 | |
| 支出 | 予算 | 185,864,000 | 191,276,000 | 182,439,000 | 195,190,000 |
| | 決算 | 185,672,529 | 191,008,721 | 182,341,146 | |
| 収支 | 予算 | 27,572,000 | 27,659,000 | 67,863,000 | 37,117,000 |
| | 決算 | 27,751,679 | 27,894,678 | 67,958,878 | |
| （備考） | | | | | |

| 法令等基準への適合状況 | | |
|----------------|---|------|
| 評価項目 | | 適合判断 |
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 結果 | 適合 |

その他の評価項目

| 項目 | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
|---|----|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は74.2%と概ね良好だが、他園と比較すると低い傾向にあるため、今後、戸外活動や情報提供方法の工夫、保護者とのコミュニケーションの更なる充実を求めたい。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。また、資源ごみとして再利用できるものを園児の製作活動に利用するなど、省エネ・エコ活動に積極的に取り組んでいる。
- ・区民雇用率は17.8%であり、良好である。
- ・近隣の中学校レスキュー部との合同避難訓練や近隣の独居高齢者、神社との交流などで、信頼関係や社会性を身につける取り組みを行っている。
- ・遊びごとのコーナーを設け、集中して満足するまで遊べる環境を作っている。
- ・懇談会や個人面談のほか、職員を対象とした接遇研修を実施するなど、分かりやすい情報発信体制の構築や、日常的な声掛けなどで保護者から気軽に質問や苦情を受けられるような環境を作っている。

改善すべき点等

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | A | B |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入が多く収支差は大きい。予算管理の改善の余地はある。 | B | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 経費実績は前年度に比べ減少しているが、経費の効果的な運用の努力がやや必要である。 | B | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | A | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。 | A | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | <p>関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。ただし、利用者アンケートの結果から更なる改善の余地があるため、区としても改善に向けて指導していく。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、経費の効果的運用努力がやや必要である。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p> |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

| 施設概要 | | |
|---|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 荒川区立夕やけこやけ保育園 |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里3-11-19 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 教信精舎 |
| | 所在地 | 荒川区西尾久6-9-7 |
| 施設開設年月日 | | 平成25年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成25年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成25年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | 保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理は、日常的な目視による点検と定期点検を実施し、安全確保に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進められるようコスト意識を持って対応する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を促し、保育実習や公開保育を通して、保育の振り返りにも努める。 ・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的实施、③体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。 ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇談会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。 ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。個人情報については、電子情報、書類双方について管理徹底を図る。 ・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて地域交流を図るほか、ふれあい館との合築という構造を活かして、多様な世代や地域との交流に努める。 | | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 | | |

| 施設決算状況 | | | | | |
|--------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
| 収入 | 予算 | 207,902,148 | 220,882,690 | 251,745,772 | 251,832,979 |
| | 決算 | 207,901,830 | 220,894,290 | 251,803,772 | |
| 支出 | 予算 | 188,898,775 | 204,254,454 | 236,232,260 | 233,785,852 |
| | 決算 | 188,631,518 | 204,577,570 | 235,096,593 | |
| 収支 | 予算 | 19,003,373 | 16,628,236 | 15,513,512 | 18,047,127 |
| | 決算 | 19,270,312 | 16,316,720 | 16,707,179 | |
| （備考） | | | | | |

| 法令等基準への適合状況 | | |
|----------------|---|------|
| 評価項目 | | 適合判断 |
| 運営基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。 | ○ |
| 人員配置基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。 | ○ |
| 設備基準を満たしているか | | |
| | 国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| | 区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。 | ○ |
| 結果 | | 適合 |

| その他の評価項目 | | | | | |
|--|-------------------------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 項目 | | 評価 | 極めて良好である | 良好である | 取組が行われていない、または十分でない |
| 保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。 | | | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような工夫と、その取り組みにより子どもの育ちに変化が生まれた実践事例がある。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 園と保護者のコミュニケーションの場を設けたり、園からの積極的な情報発信を行うことで、保護者との信頼関係の構築に努めている。 | | | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 評価内容 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者満足度は96.4%で、極めて高い。 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・区民雇用率は47.9%で、極めて良好である。 ・ふれあい館との併設であることから、同施設利用者との交流や、共同開催する夏祭りに地域も参加することで、生活体験を豊かにする取り組みが行われている。 ・昨年度は子ども同士が協力しながら遊ぶことを学ぶため、子どもの発達段階を慎重に見極めながら玩具等を準備する取り組みを行っている。 ・親子で保育士と過ごす時間を作ったり、園便りに対する声を参考に改善を図るなど、積極的に取り組んでいる。 | | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | | |
| 財務・労務評価表 | | | | | |
| 評価項目 | | 評価内容 | | | 評価 |
| 収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力 | 会計手続が適正である | 決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。 | | | A |
| | 予算管理が適正である | 予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。 | | | A |
| | 経費縮減の努力が行われている | 効果的運用努力は行われていた。 | | | A |
| 法 人 決 算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | | | A |
| 労 務 | 労働環境が適正である | 雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。 | | | A |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。 |
| 財務・労務面 | 財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|--------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 子育て支援部 |
| 課 | 保育課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|------------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 南千住駅東口自転車等駐車場 |
| | 所在地 | 荒川区南千住4-1-2 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社ソーリン |
| | 所在地 | 足立区六町4-12-25 |
| 施設開設年月日 | | 平成14年4月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | <p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：2,247㎡ ・収容台数： <ul style="list-style-type: none"> 自転車 1,485台（定期利用1,285台、一時利用200台） 原動機付自転車 25台（定期利用20台、一時利用5台） |

平成27年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスを行う。

平成27年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った（券売機修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、消防設備保守点検（年2回）を行った。
- 3 施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等を含めた全体研修や定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスを行った。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 100.0%〔平成28年3月31日現在〕
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 31.9%〔1日平均〕

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 40,140,535 | 38,107,000 | 31,358,000 | 31,672,000 |
| | 決算 | 34,119,785 | 32,617,986 | 34,063,913 | |
| 支出 | 予算 | 31,638,135 | 28,056,000 | 27,852,000 | 28,710,000 |
| | 決算 | 26,966,275 | 26,793,538 | 29,511,286 | |
| 収支 | 予算 | 8,502,400 | 10,051,000 | 3,506,000 | 2,962,000 |
| | 決算 | 7,153,510 | 5,824,448 | 4,552,627 | |

（備考）

・これまで南千住駅周辺における民営駐輪場(時間貸し・コインラック式)との競合による影響を受けてきたが、27年度においては、利用料金収入が定期・一時ともに増加した。
また、支出においては、定期利用カードの一括購入などにより増加した。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|----------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 60 | — | — | 60 |
| 安全快適に利用できるための施設管理がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 40 | — | — | 38 |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 小計(A) (100点満点) | | | | 98 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 利用者増加のための対策に取り組んでいる | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している | 3 | 5 | 100% | 3 |
| 環境やエコに関する取組を積極的に行っている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 小計(B) (10点満点) | | | | 9 |
| <p>評価内容</p> <p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 ・子ども乗せ自転車等の専用ゾーンを設置した。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民を優先的に(11人中6人)雇用した。小学生の地域体験学習を受け入れた。 ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。 | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 107 |
| 総合評価 | | | | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 日暮里駅前と経理処理が分別管理されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 日暮里駅前と経理処理が分別管理されており、予算管理は適正である。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出について、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 収益性、安定性、健全性等が極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、適正に処理されていた。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングによる接遇等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、雨合羽の販売、子ども乗せ自転車等の専用ゾーンの設置など、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。 |
| 財務・労務面 | 財政面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。 また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 交通対策課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | センターまちや自転車駐車場 |
| | 所在地 | 荒川区荒川7-50-9 |
| 指定管理者 | 名称 | サイカパーキング株式会社 |
| | 所在地 | 中央区日本橋小網町7-2 |
| 施設開設年月日 | | 平成8年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成18年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | <p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：1437.68㎡ ・収容台数： 自転車1,407台（定期利用1,200台、一時利用207台） |

平成27年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設内の清掃を毎日行い、整理整頓にも努める。
- 3 緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を管理棟に常備する。
- 4 接遇研修及び定期ミーティングを行う。
- 5 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置する。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行う。

平成27年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 ラック・照明器具修繕等を行った。自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、機械警備（365日）を行った。消防設備保守点検はセンター町屋管理組合により行われた。
- 3 緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網等を管理棟へ常備し、全管理員に周知徹底した。
- 4 接遇研修及び定期ミーティングを行った。
- 5 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置した。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行った。
 - ・チェーンオイルサービスの実施
- 6 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 112.3%〔平成28年3月31日現在〕
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 101.6%〔1日平均〕

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 45,272,752 | 45,922,710 | 43,881,762 | 43,882,000 |
| | 決算 | 43,367,490 | 40,934,372 | 41,151,778 | |
| 支出 | 予算 | 41,443,930 | 41,151,401 | 42,293,946 | 42,645,000 |
| | 決算 | 41,344,048 | 42,631,666 | 41,224,880 | |
| 収支 | 予算 | 3,828,822 | 4,771,309 | 1,587,816 | 1,237,000 |
| | 決算 | 2,023,442 | -1,697,294 | -73,102 | |

（備考）

・町屋駅周辺における民営駐輪場(時間貸し・コインラック式)との競合による影響を受けながらも、27年度は堅調な定期利用により収入増が図られた。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|----------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 60 | — | — | 60 |
| 安全快適に利用できるための施設管理がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 40 | — | — | 36 |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 20 | 4 | 80% | 16 |
| サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 小計(A) (100点満点) | | | | 96 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|---|----|-----|-----|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 利用者増加のための対策に取り組んでいる | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 環境やエコに関する取組を積極的に行っている | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 小計(B) (10点満点) | | | | 7.6 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子ども乗せ自転車利用者等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 ・駅につながる階段口付近等に姿見（鏡）を設置し、利用者の利便性や安全性を確保した。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出しを行った。 ・区民を優先的に（12人中9人）に雇用した。 | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 103.6 |
| 総合評価 | | | | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 分別経理処理が実施されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 分別経理処理が実施されており、予算管理は適正である。なお、収入金額は一時利用の減少により減少した。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出について、実績が予算を下回っており、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 28年3月期の決算は極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、適正に処理されていた。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | 利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングにより接遇や個人情報等の管理の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、駅につながる階段口付近などへの姿見（鏡）の設置をはじめ、チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出し行うなど、利用者の立場に立ったサービスにより、利用者の満足を得ている。 |
| 財務・労務面 | 財政面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社サイカパーキングは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。 また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 交通対策課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 日暮里駅前自転車駐車場 |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里2-24-2 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社ソーリン |
| | 所在地 | 足立区六町4-12-25 |
| 施設開設年月日 | | 平成20年4月1日 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成20年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年4月1日～平成29年3月31日 |
| 業務内容 | | <p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：1706.98㎡ ・収容台数： 自転車1,270台（定期利用1,100台、一時利用170台） |

平成27年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日・24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行う。

平成27年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った(精算機・パソコン修理等)。また、エレベーター(月1回)・自転車搬送用コンベア(年2回)・ゲートシステムの定期保守点検(年2回)、消防設備点検(年2回)を実施した。施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 苦情等は、本社に設置の365日・24時間対応するコールセンターにおいても対応した。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。
- 5 接遇や個人情報等の取扱い等について、全体研修や現場定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行った。
- 7 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数) 49.4%〔平成28年3月31日現在〕
一時利用率(利用者数/一時収容台数) 146.4%〔1日平均〕

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 20,265,889 | 22,363,000 | 22,884,000 | 23,334,000 |
| | 決算 | 21,414,397 | 22,111,810 | 21,949,010 | |
| 支出 | 予算 | 27,356,574 | 26,889,000 | 27,054,000 | 27,219,000 |
| | 決算 | 28,495,674 | 28,292,729 | 28,350,575 | |
| 収支 | 予算 | -7,090,685 | -4,526,000 | -4,170,000 | -3,885,000 |
| | 決算 | -7,081,277 | -6,180,919 | -6,401,565 | |

（備考）

・ 定期利用の少なさから、収支差額のマイナスが常態化している。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|----------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 60 | — | — | 60 |
| 安全快適に利用できるための施設管理がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 40 | — | — | 38 |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 小計(A) (100点満点) | | | | 98 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|--------------------------|----|-----|-----|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 利用者増加のための対策に取り組んでいる | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 環境やエコに関する取組を積極的に行っている | 2 | 4 | 80% | 1.6 |
| 小計(B) (10点満点) | | | | 8 |

評価内容

- (基本評価項目)
- ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、場内にBGMを流し快適性に配慮した。また、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
 - ・雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。
 - ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。
- (その他の評価項目)
- ・日暮里サニーホールやホテルラングウッドと連携し、「100円駐輪券」の運用を行った。
 - ・区民を優先的に(11人中8人)雇用した。また消耗品等をできるだけ区内で購入した。
 - ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。

改善すべき点等

| | |
|----------|-----|
| 合計 (A+B) | 106 |
| 総合評価 | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|---|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 南千住東口と経理処理が分別管理されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 南千住東口と経理処理が分別管理されており、予算管理は適正である。なお、収入は予算額とほぼ同額となっている。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 支出について、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 収益性、安定性、健全性等が極めて良好であり、安定的運営を行う財政力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、適正に処理されている。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、場内でBGMを流し快適性に配慮した。研修やミーティングによる接客等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、雨合羽の販売、軽微な自転車トラブルへの応急措置を行うなど、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。また、日暮里サニーホール等と連携し「100円駐輪券」の運用を行うなど、新たな利用者の獲得に向けても取り組んでいる。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財政面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p> |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 交通対策課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|--|
| 施設名 | 名称 | 三河島駅前自転車駐車場 |
| | 所在地 | 荒川区西日暮里1-6-20 |
| 指定管理者 | 名称 | センターサイクル荒川共同体 (構成団体：代表団体・公益財団法人自転車駐車場整備センター、サイカパーキング株式会社) |
| | 所在地 | 中央区日本橋本石町4-6-7 |
| 施設開設年月日 | | 平成26年10月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成26年10月1日 |
| 指定期間 | | 平成26年10月1日～平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | 自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の収受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：776㎡ ・収容台数：自転車440台（定期利用330台、一時利用110台） |

平成27年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行う。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備する。
- 5 施設開設前、新規採用時における研修及び年に1回の定期研修を行う。
- 6 自主自供として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施する。
 - ・一時利用料の清算時用に電子マネー決済機を導入する。
 - ・電動空気入れを設置する。
 - ・非常時貸出用自転車を用意する。

平成27年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 機械式駐輪機の定期保守点検（4回）、機械警備、施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行った。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備し、全管理員に周知した。
- 5 施設開設前及び新規採用時における研修を行った。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施した。
 - ・一時利用料の精算時用に電子マネー決済機を導入した。
 - ・電動空気入れを設置した。
 - ・非常時貸出用自転車を10台用意した。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 57.9%〔平成28年3月31日現在〕
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 22.7%〔1日平均〕

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|--------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | | 4,708,250 | 10,232,100 | 10,542,000 |
| | 決算 | | 4,656,700 | 8,258,461 | |
| 支出 | 予算 | | 7,166,780 | 13,705,560 | 13,829,000 |
| | 決算 | | 7,534,477 | 14,268,992 | |
| 収支 | 予算 | 0 | -2,458,530 | -3,473,460 | -3,287,000 |
| | 決算 | 0 | -2,877,777 | -6,010,531 | |

（備考）

- ・ 26年10月開設のため、26年度の指定管理期間は6か月間。
- ・ 利用率（特に一時利用の少なさ）が影響しマイナス収支となった。
- ・ 27年度の指定管理料(収入差額分)支払額は5,638,600円(26年度の支払額は 2,509,300円)

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|----------------------------|----|-----|------|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 施設の維持管理 | 60 | — | — | 60 |
| 安全快適に利用できるための施設管理がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 40 | — | — | 38 |
| 利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 20 | 5 | 100% | 20 |
| サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 小計(A) (100点満点) | | | | 98 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 (配点×乗率) |
|---|----|-----|-----|---------------|
| | | レベル | 乗率 | |
| 利用者増加のための対策に取り組んでいる | 5 | 4 | 80% | 4 |
| 区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している | 3 | 4 | 80% | 2.4 |
| 環境やエコに関する取組を積極的に行っている | 2 | 3 | 60% | 1.2 |
| 小計(B) (10点満点) | | | | 7.6 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に当たり利用者が守るべき事項を周知徹底すると共に、繁忙時間（毎日6時～9時30分）に増員を図り、利用者がスムーズに施設を利用できるよう努めた。 ・緊急時連絡組織体制網に基づき、機器異常発生時における利用者対応等を適切に行った。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時利用精算時における電子マネー決済機導入等、利用者視点でサービスを取り入れた。 ・区民を優先的に（8人中6人）に雇用した。 | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 105.6 |
| 総合評価 | | | | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 公益財団法人の経理処理が行われており、共同体の構成団体を含めた会計手続きは適正である。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 予算管理は適正に行われている。また、利用者に起因する機器トラブルの防止に努め、結果として、緊急対応費の支出を抑えた。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 緊急対応の支出抑制、節電等の経費縮減に向けた努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 収益性・安定性・健全性等について極めて良好であり、安定した運営を行う財政力を有している。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、適正に処理されている。 | S | |

総評

| | |
|--------|---|
| サービス面 | 施設利用方法の周知徹底によりトラブルを事前に防止し、繁忙時間帯には増員を図ること等により、安全快適な施設の管理運営を図った。また、年末年始を含めた毎日の開場や一時利用2時間までの利用無料制度の導入に加え、一時利用精算時における電子マネー決済機の導入、電動空気入れの設置、非常時貸出用自転車の設置等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。 |
| 財務・労務面 | ほぼ自己資金で、大型の公益財団法人を運営しており、財務面には問題がない。労務面も労働基準法等に準拠した運営が行われている。 |
| 総合評価 | サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。 |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 交通対策課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|------------------------|---|---|
| 施設名 | 名称 | 区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅） |
| | 所在地 | 荒川区西尾久七丁目19番11号 他 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社東急コミュニティー |
| | 所在地 | 世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー |
| 施設開設年月日 | | 平成4年4月28日他 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日から平成30年3月31日 |
| 業務内容 | | 1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務 |
| 平成27年度の事業計画 | | |
| 1 住宅営繕 | 一般修繕、空家修繕（退去後の修繕） | |
| 2 環境整備 | 樹木剪定（害虫駆除を含む） | |
| 3 施設管理 | 受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、 安否確認システム保守、エレベーター保守等 | |
| 4 清掃・管理 | 定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備 | |
| 5 計画修繕 | なし | |
| 平成27年度の事業実績 | | |
| 1 住宅営繕 | 一般修繕（階段手摺設置、水道メーター廻り給水管更新工事、 給水管漏水復旧等 12件） 空家修繕（畳表替え等 9件） | |
| 2 環境整備 | 樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず） | |
| 3 施設管理 | 受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、 安否確認システム、エレベーター保守等を実施 | |
| 4 清掃・管理 | 定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備を実施 | |
| 5 計画修繕 | なし | |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 38,316,334 | 26,575,962 | 27,140,615 | 20,839,900 |
| | 決算 | 32,742,941 | 25,354,804 | 24,461,183 | |
| 支出 | 予算 | 38,316,334 | 26,575,962 | 27,140,615 | 20,839,900 |
| | 決算 | 32,742,941 | 25,354,804 | 24,461,183 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

- ・ 25年度は、給湯器交換・エアコン改修工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ予算、決算額が共に増加した。
- ・ 26年度は、水道用水及び工業用水揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事を実施した。
- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、大規模な修繕計画の予定がないため、予算額が減少している。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|-----------------------------|-----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 70 | - | - | 70 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 30 | 5 | 100% | 30 |
| 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 30 | - | - | 30 |
| 居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 10 | 5 | 100% | 10 |
| 合計（A） | 100 | - | - | 100 |

| その他の評価項目 | | | | |
|--|----|-----|------|-------|
| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 適切な危機管理体制が整備されている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 区内事業者の活用を積極的に図っている | 6 | 3 | 60% | 3.6 |
| 合計 (A) | 10 | - | - | 7.6 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>事故・事件発生時には、社長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置し、危機状況の把握、建物の被害状況の確認、ライフラインの確保、応急修理等の対応を迅速かつ適切に行うことができる計画が整備されている。</p> | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| <p>専門性の高い業務以外の営繕業務について、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p> | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 107.6 |
| 総合評価 | | | | S |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 監査法人による監査報告書が提出されており、会計基準に基づく適正な手続がなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 決算における未執行額が、予算に対して5%未満であり、予算管理が適正である。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等が総合的にみて極めて良好である。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。</p> <p>保守委託業務については、コストを低減しつつ区内事業者の活用を図り、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、前年度と比較して改善され目標を達成しており評価できるが、さらなる区内事業者の活用が望まれる。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、会計手続及び予算管理は適正であり、経費縮減の努力も行われている。成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。</p> <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働基準法等を遵守し適正に行っている。また、本業務に従事する関係労働者は、一級建築士、マンション管理士等の専門資格を保有しており、業務の品質が担保されている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価出来る。</p> <p>なお、営繕業務の区内事業者の活用については、昨年度に比べ、活用率が高くなっており、目標を達成しているが、さらなる活用を求める。</p> |

| | |
|-------|-------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 福祉部 |
| 課 | 福祉推進課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

| | | |
|------------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 区民住宅（東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅） |
| | 所在地 | 荒川区東日暮里六丁目7番12号他2カ所 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社東急コミュニティー |
| | 所在地 | 世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー |
| 施設開設年月日 | | 平成9年4月10日他 |
| 現在の指定管理者による 運営開始年月日 | | 平成24年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日から平成30年3月31日まで |
| 業務内容 | | 1 区民住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務 |

平成27年度の事業計画

- | | |
|-----------|---|
| 1 住宅営繕 | 一般修繕、空室修繕（退去後の修繕） |
| 2 環境整備 | 樹木剪定（害虫駆除を含む） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃、②エレベーター保守、 ③受水槽清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） |
| 4 清掃・巡回管理 | 定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ゴミ置き場等清掃 |
| 5 計画修繕 | なし |

平成27年度の事業実績

- | | |
|-----------|--|
| 1 住宅営繕 | 一般修繕（浴室・台所水栓交換等81件）、 空室修繕（壁クロス張り替え等3件）を実施 |
| 2 環境整備 | 樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃、②エレベーター保守、 ③受水槽清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅のみ） |
| 4 清掃・巡回管理 | 定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ごみ収集日）を実施 |
| 5 計画修繕 | なし |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|------------|------------|------------|------------|
| 収入 | 予算 | 93,980,327 | 70,922,160 | 52,912,967 | 31,461,754 |
| | 決算 | 93,785,599 | 70,158,800 | 52,079,202 | |
| 支出 | 予算 | 93,980,327 | 70,922,160 | 52,912,967 | 31,461,754 |
| | 決算 | 93,785,599 | 70,158,800 | 52,079,202 | |
| 収支 | 予算 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 決算 | 0 | 0 | 0 | |

（備考）

- ・ 25年度は、給湯器交換・エアコン改修工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ予算、決算額が共に増加した。
- ・ 26年度は、水道水及び工業用水の揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事、工業用水のブースターポンプユニット交換工事等を実施した。
- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、大規模な修繕計画の予定がないため、予算額が減少している。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|-----------------------------|-----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 70 | | | 70 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 30 | 5 | 100% | 30 |
| 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 30 | | | 20 |
| 居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している | 20 | 3 | 60% | 12 |
| 居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 合計（A） | 100 | - | - | 90 |

その他の評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|---|----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 適切な危機管理体制が整備されている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 区内事業者の活用を積極的に行っている | 6 | 2 | 40% | 2.4 |
| 合 計 (B) | 10 | - | - | 6.4 |
| <p>事故・事件発生時には、社長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置し、危機状況の把握、建物の被害状況の確認、ライフラインの確保、応急修理などの対応を迅速かつ適切に行うことが出来る計画が整備されることとなっている。</p> | | | | |
| <p>改善すべき点等</p> <p>専門性の高い業務以外の営繕業務について、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p> | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 96.4 |
| 総合評価 | | | | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 監査法人による監査報告書が提出されており、会計基準に基づく適正な手続がなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 決算における未執行額が、予算に対して5%未満であり、予算管理が適正である。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等が総合的にみて極めて良好である。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。</p> <p>コストを低減しつつ保守委託業務については区内事業者の活用に努め、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、前年度と比較してやや改善されているが、さらなる区内事業者の活用が望まれる。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、会計手続及び予算管理は適正であり、経費縮減の努力も行われている。成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。</p> <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働基準法等を遵守し適正に行っている。また、本業務に従事する関係労働者は、一級建築士、マンション管理士等の専門資格を保有しており、業務の品質が担保されている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価出来る。</p> <p>なお、営繕業務の区内事業者の活用については、昨年度に比べ、活用率が上昇しているが、より一層の活用が望まれる。</p> |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 施設管理課 |

平成27年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

| 施設概要 | | |
|--------------------|-----|---|
| 施設名 | 名称 | 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅） |
| | 所在地 | 荒川区町屋五丁目9番2号 |
| 指定管理者 | 名称 | 株式会社東急コミュニティー |
| | 所在地 | 世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー |
| 施設開設年月日 | | 平成10年4月1日 |
| 現在の指定管理者による運営開始年月日 | | 平成27年4月1日 |
| 指定期間 | | 平成27年4月1日から平成30年3月31日まで |
| 業務内容 | | 1 従前居住者用住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務 |

平成27年度の事業計画

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 1 住宅営繕 | 一般修繕、空室修繕（退去後の修繕） |
| 2 環境整備 | 樹木剪定（害虫駆除を含む） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃、②エレベーター保守、③受水槽清掃、消防設備保守 |
| 4 清掃・巡回管理 | 定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ゴミ置き場等清掃 |
| 5 計画修繕 | なし |

平成27年度の事業実績

| | |
|-----------|--|
| 1 住宅営繕 | 一般修繕（インターホン修理等7件）、空室修繕（壁クロス張り替え1件等）を実施 |
| 2 環境整備 | 樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず） |
| 3 施設管理 | ①排水管清掃、②エレベーター保守、③受水槽清掃、消防設備保守 |
| 4 清掃・巡回管理 | 定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ごみ収集日）を実施 |
| 5 計画修繕 | なし |

施設決算状況

| 年度 | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度（予算） |
|----|----|--------|--------|-----------|------------|
| 収入 | 予算 | | | 3,407,149 | 1,742,014 |
| | 決算 | | | 3,122,917 | |
| 支出 | 予算 | | | 3,407,149 | 1,742,014 |
| | 決算 | | | 3,122,917 | |
| 収支 | 予算 | | | 0 | 0 |
| | 決算 | | | 0 | |

（備考）

- ・ 27年度は、水道メーター廻り給水管更新工事等を実施した。
- ・ 28年度は、大規模な修繕計画の予定がないため、予算額が減少している。

基本評価項目

| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
|-----------------------------|-----|-----|------|-------|
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 施設の維持管理 | 70 | | | 70 |
| 快適に利用できるための施設管理がなされている | 30 | 5 | 100% | 30 |
| 業務の遂行に必要な職員が配置されている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 研修計画に基づいた職員の受講がなされている | 20 | 5 | 100% | 20 |
| 区民サービス | 30 | | | 20 |
| 居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している | 20 | 3 | 60% | 12 |
| 居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い | 10 | 4 | 80% | 8 |
| 合 計 (A) | 100 | - | - | 90 |

| その他の評価項目 | | | | |
|---|----|-----|------|-------|
| 評価項目 | 配点 | 評価 | | 得点 |
| | | レベル | 乗率 | 配点×乗率 |
| 適切な危機管理体制が整備されている | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している | 2 | 5 | 100% | 2 |
| 区内事業者の活用を積極的に行っている | 6 | 2 | 40% | 2.4 |
| 合計 (B) | 10 | - | - | 6.4 |
| 評価内容 | | | | |
| <p>事故・事件発生時には、社長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置し、危機状況の把握、建物の被害状況の確認、ライフラインの確保、応急修理などの対応を迅速かつ適切に行うことが出来る計画が整備されることとなっている。</p> | | | | |
| 改善すべき点等 | | | | |
| <p>専門性の高い業務以外の営繕業務について、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p> | | | | |
| 合計 (A+B) | | | | 96.4 |
| 総合評価 | | | | A |

財務・労務評価表

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価 | |
|-----------|-------------------------|--|----|---|
| 収支状況・縮減努力 | 会計手続が適正である | 監査法人による監査報告書が提出されており、会計基準に基づく適正な手続がなされている。 | S | S |
| | 予算管理が適正である | 決算における未執行額が、予算に対して5%未満であり、予算管理が適正である。 | S | |
| | 経費縮減の努力が行われている | 予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。 | S | |
| 法人決算 | 安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している | 成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等が総合的にみて極めて良好である。 | S | |
| 労務 | 労働環境が適正である | 雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。 | S | |

総評

| | |
|--------|--|
| サービス面 | <p>施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。</p> <p>コストを低減しつつ保守委託業務については区内事業者の活用に努め、良好な維持管理が行われている。営繕業務については、前年度と比較してやや改善されているが、さらなる区内事業者の活用が望まれる。</p> |
| 財務・労務面 | <p>財務面について、会計手続及び予算管理は適正であり、経費縮減の努力も行われている。成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。</p> <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働基準法等を遵守し適正に行っている。また、本業務に従事する関係労働者は、一級建築士、マンション管理士等の専門資格を保有しており、業務の品質が担保されている。</p> |
| 総合評価 | <p>サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価出来る。</p> <p>なお、営繕業務の区内事業者の活用については、昨年度に比べ、活用率が上昇しているが、より一層の活用が望まれる。</p> |

| | |
|-------|----------|
| 担当所管部 | |
| 部 | 防災都市づくり部 |
| 課 | 施設管理課 |

